

4 施設別の状況

4-1 各種指標等について

本章では、本市の公共施設について、第2章で取りまとめた分類にもとづき、現状の整理を行います。なお、「供給処理施設」「その他施設」については、直接的に広く一般の市民の利用が想定されないことと施設自体が簡易なものが中心であるため、本章では対象外とします。

各分類において、「概要」、「建物の状況」、「利用の状況」、「施設に関する費用の状況」、「単位あたりのコストの状況」について整理しています。

1) 概要について

当該分類に含まれる施設について、基礎情報（施設名、所在地、建築年、構造・階数、延床面積）、コスト情報（維持管理費、事業運営費、人件費）、収入（使用料及び手数料。補助金等は除く。）を一覧表で整理しています。

複数の建物（棟）で一つの施設を構成している場合は、延床面積が最大の建物の建築年・構造・階数を代表値としています（延床面積は全ての建物の合計面積となっています）。

2) 建物の状況について

建物の状況について、建築年や耐震化の状況などで特徴的なところを整理します。

3) 利用の状況について

施設の利用状況について、類似施設間で比較可能な項目を指標として設定します。

行政施設では施設間で比較できる統一的な指標がないため、利用の状況は省略しています。

表 4-1-1 利用状況の主な指標

指標	説明
利用者数	各年度における延べ利用者数（1人が3回利用した場合は利用者数3） ※一部の施設では概算の人数を記載しています
在籍者（生徒、児童、園児）数、定員数	各々の基準日時点での在籍者数および定員数
貸出冊数	図書資料及び視聴覚資料の貸出延べ件数 （1人が一度に図書を3冊借りた場合は3冊として計算）
稼働率 （利用コマ数、 利用可能コマ数）	利用可能なコマ数に対する実際の利用コマ数の割合 ※貸室が3室あり午前と午後の2区分で予約可能であれば、1日あたりの利用可能コマ数は6コマ。 ※利用コマ数は、主催事業の開催状況やサークルや個別活動が実際に利用した数（午前と午後で利用予約可能な貸室を1団体が終日利用した場合は2コマ）。

4) 施設に関する費用の状況について

施設に関する費用は、平成 25 年度決算額を基準に「維持管理費用」と「事業運営費用」、「人件費」の 3 種類に区分しており、「維持管理費用」については、内訳をグラフ化しています。

人件費については、常駐する施設で整理しており事務所機能を有する施設の場合は高く計上されることから、事務所利用が中心となる「行政施設」については、人件費を除いて整理します。また、指定管理制度を活用している施設については指定管理料を維持管理費用として計上し、あくまでも市の支出がいくらかという視点から整理しています。

それぞれの考え方と具体的な費用項目は下表のとおりです。

表 4-1-2 施設に関する費用に計上する費用

区分	説明	費目	説明	備考
維持管理費用	施設の維持管理に関わる業務として施設内外で発生する費用	光熱水費等	電気、ガス、水道料金、燃料費	概要の表では合計値、グラフでは内訳を記載しています
		修繕料	施設の維持補修のために執行したもの	
		工事請負費		
		火災保険料	施設の保険料	
		委託料	外部委託（建築設備保守管理費、清掃・環境衛生費、警備費）等で実施しているもの	
		その他	土地建物賃借料 等	
		指定管理料	指定管理料	
事業運営費用	市民への公共サービス提供業務、その他の行政活動として施設内外で発生する費用	委託料	市民への公共サービス提供業務、その他の行政活動として実施しているもの	表・グラフでは合計値で記載しています
		その他	備品購入費、消耗品費等	
人件費			当該施設に常駐している人数×職員の平均給与で算出	行政施設では人件費を除きグラフ化しています

5) 単位あたりのコストの状況について

上記で整理した施設に関する費用のうち、工事請負費以外の維持管理費用については、建物に対して経常的に毎年発生している費用と考えられることから、工事請負費を除く維持管理費用を「建物コスト」ととらえて比較します。建物の延床面積や利用状況の指標を活用し、各施設の単位あたりの「建物コスト」を下記のとおり計算することで施設ごとにグラフ化します。

スポーツ・レクリエーション施設のうち、グラウンドを有する施設等については、管理棟などの建築物に比べ屋外スペースが広いことから、延床面積 1 m²あたりの支出は省略します。

表 4-1-3 単位あたりコストの考え方

単位あたりのコスト	説明
延床面積 1 m ² あたりの支出	建物コストを施設の延床面積で除した値
利用者等 1 人あたりの支出	建物コストを利用者数等（在籍者、定員数等）で除した値

4-2 施設別の状況について

(1) 市民文化施設

1) 公民館等

① 概要

本市では、公民館等を8箇所を設置しており、旧和田山町に3箇所、旧生野町と旧朝来町に2箇所、旧山東町に1箇所設置しています。

公民館は、地域住民に最も身近な生涯学習拠点として、教養の向上、生活文化の振興など、地域に根ざした活動を行っています。



< 山東公民館 >

表 4-2-1 公民館等の概要

No.	基礎情報					コスト情報(千円)			収入(千円)
	施設名	所在	建築年	構造階数	延床面積(m ²)	維持管理費	事業運営費	人件費	
1	生野公民館	生野町口銀谷791-1	S43	RC1	346.50	1,766	2,222	2,677	20
2	生野交流館	生野町真弓491-1	H25	RC2	496.90	518	1,104	5,354	0
3	多世代交流センター	和田山町土田西木戸112-1	H7	S1	356.00	1,075	79	2,677	0
4	枚田岡会館	和田山町枚田岡475	H24	SRC2	715.79	1,049	852	5,354	0
5	和田山公民館	和田山町玉置824-1	S60	RC1	752.94	4,675	3,989	20,865	305
6	山東公民館	山東町末歳710	S47	RC2	1,318.80	7,996	0	0	348
7	朝来福祉会館	伊由市場178	S48	RC2	457.10	1,082	646	11,046	0
8	朝来公民館	新井73-1	S48	RC2	862.00	1,476	313	0	69

② 建物の状況

延床面積は、山東公民館が約1,300 m²と最も広く、朝来公民館や枚田岡会館、和田山公民館も800 m²前後と広がっていますが、これ以外は300~500 m²程度の施設が多くなっています。

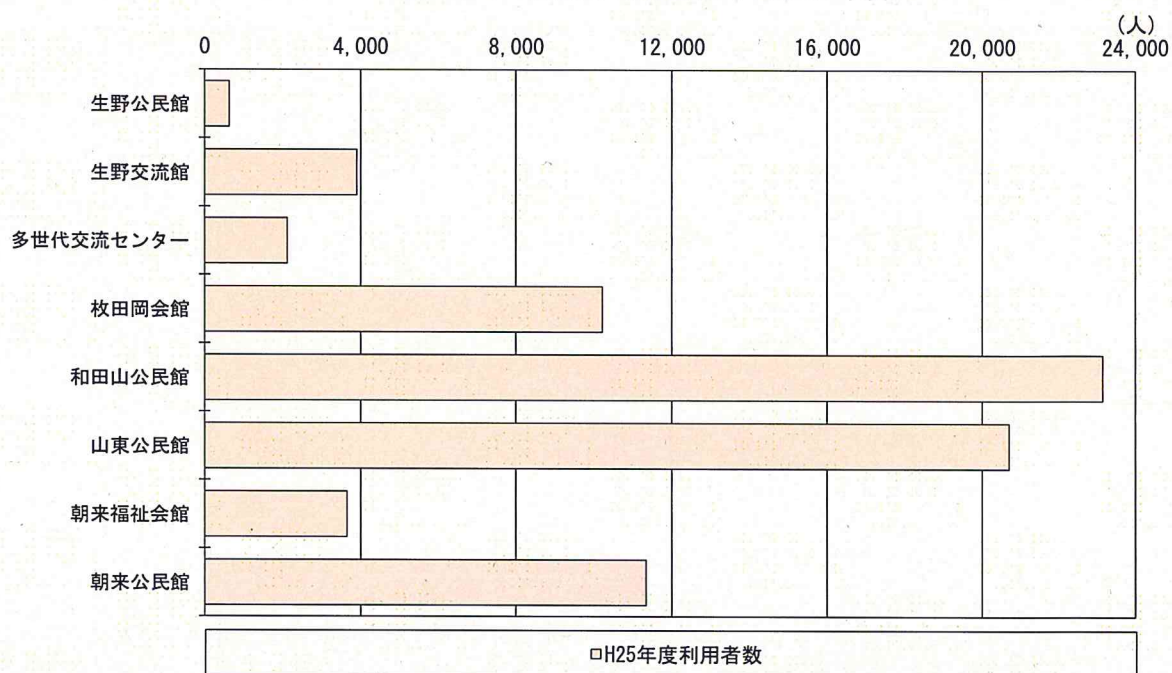
昭和40年代から50年代にかけて建築された公民館が5件あり、大規模改修・更新のサイクルを上回る建築後35~45年ほど経過しています。

また、新耐震基準以前(昭和56年以前)に建築された5件のうち、平成23年に実施した枚田岡会館を除き、耐震改修は未実施となっています。

③ 利用の状況

平成 25 年度の延利用者数をみると、大半の施設が 1 万人以下となっていますが、施設規模の大きい和田山公民館（約 2.3 万人）や山東公民館（約 2.1 万人）では 2 万人を超え特に多くなっています。

図 4-2-1 施設の利用者数（平成 25 年度）

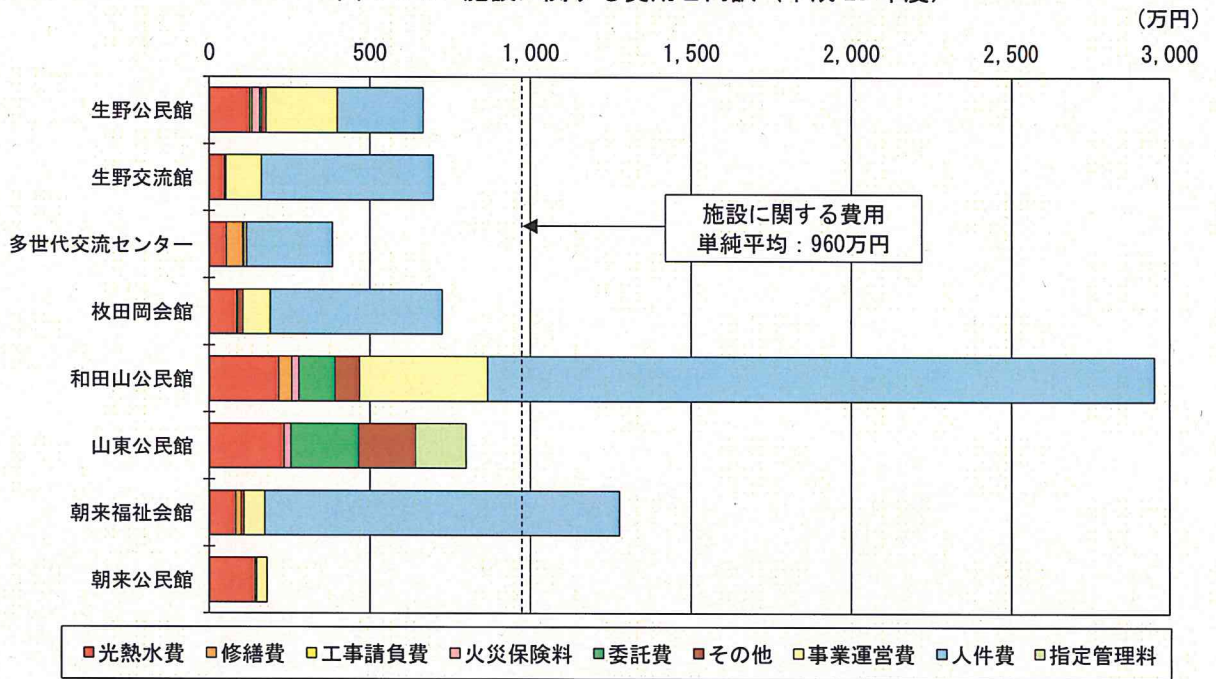


④ 施設に関する費用の状況

平成 25 年度における施設に関する費用をみると、全施設の平均では 960 万円となっています。施設規模が大きく利用者も多い和田山公民館は、約 2,950 万円と平均の 3 倍以上になっており、これ以外では、朝来福祉会館が約 1,280 万円と高くなっています。

費用の内訳をみると、人件費や事業運営費の占める割合が高い公民館が多く、これ以外では光熱水費、委託費が主な費目として挙がっています。

図 4-2-2 施設に関する費用と内訳（平成 25 年度）



⑤ 単位あたりのコストの状況

平成 25 年度の施設に関する費用を延床面積 1 m²あたりで見ると、全公民館の平均は 3,701 円となっています。施設に関する費用が高い和田山公民館が約 6,210 円と最も高く、次いで山東公民館（約 6,060 円）、生野公民館（約 5,100 円）となっています。

利用者 1 人あたりで見ると、全公民館の平均は 259 円となっています。延利用者数が特に少ない生野公民館は約 2,790 円で、平均の 10 倍を超えるかなり高い水準となっています。

図 4-2-3 延床面積 1 m²あたりの費用（平成 25 年度）

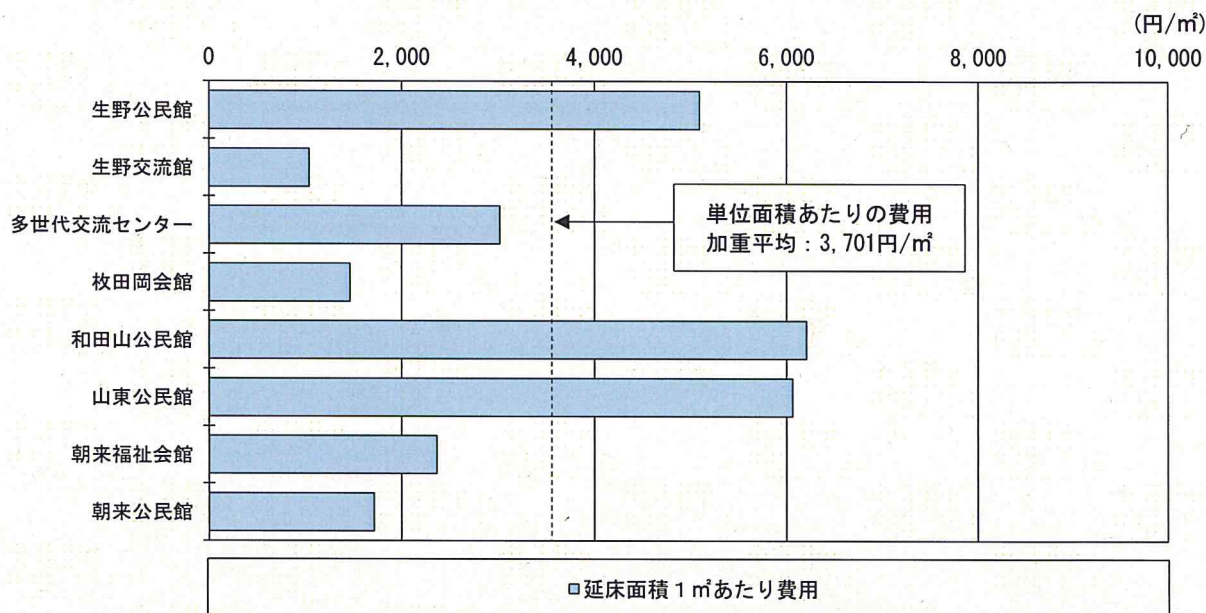
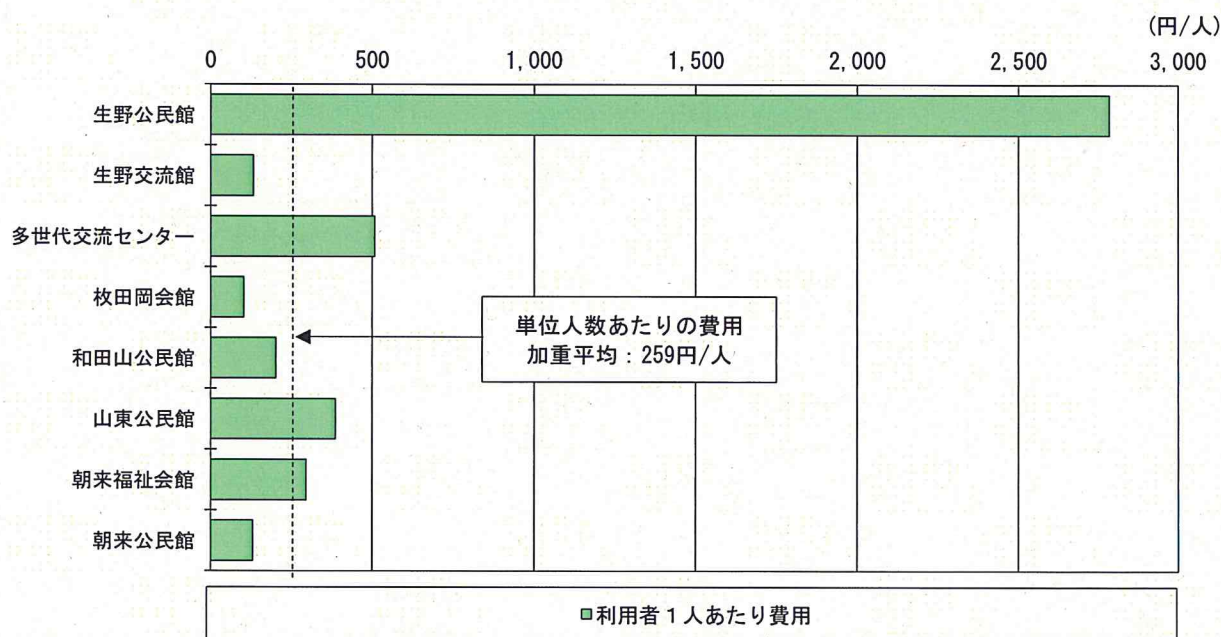


図 4-2-4 利用者 1 人あたりの費用（平成 25 年度）



2) 集会施設

① 概要

本市では、集会施設を 63 箇所を設置しており、コミュニティ（消防）センターが 27 箇所と半数近くを占め、次いで集会所が 23 箇所と多くなっています。

集会施設は、公民館と同様に地域住民の集いの場・寄り合いの場となっているほか、地域の伝統的な文化・芸能や産業等を後世に伝承するための活動を行う場としても利用されています。



< 秋葉台中央集会所 >

② 建物の状況

いずれの施設も規模はそれほど大きくなく、佐囊地区モデルコミュニティセンター（約 900 m²）、秋葉台中央集会所（540 m²）、生野六区コミュニティセンター（約 520 m²）を除いて、延床面積は 500 m²未満となっています。

平成に入ってから建築された施設が 44 件と全体の 2/3 以上を占めており、建築後 10～15 年程度の施設が多くなっています。昭和 40 年代後半から昭和 50 年代後半にかけて建築した施設は大規模改修・更新のサイクルを迎え老朽化がかなり進んでいますが、平成 21 年にバリアフリー化等を実施した粟鹿地区農村環境改善センター以外では、大規模改修を実施した施設はありません。

新耐震基準以前（昭和 56 年以前）に建築した施設は 10 箇所ありますが、いずれの施設も耐震診断・改修が未実施となっています。

表 4-2-2 集会施設の概要

No.	基礎情報					コスト情報(千円)			収入 (千円)
	施設名	所在	建築年	構造 階数	延床面積 (㎡)	維持 管理費	事業 運営費	人件費	
1	生野二区コミュニティ消防センター	生野町口銀谷449-3	H12	S1	263.00	29	0	0	0
2	生野六区コミュニティセンター	生野町口銀谷1989	S54	RC1	516.00	32	0	0	0
3	生野新町ふれあいセンター	生野町新町1052-1	H13	W1	96.86	496	0	0	0
4	奥銀谷地区コミュニティセンター	生野町奥銀谷1436-2	S55	RC1	370.00	249	0	0	0
5	小野公民館	生野町小野1560	H10	RC1	152.00	0	0	0	0
6	黒川生活改善センター	生野町黒川84	S56	W1	142.00	9	0	0	0
7	小田和多目的集会センター	生野町円山14-6	S64	W1	145.00	0	0	0	0
8	北真弓ふれあいセンター	生野町真弓133	H9	RC1	155.00	0	0	0	0
9	南真弓集会所	生野町真弓389-6	S57	W1	99.00	56	168	0	0
10	川尻多目的集会センター	生野町川尻67-1	S64	S1	134.00	0	0	0	0
11	栃原コミュニティセンター	生野町栃原562	H5	RC1	380.00	26	0	0	0
12	秋葉台中央集会所	和田山町秋葉台2	S62	S1	540.00	0	0	0	0
13	糸井市民会館	和田山町高生田400	H12	RC2	498.12	1,014	42	0	0
14	土田住宅集会所	和田山町土田930	S58	RC1	70.00	3	0	0	0
15	西土田集会所	和田山町土田131-3	S58	S1	100.00	0	0	0	0
16	大蔵市民会館	和田山町宮田186-3	S53	RC2	481.05	1,230	74	0	20
17	枚田住宅集会所	和田山町枚田1343	H7	W1	64.00	166	0	0	0
18	東河市民会館	和田山町中94-2	S53	RC2	466.27	1,111	74	0	0
19	竹田市民会館	和田山町竹田650	S53	RC2	481.05	1,021	74	0	7
20	大垣農業集落多目的集会施設	山東町大垣117	H4	W1	164.94	0	0	0	0
21	矢名瀬下町集会所	山東町矢名瀬町423-1	H19	W2	103.56	0	0	0	0
22	川原町コミュニティ消防センター	山東町矢名瀬町737	H14	W1	311.77	0	0	0	0
23	末歳集会所	山東町末歳273-2	H22	W1	222.82	0	0	0	0
24	磯部地区コミュニティセンター	山東町大内549-1	H20	W1	163.00	0	0	0	0
25	塩田集会所	山東町塩田474-1	H20	W1	130.16	0	0	0	0
26	金浦集会所	山東町金浦446	H24	W1	144.00	0	0	0	0
27	諏訪コミュニティ消防センター	山東町大月122	H4	W1	230.91	0	0	0	0
28	山東農村婦人の家	山東町大月703-1	S59	W2	238.30	0	0	0	0
29	向大道コミュニティ消防センター	山東町大月903-1	H6	W1	241.58	0	0	0	0
30	楽音寺コミュニティ消防センター	山東町楽音寺501-1	H5	W1	166.31	0	0	0	0
31	清水町コミュニティ消防センター	山東町楽音寺32-4	H13	S2	342.60	0	0	0	0
32	小谷集会所	山東町小谷73-1	S47	RC1	132.13	0	0	0	0
33	田中集会所	山東町粟鹿516-1	H20	W1	178.52	0	0	0	0
34	粟鹿地区農村環境改善センター	山東町粟鹿873	S55	RC2	462.74	205	0	0	0
35	西地コミュニティ消防センター	山東町粟鹿995-1	S64	W1	146.50	0	0	0	0
36	比叡コミュニティ消防センター	山東町粟鹿1730-2	H7	W1	103.35	0	0	0	0
37	一品コミュニティ消防センター	山東町一品520	H10	W1	137.65	0	0	0	0
38	上早田コミュニティ消防センター	山東町早田286	H8	W1	176.12	0	0	0	0
39	早田集会所	山東町和賀628-2	S51	W2	165.99	0	0	0	0
40	和賀集会所	山東町和賀906	H22	W1	188.72	0	0	0	0
41	柘木コミュニティ消防センター	山東町柘木347-1	H11	W1	183.37	0	0	0	0
42	与布土地区コミュニティセンター	山東町溝黒360	H19	RC1	241.20	314	0	0	0
43	山歳集会所	山東町溝黒443	S60	RC1	220.82	0	0	0	0
44	与布土集会所	山東町与布土803-1	H20	W1	269.72	0	0	0	0
45	三保集会所	山東町三保519-2	H25	W1	151.29	0	0	0	0
46	物部コミュニティ消防センター	物部1081	H14	W1	328.76	0	0	0	0
47	桑市コミュニティ消防センター	桑市293-1	H11	W1	200.83	0	0	0	0
48	上八代コミュニティ消防センター	上八代290-1	H10	W1	156.30	0	0	0	0
49	立脇集会所	立脇382-1	H9	W1	344.91	0	0	0	0
50	あさご愛タウン集会所	立脇664-1	H14	W1	240.62	0	0	0	0
51	石田集会所	石田702-1	H9	W1	294.94	0	0	0	0
52	沢地区集会所	澤546	H16	W2	390.00	0	0	0	0
53	山内コミュニティ消防センター	山内519-1	H9	W1	193.07	0	0	0	0
54	立野集会所	立野502-4	H15	W1	302.71	0	0	0	0
55	八代コミュニティ消防センター	八代268	H10	W1	284.32	0	0	0	0
56	土づくり研修センター(八代)	八代742-5	H17	W1	99.00	0	0	0	0
57	佐養地区モデルコミュニティセンター	佐養1107-2	S54	W1	903.00	172	0	0	0
58	佐中コミュニティ消防センター	佐養1283	H9	W1	150.03	0	0	0	0
59	平野コミュニティ消防センター	佐養1537	H11	W1	145.53	0	0	0	0
60	羽瀨集会所	羽瀨382-2	H10	W2	297.80	0	0	0	0
61	中田路コミュニティセンター	田路570-2	H15	W1	167.00	0	0	0	0
62	元津コミュニティ消防センター	岩津281	H12	W1	258.07	0	0	0	0
63	上岩津コミュニティ消防センター	岩津785	H14	W1	242.55	0	0	0	0

3) 文化施設

① 概要

本市では、ホールや会議室、ギャラリーを備えた文化施設を4箇所に設置しており、行政単位(旧町単位)ごとに1箇所ずつ設置しています。

文化施設は、市民の文化・芸術活動の場、音楽・演芸等の鑑賞の場として、多くの市民に利用されています。



< あさご・ささゆりホール >

表 4-2-3 文化施設の概要

No.	基礎情報					コスト情報(千円)			収入(千円)
	施設名	所在	建築年	構造階数	延床面積(m ²)	維持管理費	事業運営費	人件費	
1	生野メインホール	生野町口銀谷594-6	H1	SRC3	2,124.40	18,984	7,078	2,677	1,056
2	和田山ジュピターホール	和田山町玉置877-1	H4	SRC4	4,269.32	34,085	33,837	22,319	4,775
3	さんとう緑風ホール	山東町楽音寺118	S62	RC1	1,032.00	1,816	0	0	74
4	あさご・ささゆりホール	新井73-1	H14	SRC3	1,643.01	7,177	12,438	0	591

② 建物の状況

延床面積は、和田山ジュピターホール(約4,270 m²)が特に広く、これ以外の3施設は1,000~2,000 m²程度の規模となっています。

最も古い施設は昭和62年に建築したさんとう緑風ホールで、いずれの施設も大規模改修・更新のサイクルを迎えておらず、これまでに大規模な改修は実施していません。

また、いずれの施設も新耐震基準以降(昭和57年以降)に建築した施設で、耐震改修を実施する必要はありません。

③ 利用の状況

平成25年度の利用者数をみると、施設規模の大きい和田山ジュピターホールが約5.7万人と最も多く、次いで生野メインホールが約1.9万人となっています。

文化施設に併設されている貸室の稼働率をみると、ホールでは、和田山ジュピターホールが最大(40.1%)で、会議室等では生野メインホールが最大(35.1%)となっています。

図 4-2-5 施設の利用者数（平成 25 年度）

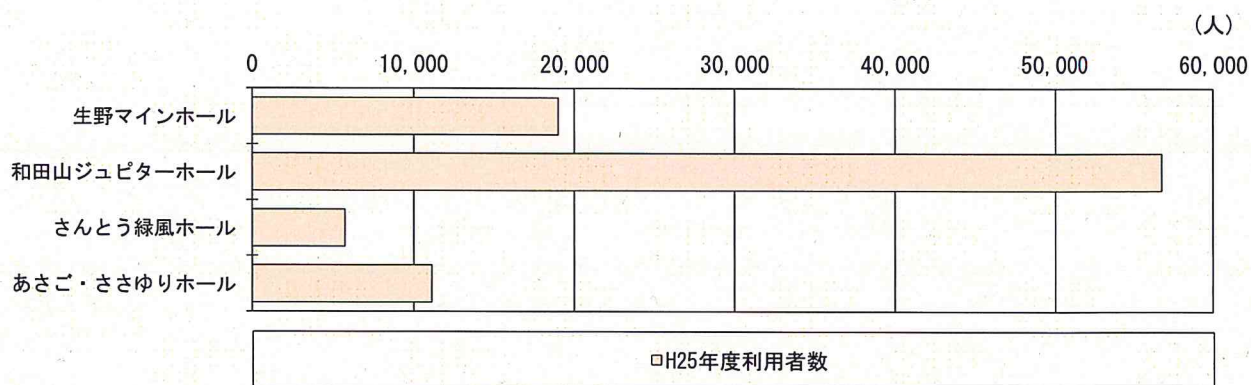


図 4-2-6 貸室の稼働率（ホール・平成 25 年度）

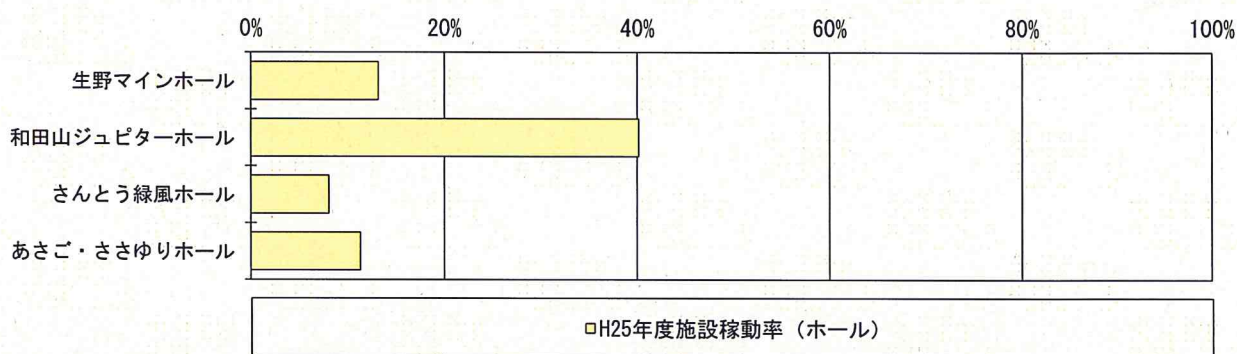
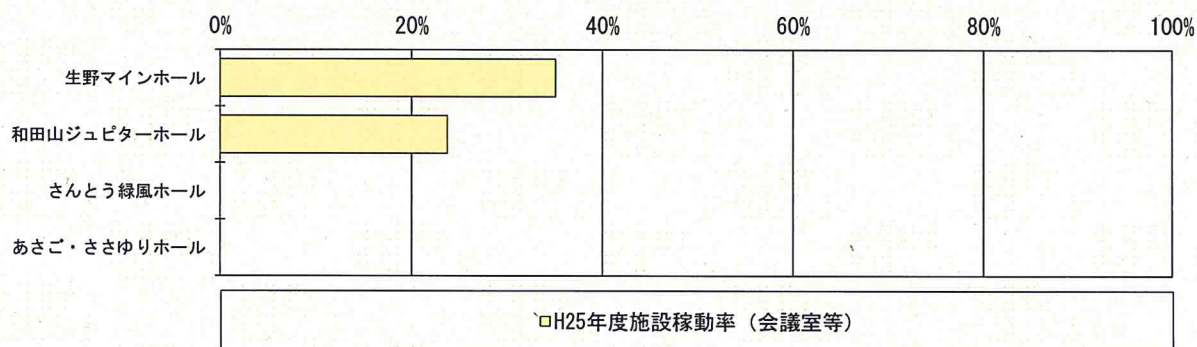


図 4-2-7 貸室の稼働率（会議室等・平成 25 年度）

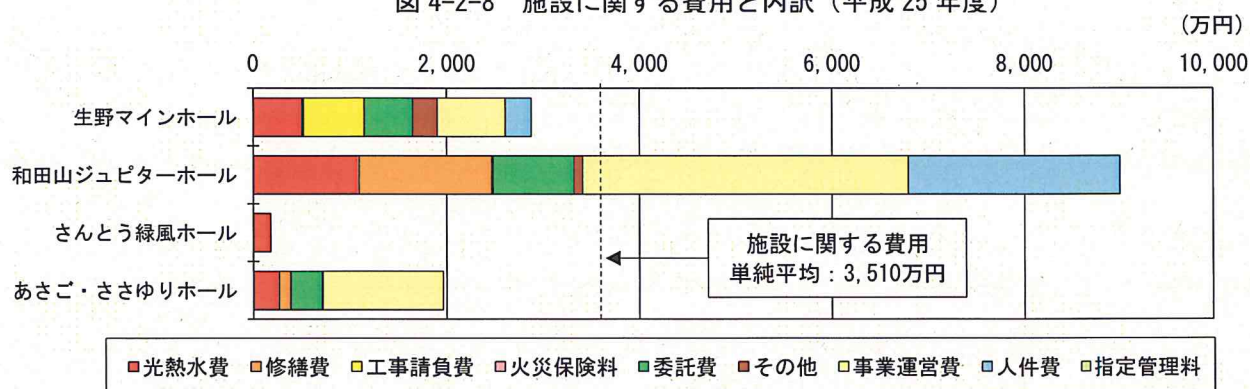


④ 施設に関する費用の状況

平成 25 年度における施設に関する費用をみると、全施設の平均では 3,510 万円となっていますが、施設規模の大きい和田山ジュピターホールは約 9,020 万円と平均の 2.5 倍以上になっており、他の施設と比べてかなり高くなっています。

費用の内訳をみると、事業運営費の割合が最も高く、これ以外では光熱水費、委託費が主な費目として挙がっています。和田山ジュピターホールでは人件費や修繕費の割合が、生野メインホールでは工事請負費の割合も高くなっています。

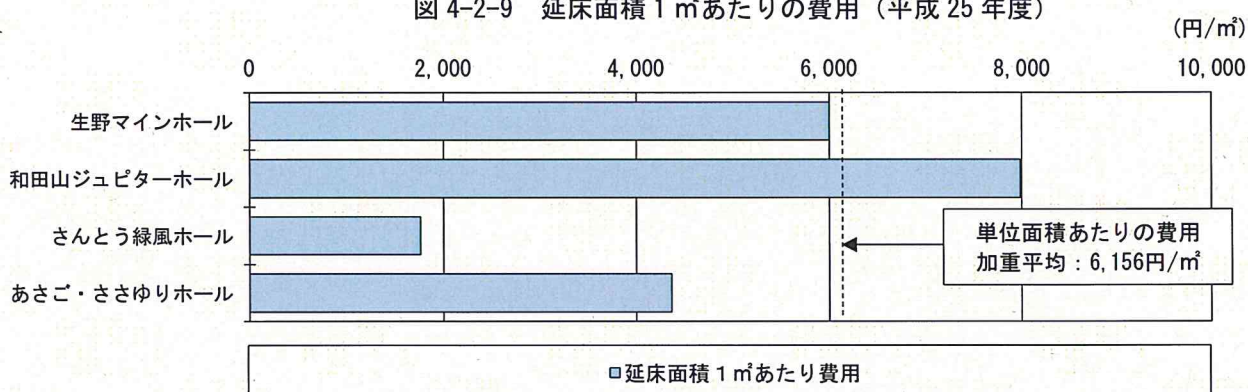
図 4-2-8 施設に関する費用と内訳（平成 25 年度）



⑤ 単位あたりのコストの状況

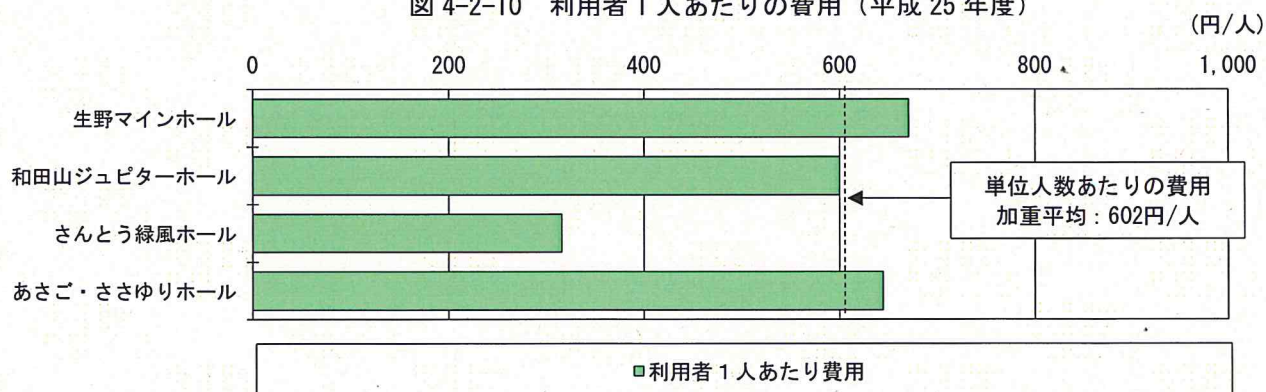
平成 25 年度の施設に関する費用を延床面積 1 m²あたりで見ると、全施設の平均では 6,156 円となっていますが、施設に関する費用が高い和田山ジュピターホール（約 7,980 円）以外は、いずれの施設も平均を下回っています。

図 4-2-9 延床面積 1 m²あたりの費用（平成 25 年度）



利用者 1 人あたりで見ると、全施設の平均では 602 円となっており、さんとう緑風ホールが約 320 円と平均の 1/2 程度と低くなっています。

図 4-2-10 利用者 1 人あたりの費用（平成 25 年度）



(2) 社会教育施設

1) 図書館

① 概要

本市では、図書館を旧和田山町及び旧朝来町の2箇所に設置しています。

図書館は、全域サービスの考え方に基づいて、サービスの空白地域が生じないように配置を行っています。



< 和田山図書館 >

表 4-2-4 図書館の概要

No.	基礎情報					コスト情報(千円)			収入(千円)
	施設名	所在	建築年	構造階数	延床面積(m ²)	維持管理費	事業運営費	人件費	
1	和田山図書館	和田山町玉置861	H6	SRC1	1,163.88	35,757	19,484	16,965	0
2	あさご森の図書館あさごエコハウス	新井194	H17	SRC1	666.00	1,367	3,670	7,142	0

平成25年度の総蔵書数は、図書館全体で約19.0万冊となっており、和田山図書館が約13.9万冊と全体の7割以上を占めています。

表 4-2-5 図書館の蔵書数

施設名	蔵書数(平成25年度)
和田山図書館	139,197冊
あさごの森図書館 あさごエコハウス	50,458冊
全体	189,655冊

② 建物の状況

延床面積は、蔵書数の多い和田山図書館が約1,160m²となっており、あさごの森図書館(約670m²)の1.7倍程度の規模となっています。

いずれの図書館も平成に入ってから建築した比較的新しい施設ですが、和田山図書館では平成24~25年に空調機器等の大規模改修・更新を実施しています。

③ 利用の状況

平成 25 年度の図書館の利用状況をみると、貸出サービスの延利用者数は約 11.4 万人、貸出冊数は約 18.4 万冊となっています。

延利用者数、貸出冊数ともに和田山図書館が多く、それぞれ約 8.3 万人（約 73%）、約 13.6 万冊（約 74%）となっています。

図 4-2-11 施設の利用者数（平成 25 年度）

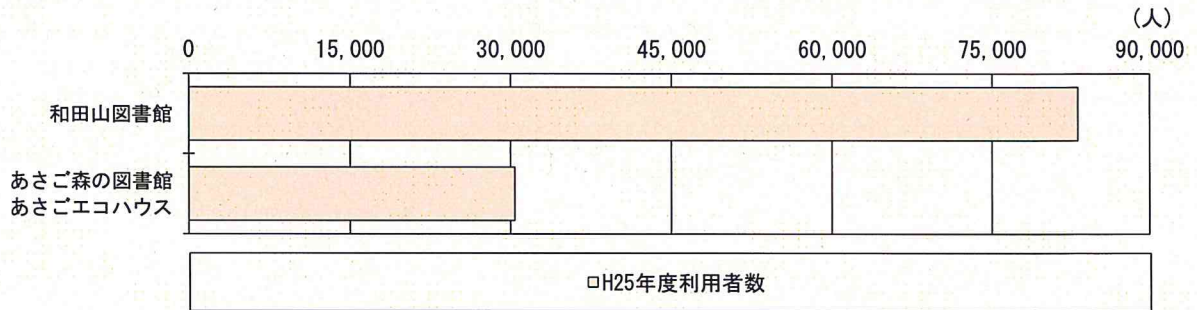
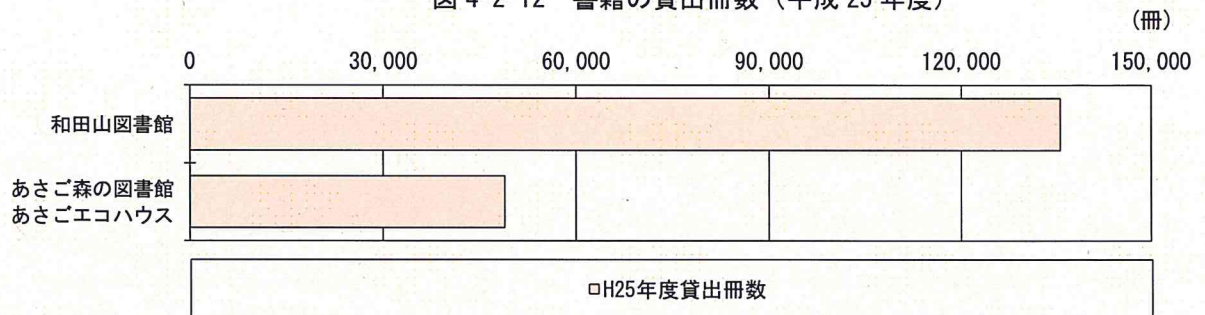


図 4-2-12 書籍の貸出冊数（平成 25 年度）

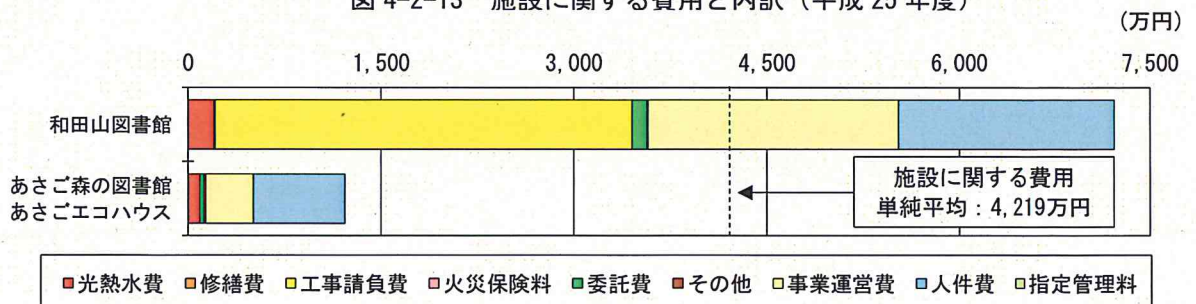


④ 施設に関する費用の状況

平成 25 年度における施設に関する費用をみると、2 施設の平均では 4,219 万円となっていますが、蔵書数、利用者数、貸出冊数が多い和田山図書館は約 7,220 万円で、あさご森の図書館（約 1,220 万円）の約 6 倍となっています。

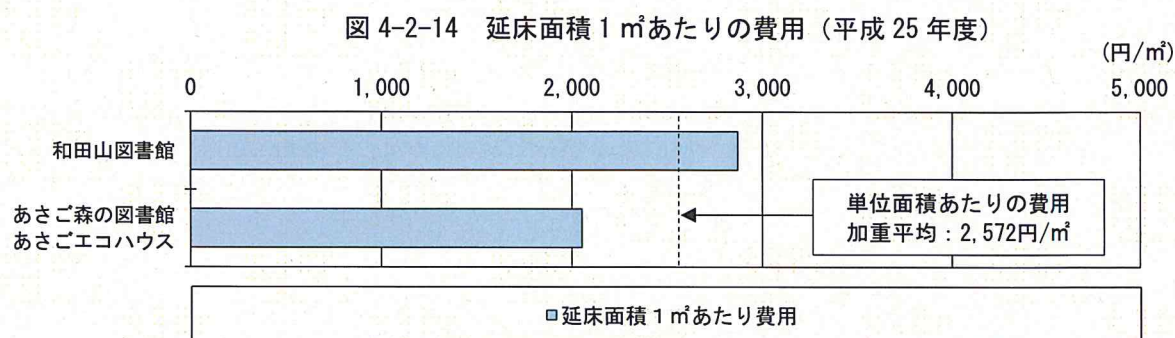
費用の内訳をみると、平成 25 年度に大規模改修を実施した和田山図書館では、工事請負費が 4 割以上を占めていますが、これ以外では、いずれの図書館においても人件費や事業運営費の占める割合が高くなっています。

図 4-2-13 施設に関する費用と内訳（平成 25 年度）

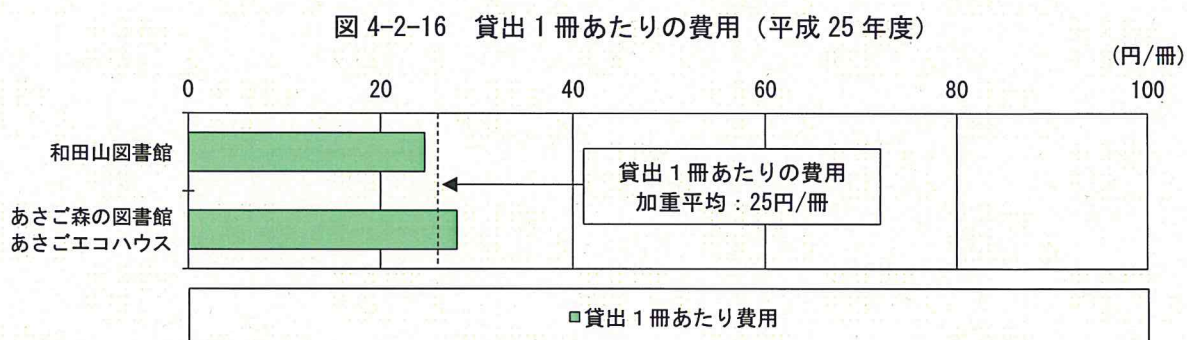
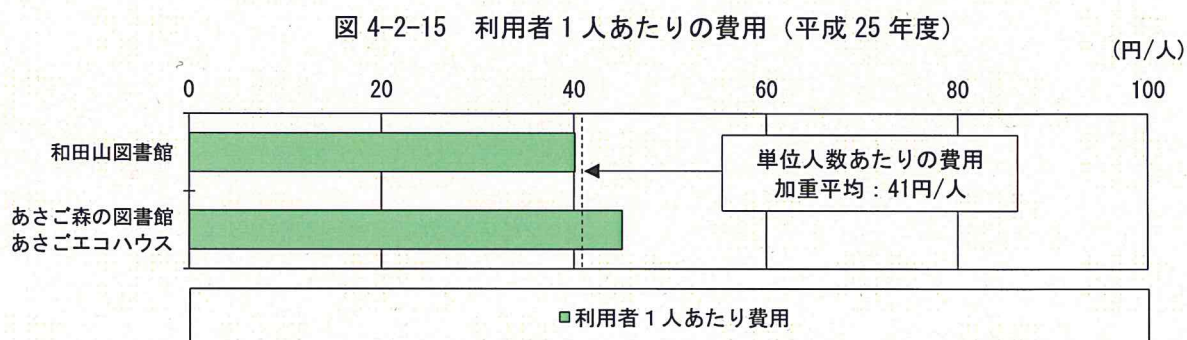


⑤ 単位あたりのコストの状況

平成 25 年度の施設に関する費用を延床面積 1 m²あたりで見ると、2 施設の平均では 2,572 円となっており、和田山図書館のほうが高くなっています。



利用者 1 人あたりで見ると、2 施設の平均では 41 円となっています。また、貸出 1 冊あたりで見ると、2 施設の平均では 25 円となっています。いずれも施設に関する費用が小さいあさご森の図書館のほうが高くなっています。



2) 博物館等

① 概要

本市では、博物館等を10箇所に設置しており、歴史・文化・産業・自然・人物など様々なテーマで施設を各所に設置しています。

博物館等は、市民が本市の歴史・文化等を学び習得する場として利用されているほか、本市を訪れる観光客等の主な立ち寄り先にもなっています。



< あさご芸術の森美術館 >

表 4-2-6 博物館等の概要

No.	基礎情報					コスト情報(千円)			収入(千円)
	施設名	所在	建築年	構造階数	延床面積(m ²)	維持管理費	事業運営費	人件費	
1	生野書院	生野町口銀谷356-1	明治期	W2	496.80	971	1,882	4,087	88
2	旧生野鉱山職員宿舎	生野町口銀谷697-1	M9	W2	540.30	4,457	0	0	0
3	生野鉱物館	生野町小野33-5	S50	RC2	905.98	0	0	0	0
4	和田山郷土資料館	和田山町寺内123	S51	S1	424.00	1,372	118	2,677	0
5	茶すり山古墳学習館	和田山町筒江793-1	H22	RC1	82.03	245	57	0	0
6	埋蔵文化財センター	山東町大月91-2	H18	RC1	1,613.21	14,534	2,170	25,528	0
7	多々良木地区農産物直売所兼総合案内所(ギャラリー四季彩)	多々良木189-1	S58	W1	240.23	25	0	0	13
8	朝来歴史民俗資料館	多々良木724	江戸期	W1	121.00	135	9	0	0
9	あさご芸術の森美術館(淀井敏夫記念館)	多々良木739-3	H10	S2	1,406.07	8,069	35,667	25,942	4,237
10	旧神子畑鉱山事務舎	佐囊1826-1	M5	W1	161.46	1,313	212	0	0

② 建物の状況

延床面積は、埋蔵文化財センター(約1,610 m²)やあさご芸術の森美術館(約1,410 m²)が広がっていますが、これ以外の施設はいずれも1,000 m²未満となっています。

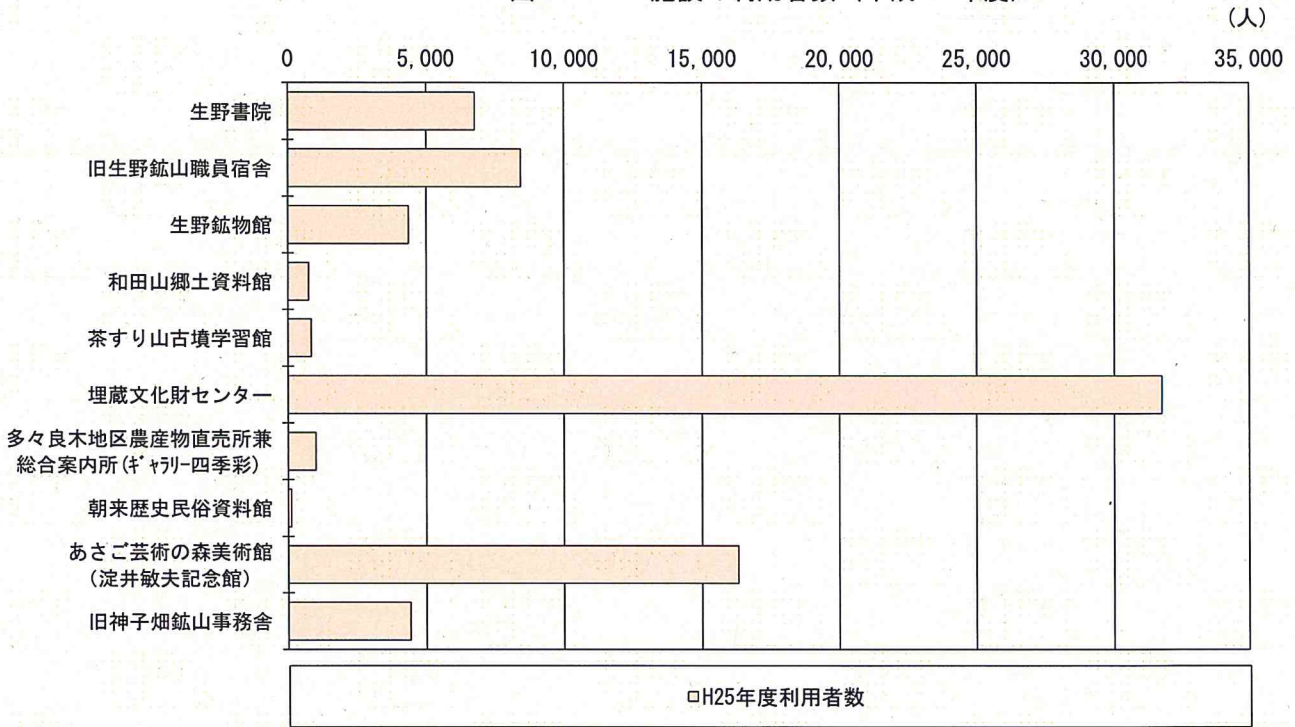
博物館等においては、古民家等を改修した施設もあり、江戸期や明治期の建物も含まれます。昭和40年代後半から昭和50年代後半にかけて建築した施設も含めて5箇所で大規模改修・更新のサイクルを上回っていましたが、朝来歴史民俗資料館については平成3年、生野書院は平成4年、旧神子畑鉱山事務舎は平成16年に改修を実施しています。

いずれの施設も、これまでに耐震診断・改修は実施したことがありません。

③ 利用の状況

平成25年度の延利用者数をみると、埋蔵文化財センターが約3.2万人と特に多く、次いであさご芸術の森美術館が約1.6万人となっていますが、これ以外の施設はいずれも1万人未満となっています。

図 4-2-17 施設の利用者数（平成 25 年度）

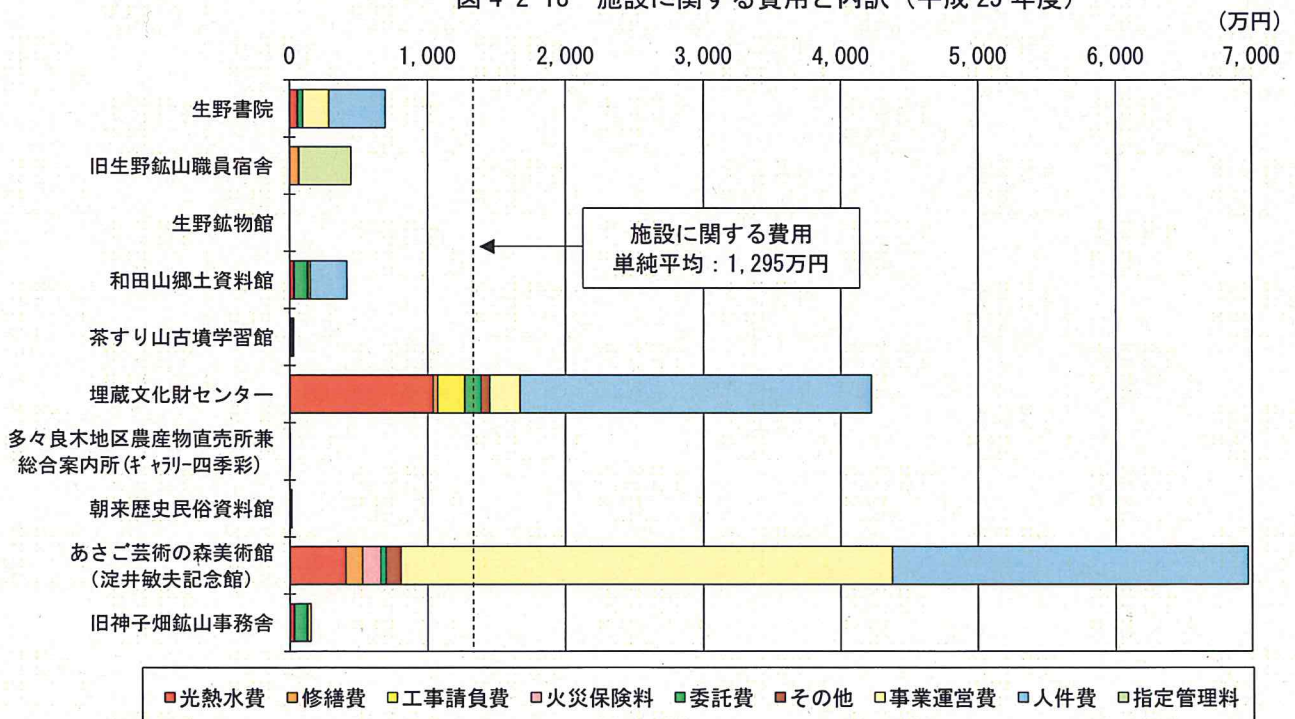


④ 施設に関する費用の状況

平成 25 年度における施設に関する費用をみると、全施設の平均では 1,295 万円となっていますが、施設規模や利用者数の多いあさご芸術の森美術館（約 6,970 万円）や埋蔵文化財センター（約 4,220 万円）が平均の 3～5 倍と特に高くなっています。

費用の内訳をみると、人件費や事業運営費が主な費目として挙がっています。あさご芸術の森美術館では事業運営費が全体の過半を占め、埋蔵文化財センターでは光熱水費が占める割合も高くなっています。

図 4-2-18 施設に関する費用と内訳（平成 25 年度）



⑤ 単位あたりのコストの状況

平成 25 年度の施設に関する費用を延床面積 1 m²あたりで見ると、全施設の平均では 4,867 円となっていますが、施設に関する費用が高い埋蔵文化財センター（約 7,790 円）やあさご芸術の森美術館（約 5,740 円）においても概ね平均に近い水準となっています。

利用者 1 人あたりで見ると、全施設の平均では 390 円となっていますが、利用者数の少ない和田山郷土資料館（約 1,840 円）は、他の施設に比べてかなり高い水準になっています。

図 4-2-19 延床面積 1 m²あたりの費用（平成 25 年度）

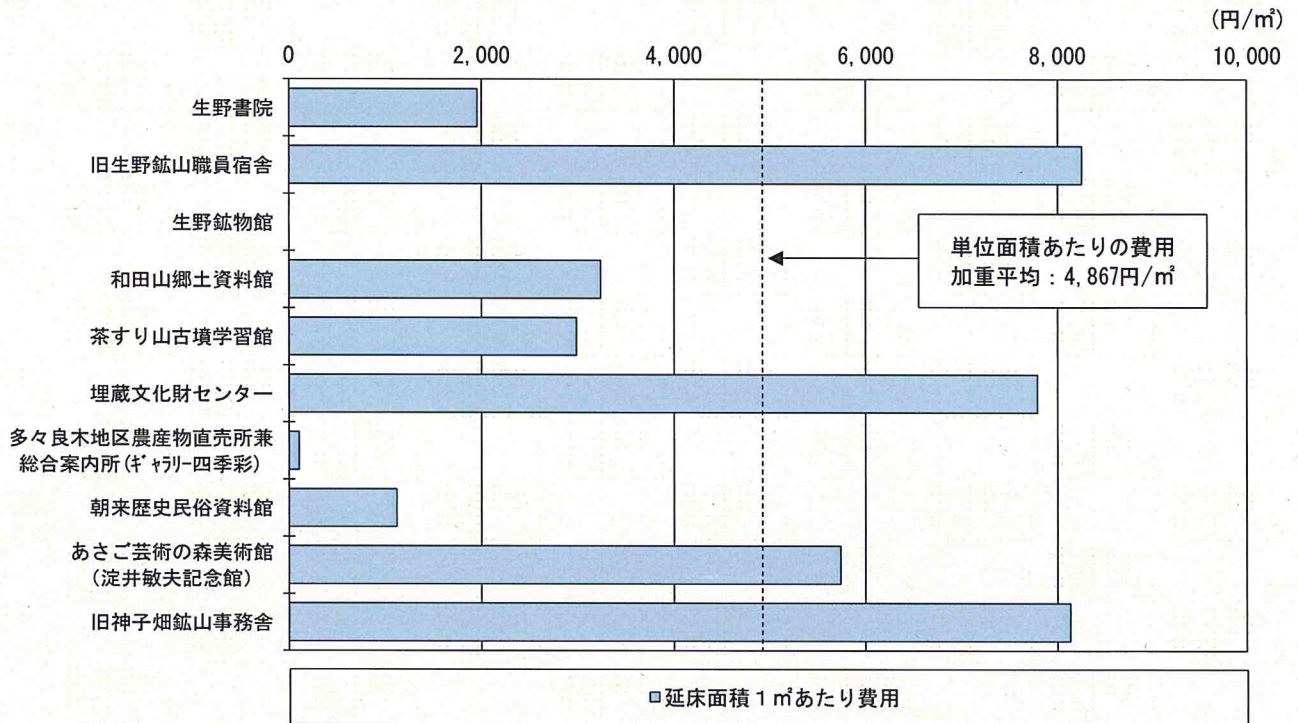
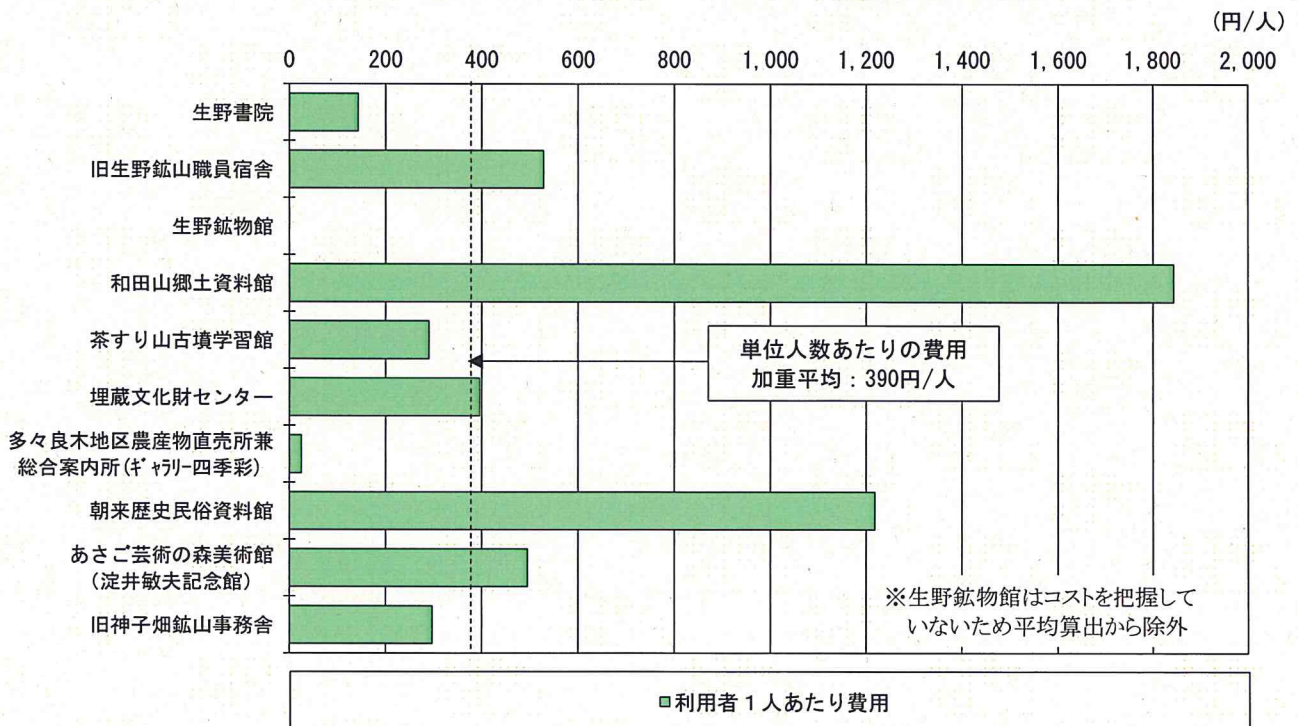


図 4-2-20 利用者 1 人あたりの費用（平成 25 年度）



(3) スポーツ・レクリエーション施設

1) スポーツ施設（プール）

① 概要

本市では、スポーツ施設としてのプールを旧和田山町と旧朝来町の2箇所に設置しています。

いずれの施設にも温水の25mプールや幼児用プールを設置しており、あさごふれあいプール「くじら」にはトレーニングジムも完備しています。

プールは、子どもからお年寄りまで、水泳を通じてコミュニケーションや体力・健康増進の施設として活用されています。



＜ あさごふれあいプール「くじら」 ＞

表 4-2-7 スポーツ施設（プール）の概要

No.	基礎情報					コスト情報(千円)			収入(千円)
	施設名	所在	建築年	構造階数	延床面積(m ²)	維持管理費	事業運営費	人件費	
1	和田山温水プールエスポワ	和田山町柳原104-1	S63	SRC2	1,319.00	15,866	0	0	0
2	あさごふれあいプール「くじら」	新井172	H17	W2	1,993.00	34,657	0	0	0

② 建物の状況

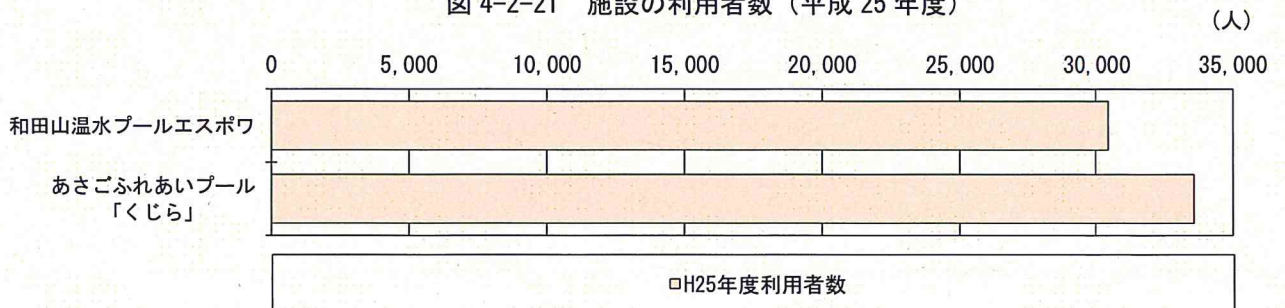
あさごふれあいプール「くじら」は、全国でも珍しい木造のスポーツ施設で、延床面積（約1,990 m²）は和田山温水プール（約1,320 m²）の1.5倍程度の規模となっています。

昭和63年に建築した和田山温水プールは、建築後28年が経過しており、平成9年、平成15年、平成18年に大規模な改修・更新を実施しています。

③ 利用の状況

平成25年度の延利用者数をみると、あさごふれあいプール「くじら」が約3.4万人、和田山温水プールが約3.1万人となっており、3,000人程度の差となっています。

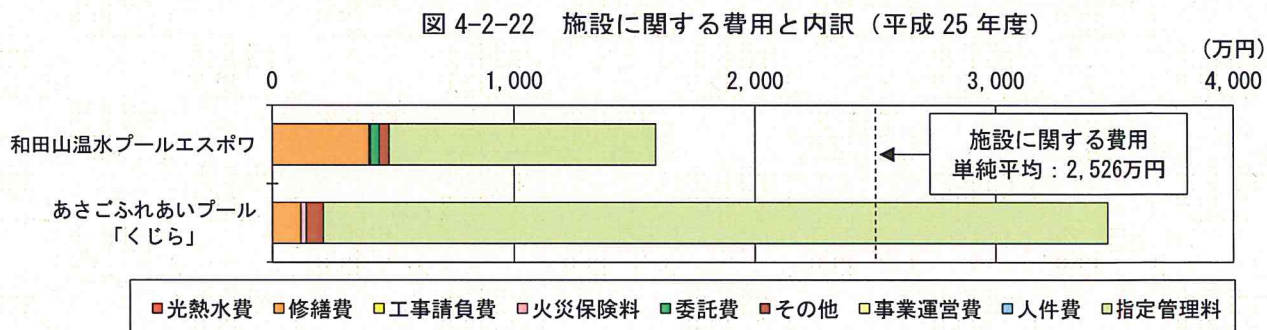
図 4-2-21 施設の利用者数（平成25年度）



④ 施設に関する費用の状況

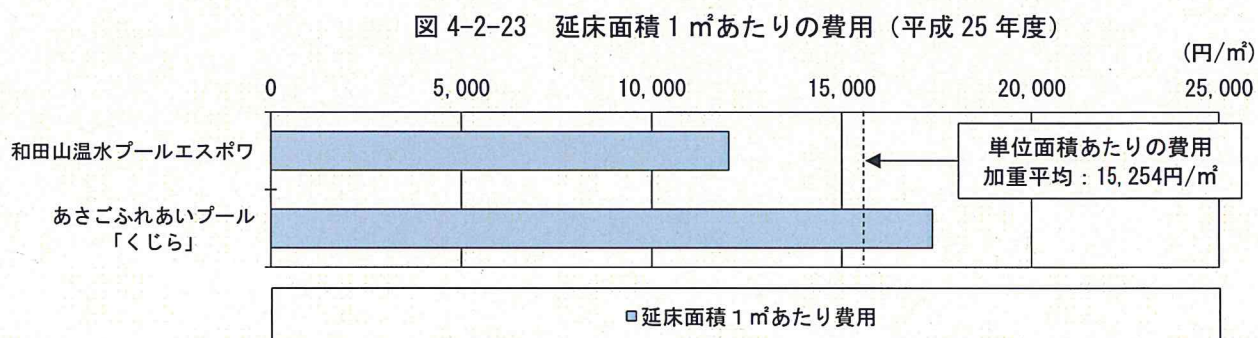
平成 25 年度における施設に関する費用をみると、2 施設の平均では 2,526 万円となっていますが、施設規模が大きく利用者も多いあさごふれあいプール「くじら」は約 3,470 万円と、和田山温水プール（約 1,590 万円）の 2 倍以上となっています。

費用の内訳をみると、いずれの施設でも指定管理料の占める割合がかなり高く、これ以外では修繕費が主な費目として挙がっています。

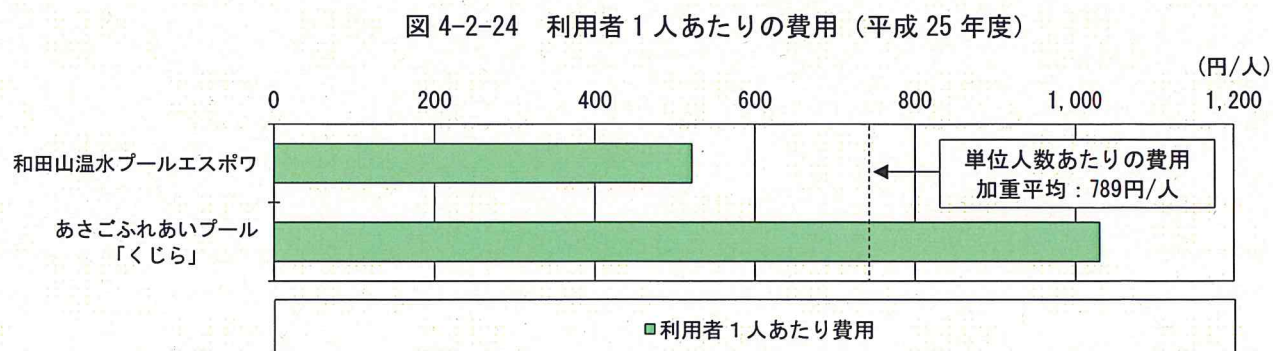


⑤ 単位あたりのコストの状況

平成 25 年度の施設に関する費用を延床面積 1 m²あたりでみると、2 施設の平均では 15,254 円となっており、あさごふれあいプール「くじら」のほうが高くなっています。



利用者 1 人あたりでみると、2 施設の平均では 789 円ですが、施設に関する費用が高いあさごふれあいプール「くじら」は約 1,030 円と、和田山温水プール（約 520 円）の約 2 倍となっています。



2) スポーツ施設（体育館）

① 概要

本市では、スポーツ施設としての体育館を 10 箇所に設置しており、旧生野町、旧和田山町、旧山東町にそれぞれ 3 箇所、旧朝来町に 1 箇所の体育館を設置しています。

体育館は、子どもからお年寄りまで、体を動かすことを通じてコミュニケーションや体力・健康増進の施設として活用されています。



< 健康増進施設高齢者センター >

表 4-2-8 スポーツ施設（体育館）の概要

No.	基礎情報					コスト情報(千円)			収入(千円)
	施設名	所在	建築年	構造階数	延床面積(m ²)	維持管理費	事業運営費	人件費	
1	奥銀谷体育館	生野町奥銀谷1438-1	S60	S1	519.00	1,404	0	0	23
2	生野体育館	生野町真弓12	S54	SRC1	982.00	874	0	0	41
3	栃原体育館	生野町栃原562	S61	RC1	529.00	712	0	0	26
4	健康増進施設高齢者センター	和田山町和田711	S63	W1	528.00	343	0	0	0
5	和田山農業者トレーニングセンター	和田山町立ノ原43	S52	S2	1,370.00	4,505	55	0	198
6	和田山体育センター	和田山町玉置87	S58	SRC2	2,707.00	5,693	1,054	0	344
7	山東体育館	山東町末歳710-1	S49	SRC2	988.50	1,617	0	0	98
8	粟鹿体育館	山東町粟鹿862-1	S54	RC1	600.00	74	0	0	63
9	与布土体育館	山東町溝黒411番地	S60	RC1	1,036.00	360	0	0	58
10	朝来体育館	立脇20-1	S56	RC1	1,505.00	2,006	74	0	110

② 建物の状況

延床面積は、和田山体育センター（約 2,710 m²）が特に広く、朝来体育館（約 1,510 m²）や和田山農業者トレーニングセンター（約 1,370 m²）、与布土体育館（約 1,040 m²）も比較的規模は大きいですが、これ以外の施設はいずれも 1,000 m²未満となっています。

いずれの体育館も昭和の時代に建築した施設で、大規模改修・更新のサイクルを迎え老朽化が進んでいる施設も 5 箇所ありますが、これまでに大規模改修を実施した施設はありません。

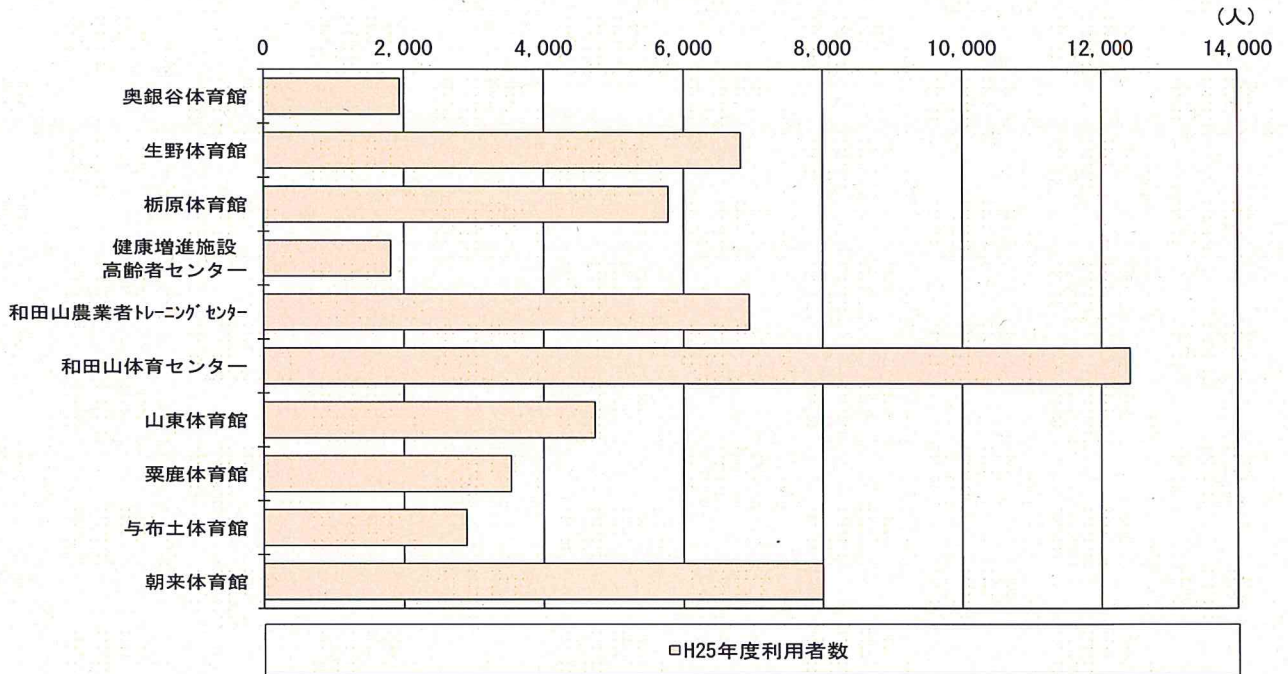
新耐震基準以前（昭和 56 年以前）に建築された施設は、山東体育館をはじめ 5 箇所ありますが、これまでに耐震改修を実施した施設はありません。

③ 利用の状況

平成 25 年度の延利用者数をみると、延床面積が最も広い和田山体育センターが約 1.2 万人と特に多く、これ以外では朝来体育館が約 8 千人と多くなっています。

施設規模の小さい奥銀谷体育館や健康増進施設高齢者センターでは、2 千人を下回っています。

図 4-2-25 施設の利用者数（平成 25 年度）

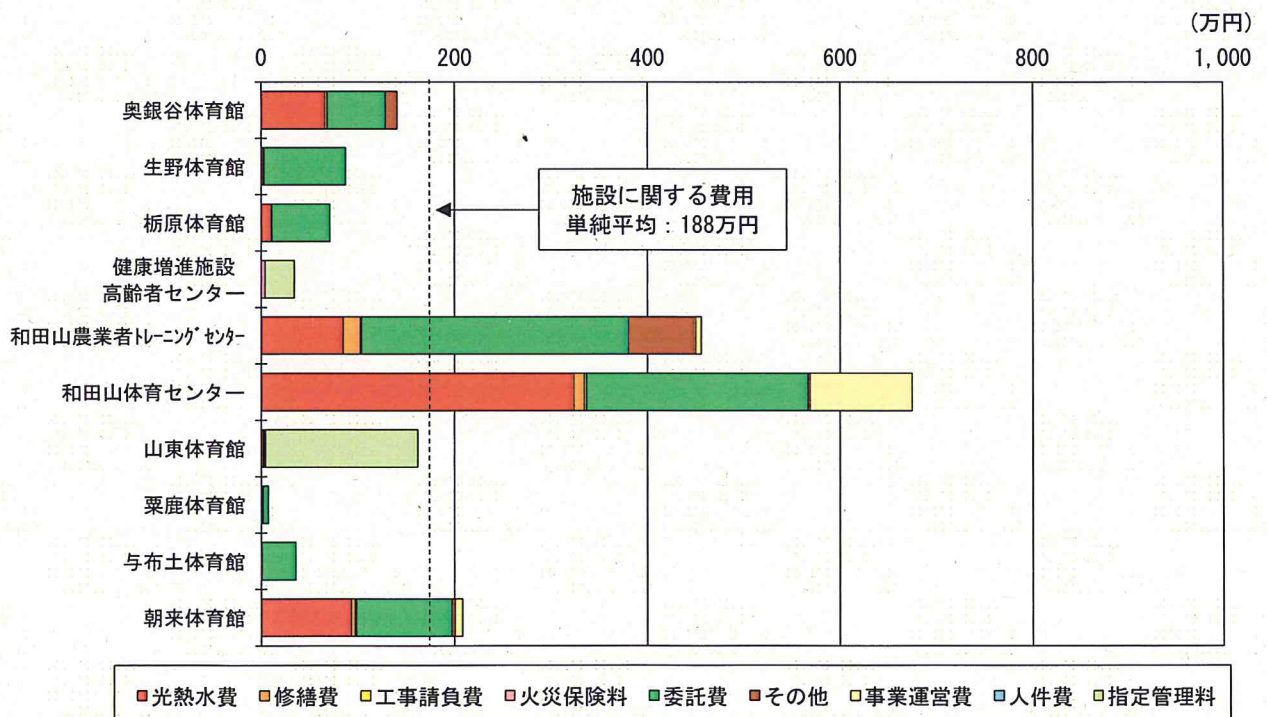


④ 施設に関する費用の状況

平成 25 年度における施設に関する費用をみると、全施設の平均では 188 万円となっていますが、施設規模が大きく利用者数も多い和田山体育センターは約 680 万円で、平均の 3 倍以上とかなり高くなっています。これ以外では、和田山農業者トレーニングセンターが約 460 万円と、平均の 2 倍以上になっています。

費用の内訳をみると、いずれの施設も委託費や光熱水費の占める割合が高く、和田山体育センターでは事業運営費の占める割合が、和田山農業者トレーニングセンターではその他費用の占める割合がやや高くなっています。

図 4-2-26 施設に関する費用と内訳（平成 25 年度）

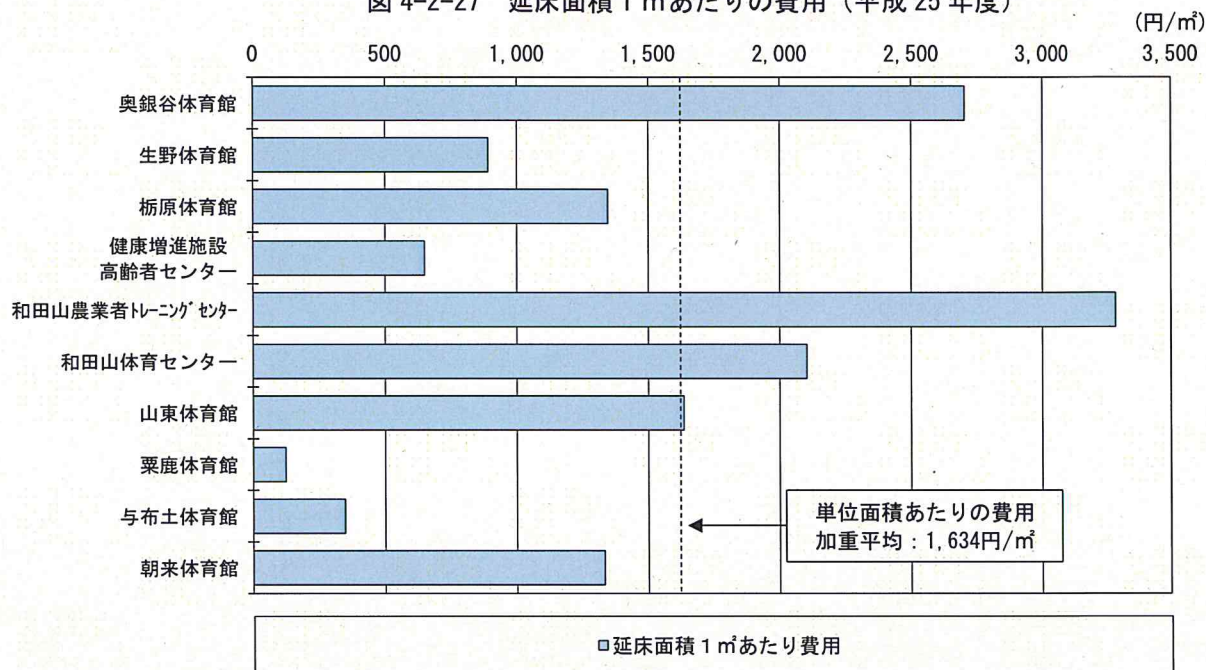


⑤ 単位あたりのコストの状況

平成 25 年度の施設に関する費用を延床面積 1 m²あたりで見ると、全施設の平均では 1,634 円となっていますが、施設に関する費用が高い和田山農業者トレーニングセンター（約 3,290 円）や和田山体育センター（約 2,100 円）では、平均を上回っています。

また、施設規模の小さい奥銀谷体育館（約 2,710 円）で指定管理を導入している山東体育館（約 1,640 円）も平均を上回っています。

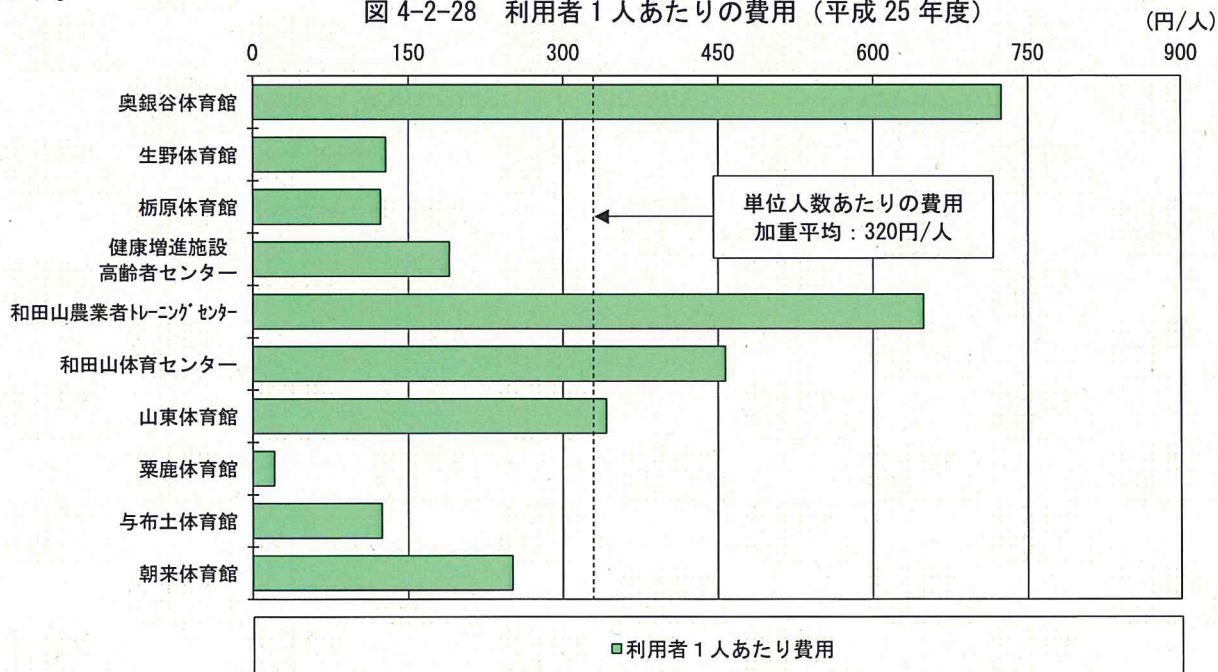
図 4-2-27 延床面積 1 m²あたりの費用（平成 25 年度）



利用者 1 人あたりで見ると、全施設の平均では 320 円となっていますが、利用者数が少ない奥銀谷体育館（約 720 円）では、平均の 2 倍以上と高い水準になっています。

また、施設に関する費用が高い和田山農業者トレーニングセンター（約 650 円）や和田山体育センター（約 460 円）、指定管理を導入している山東体育館（約 340 円）で平均を上回っています。

図 4-2-28 利用者 1 人あたりの費用（平成 25 年度）



3) スポーツ施設（グラウンド）

① 概要

本市では、グラウンドに付属する施設を9箇所に設置しており、このうち広場に付属する施設が6箇所と多くなっています。

グラウンドは、子どもからお年寄りまで、屋外で体を動かすことを通じてコミュニケーションや体力・健康増進の施設として活用されています。

表 4-2-9 スポーツ施設（グラウンド）の概要

No.	基礎情報					コスト情報(千円)			収入(千円)
	施設名	所在	建築年	構造階数	延床面積(m ²)	維持管理費	事業運営費	人件費	
1	八王子グラウンド	生野町口銀谷2401-1	H6	CB1	41.00	1,044	200	0	39
2	栃原運動広場	生野町栃原1699	H4	W1	74.00	280	0	0	41
3	寺内すこやか広場	和田山町寺内561	S63	W1	8.00	87	0	0	0
4	和田山スポーツ公園グラウンド	和田山町玉置47-2	S59	SRC1	34.00	137	0	0	36
5	筒江農村広場	和田山町筒江100	S60	W1	88.00	2,801	97	0	324
6	秋葉山農村広場	山東町大垣547	H15	W1	25.00	109	0	0	0
7	磯部農村広場	山東町野間956	S59	CB1	32.60	109	0	0	0
8	山東農村広場	山東町粟鹿147-2	S55	S1	199.31	1,424	0	0	293
9	朝来グラウンド	立脇25-1	H11	W1	36.00	6	7	0	24

② 建物の状況

延床面積は、山東農村広場に付属する施設が約 200 m²と最も広く、これ以外はいずれの施設も 100 m²未満となっています。

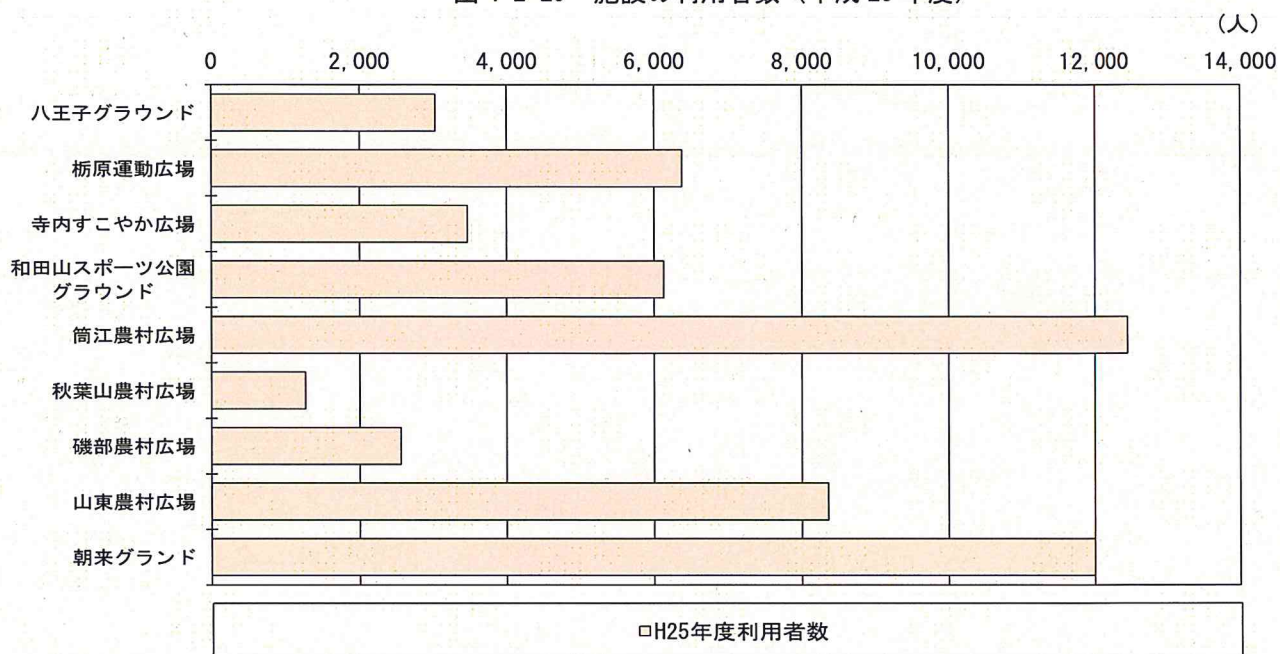
昭和 50 年代の後半に建築した施設が 3 箇所あり、大規模改修・更新のサイクルを迎えて老朽化が進んでいますが、いずれの施設もこれまでに大規模改修を実施したことはありません。

また、新耐震基準以前（昭和 56 年以前）に建築された施設は、山東農村広場に付属する施設ですが、これまでに耐震改修を実施したことはありません。

③ 利用の状況

平成 25 年度の延利用者数をみると、筒江農村広場及び朝来グラウンドが約 1.2 万人と特に多く、これ以外では山東農村広場が約 8 千人となっています。

図 4-2-29 施設の利用者数（平成 25 年度）

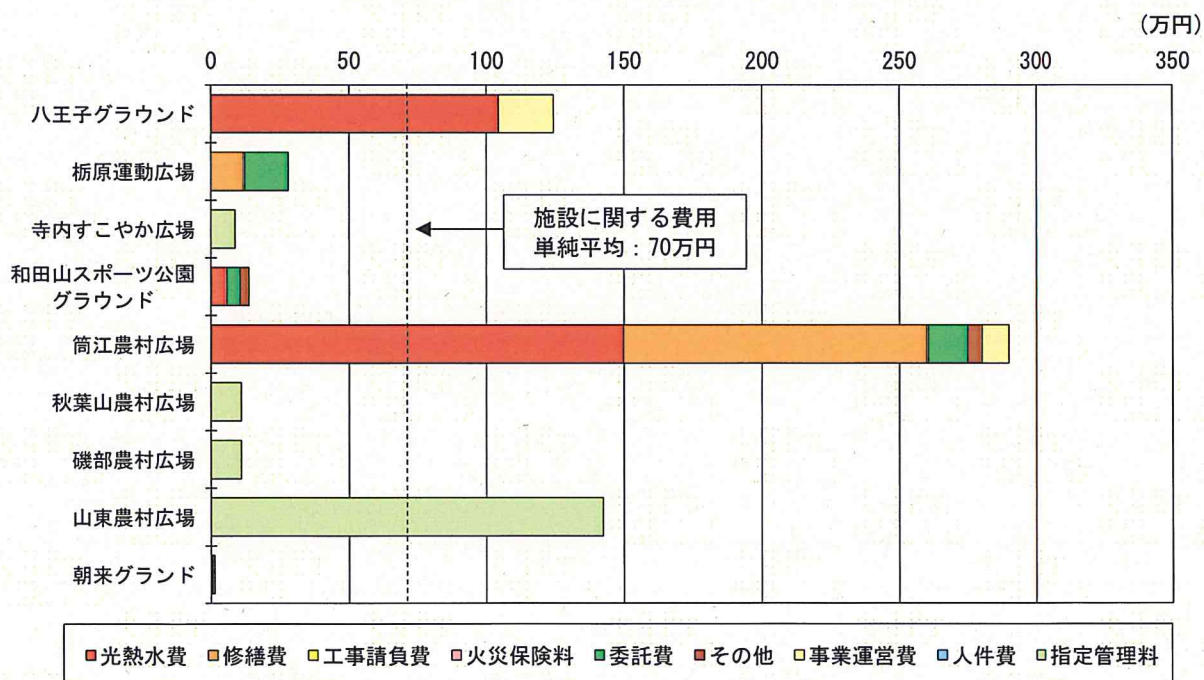


④ 施設に関する費用の状況

平成 25 年度における施設に関する費用をみると、全施設の平均では 70 万円となっていますが、利用者数が多い筒江農村広場は約 290 万円で、平均の 4 倍以上とかなり高くなっています。これ以外では、指定管理を導入している山東農村広場（約 140 万円）や八王子グラウンド（約 120 万円）が平均を上回っています。

費用の内訳をみると、施設に関する費用が高い施設では光熱水費や事業運営費の占める割合が高く、筒江農村広場では修繕費の占める割合もかなり高くなっています。これ以外では、委託費が主な費目として挙がっています。

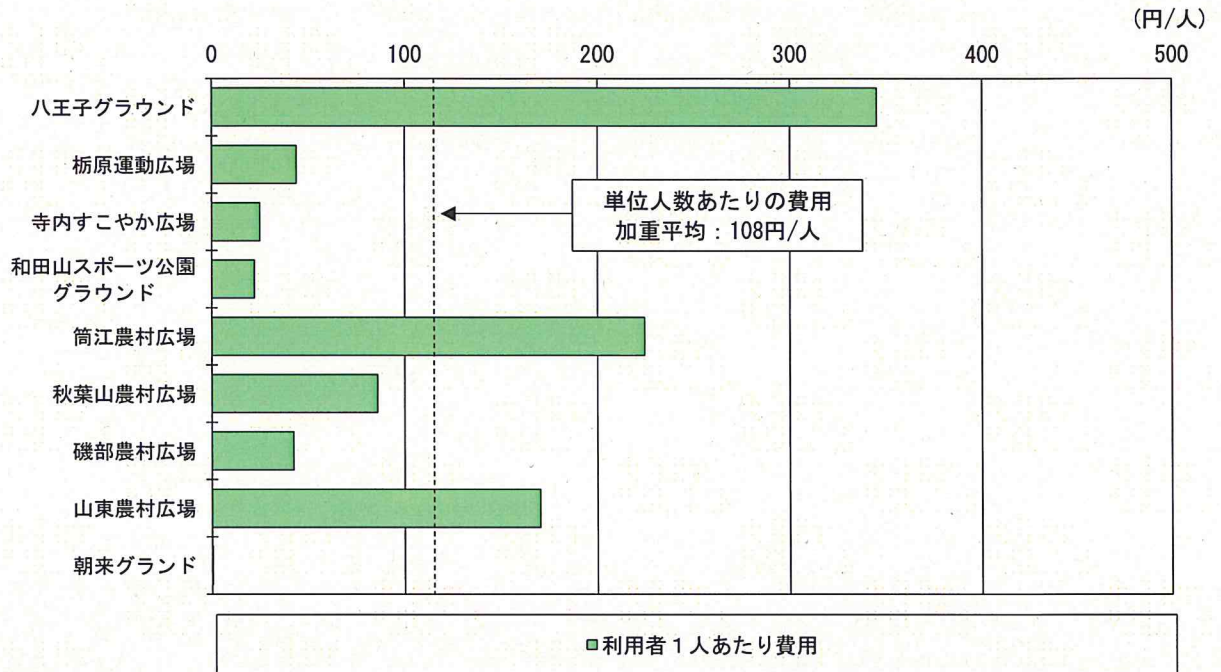
図 4-2-30 施設に関する費用と内訳（平成 25 年度）



⑤ 単位あたりのコストの状況

平成 25 年度の施設に関する費用を利用者 1 人あたりで見ると、全施設の平均は 108 円ですが、施設に関する費用が大きく利用者数が少ない八王子グラウンドは約 350 円で、平均の 3 倍以上とかなり高い水準になっています。

図 4-2-31 利用者 1 人あたりの費用（平成 25 年度）



4) スポーツ施設（その他）

① 概要

本市では、ゲートボールやテニスに利用することができるスポーツ施設を5箇所に設置しています。

これらのスポーツ施設は、お年寄りをはじめとした市民が、屋外で体を動かすことを通じてコミュニケーションや体力・健康増進を図る施設として活用されています。



＜ 和田山屋内ゲートボール場 ＞

表 4-2-10 スポーツ施設（その他）の概要

No.	基礎情報					コスト情報(千円)			収入(千円)
	施設名	所在	建築年	構造階数	延床面積(m ²)	維持管理費	事業運営費	人件費	
1	生野ゲートボール広場	生野町竹原野250-1	H4	S1	668.00	227	0	0	0
2	秋葉台テニス場	和田山町秋葉台4-108	S58	S1	64.00	452	244	0	413
3	和田山屋内ゲートボール場	和田山町土田1088	H5	S1	976.00	628	0	0	30
4	高齢者屋内運動場	山東町森108	H13	S1	594.00	624	0	0	0
5	神子畑ゲートボール場	佐妻1731-1	H2	W1	25.00	0	0	0	0

② 建物の状況

延床面積は、和田山屋内ゲートボール場（約 980 m²）が特に広く、これ以外では高齢者屋内運動場（約 590 m²）が広がっています。また、附属施設では、生野ゲートボール広場に附属する施設が約 670 m²と広がっています。

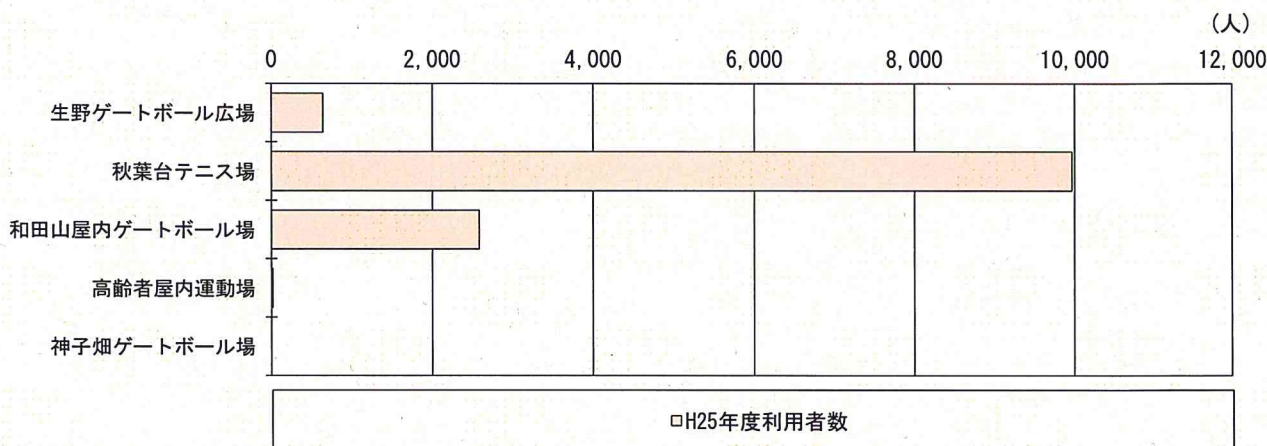
昭和 58 年に建築した秋葉台テニス場に附属する施設は、大規模改修・更新のサイクルを迎え老朽化が進んでいますが、これまでに大規模改修を実施したことがありません。これ以外の施設は、いずれも平成に入ってから建築した比較的新しい施設となっています。

また、いずれの施設も新耐震基準以降（昭和 56 年以降）に建築した施設であることから、耐震改修を実施する必要はありません。

③ 利用の状況

平成 25 年度の延利用者数をみると、秋葉台テニス場が約 9,970 人と特に多く、これ以外では和田山屋内ゲートボール場が約 2,580 人となっています。

図 4-2-32 施設の利用者数（平成 25 年度）

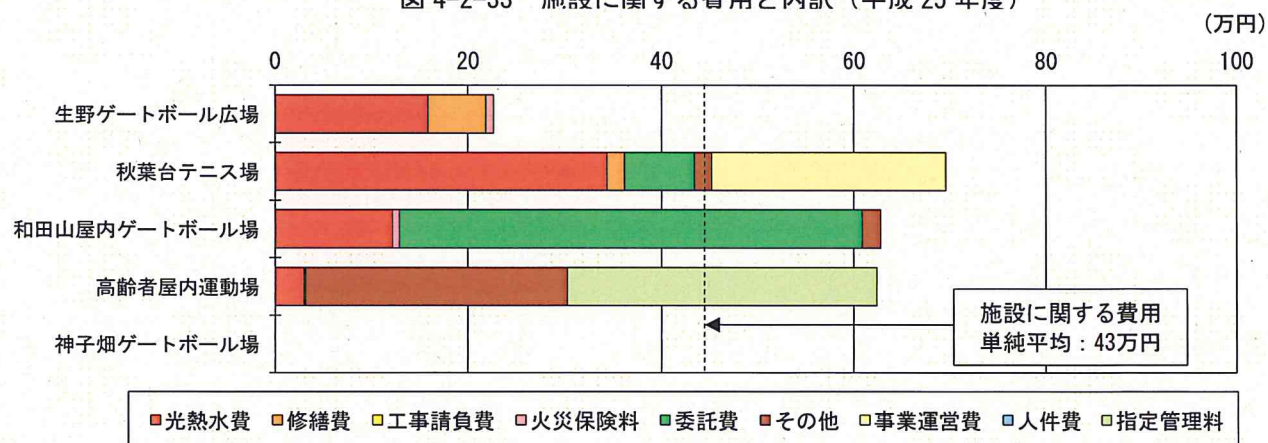


④ 施設に関する費用の状況

平成 25 年度における施設に関する費用をみると、全施設の平均では 43 万円となっていますが、利用者数の多い秋葉台テニス場（約 70 万円）や施設規模の大きい和田山屋内ゲートボール場（約 63 万円）、指定管理を導入している高齢者屋内運動場（約 62 万円）で平均を上回っています。

費用の内訳をみると、光熱水費や委託費の占める割合が高く、施設に関する費用が高い秋葉台テニス場では事業運営費が占める割合も高くなっています。

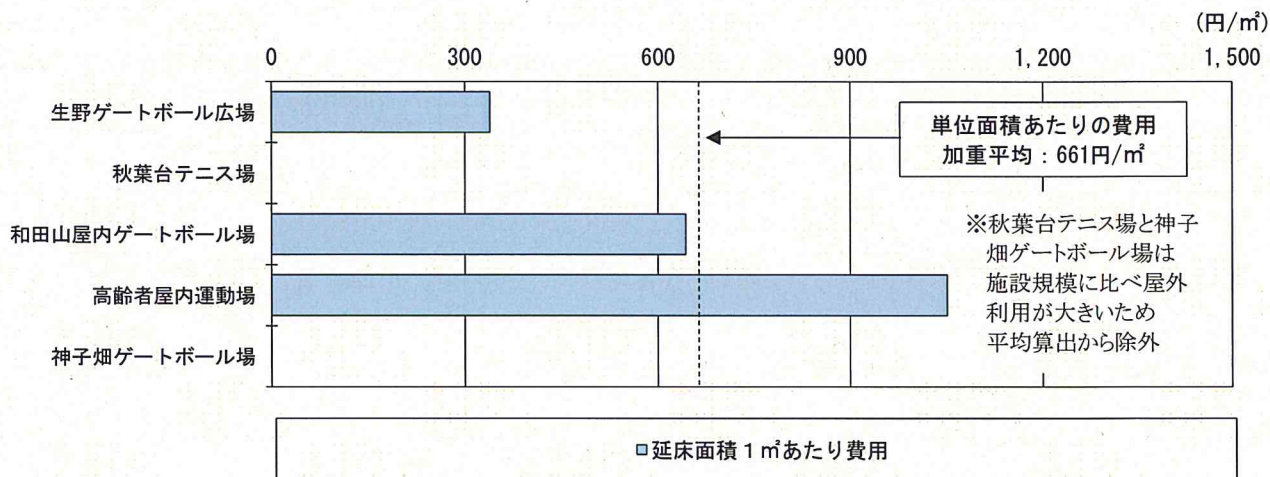
図 4-2-33 施設に関する費用と内訳（平成 25 年度）



⑤ 単位あたりのコストの状況

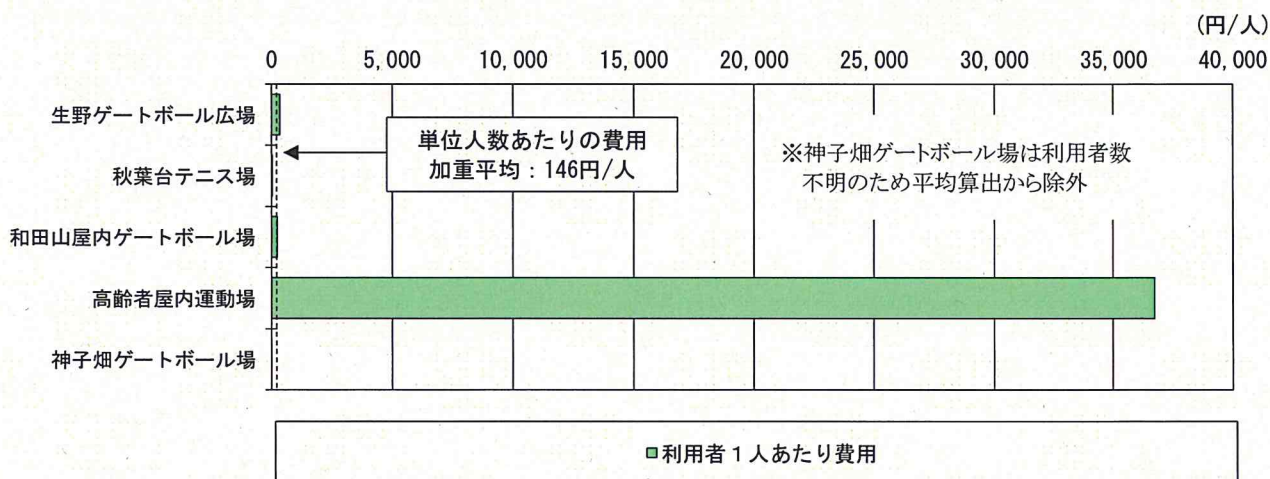
平成 25 年度の施設に関する費用を延床面積 1 m²あたりで見ると、全施設の平均では 661 円
 となっていますが、高齢者屋内運動場は約 1,050 円で、他の施設に比べて高くなっています。

図 4-2-34 延床面積 1 m²あたりの費用 (平成 25 年度)



利用者 1 人あたりで見ると、全施設の平均では 146 円ですが、利用者数が少ない高齢者屋内
 運動場は約 36,720 円と、他の施設に比べて突出して高くなっています。

図 4-2-35 利用者 1 人あたりの費用 (平成 25 年度)



5) レクリエーション施設

① 概要

本市では、レクリエーション施設を 11 箇所に設置しており、キャンプ場等の野外活動施設や宿泊施設が多くなっています。

レクリエーション施設は、恵まれた自然環境の中で親子のふれあいや仲間づくりを行う場、日常生活から離れた憩いの場を提供するとともに、地域の活性化を担う施設として利用されています。



＜ ヒメハナ公園 ＞

表 4-2-11 レクリエーション施設の概要

No.	基礎情報					コスト情報(千円)			収入(千円)
	施設名	所在	建築年	構造階数	延床面積(m ²)	維持管理費	事業運営費	人件費	
1	魚ヶ滝キャンプ場	生野町上生野695-1	H12	RC1	40.00	523	17	0	0
2	魚ヶ滝荘	生野町上生野651-1	S55	RC2	1,286.60	0	0	0	0
3	黒川温泉・体験交流センター	生野町黒川456	H15	S1	635.00	3,175	0	0	0
4	室尾野外活動センター	和田山町室尾200	S57	S1	841.40	964	37	0	0
5	ヒメハナ公園	山東町楽音寺586	H6	W1	358.10	8,960	767	3,999	0
6	さんとうアウトドアビレッジ	山東町粟鹿1781-1	H13	S1	547.00	1,425	0	0	641
7	よふど温泉	山東町森108	H12	RC1	1,077.30	24,624	0	0	0
8	緑ヶ丘キャンプ場	多々良木153-2	S57	W1	870.00	1,589	74	0	1,061
9	農業体験実習館「多々良木みのり館」	多々良木726-2	S59	W1	3,109.00	4,456	0	0	0
10	農林業体験実習館「スカイビラさのう」	佐囊66-1	H5	SRC2	1,715.00	11,445	1,949	5,249	11,418
11	馬場山キャンプ場	佐囊90-2	S60	W1	116.00	0	0	0	0

② 建物の状況

延床面積は、農業体験実習館「多々良木みのり館」が約 3,110 m²と特に広く、これ以外では、農林業体験実習館「スカイビラさのう」が約 1,720 m²と広がっています。

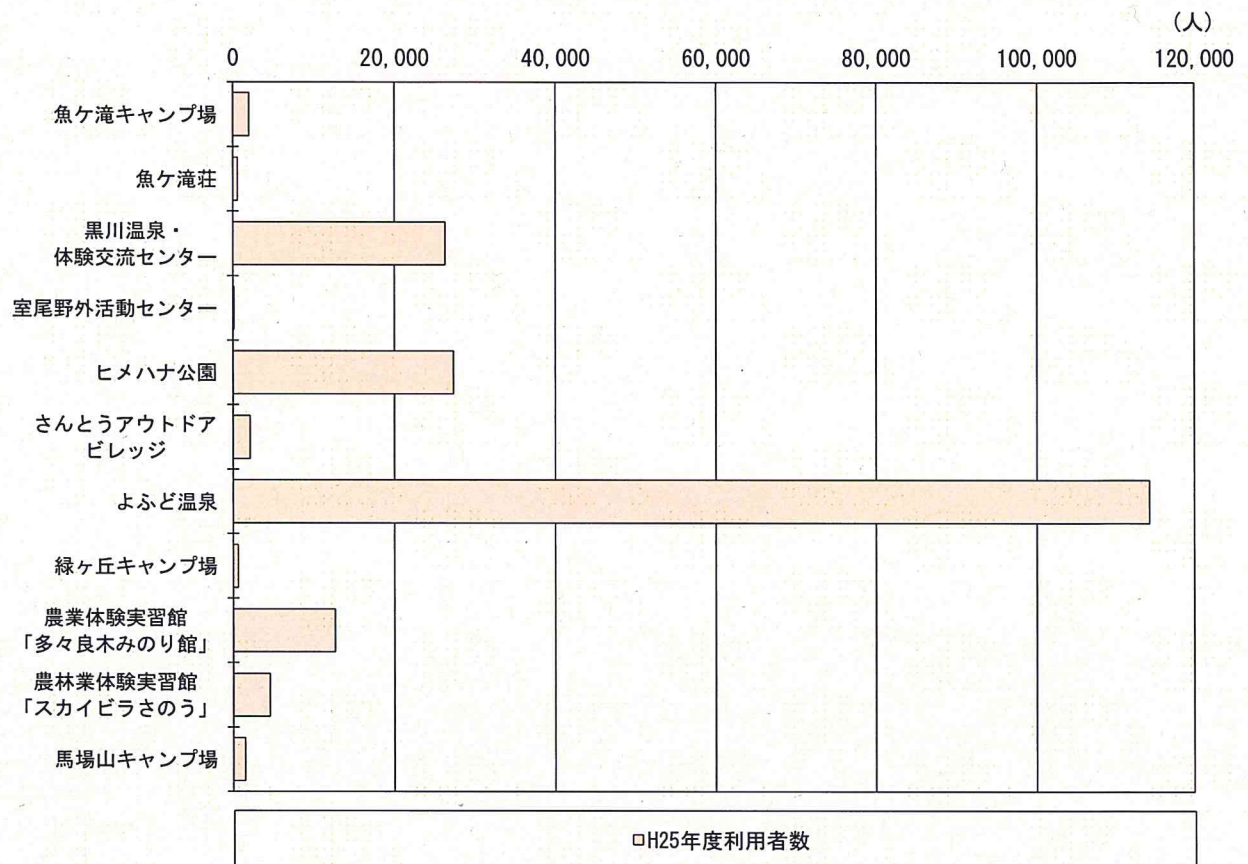
昭和 50 年代後半に建築した施設が 4 箇所あり、大規模改修・更新のサイクルを迎えて老朽化が進んでいますが、農業体験実習館「多々良木みのり館」以外は、これまでに大規模な改修を実施していません。

魚ヶ滝荘は、新耐震基準以前（昭和 56 年以前）に建築された施設ですが、これまでに耐震診断・改修は実施していません。

③ 利用の状況

平成 25 年度の延利用者数をみると、よふど温泉が約 11.4 万人と特に多く、これ以外の施設では 3 万人未満となっています。

図 4-2-36 施設の利用者数（平成 25 年度）

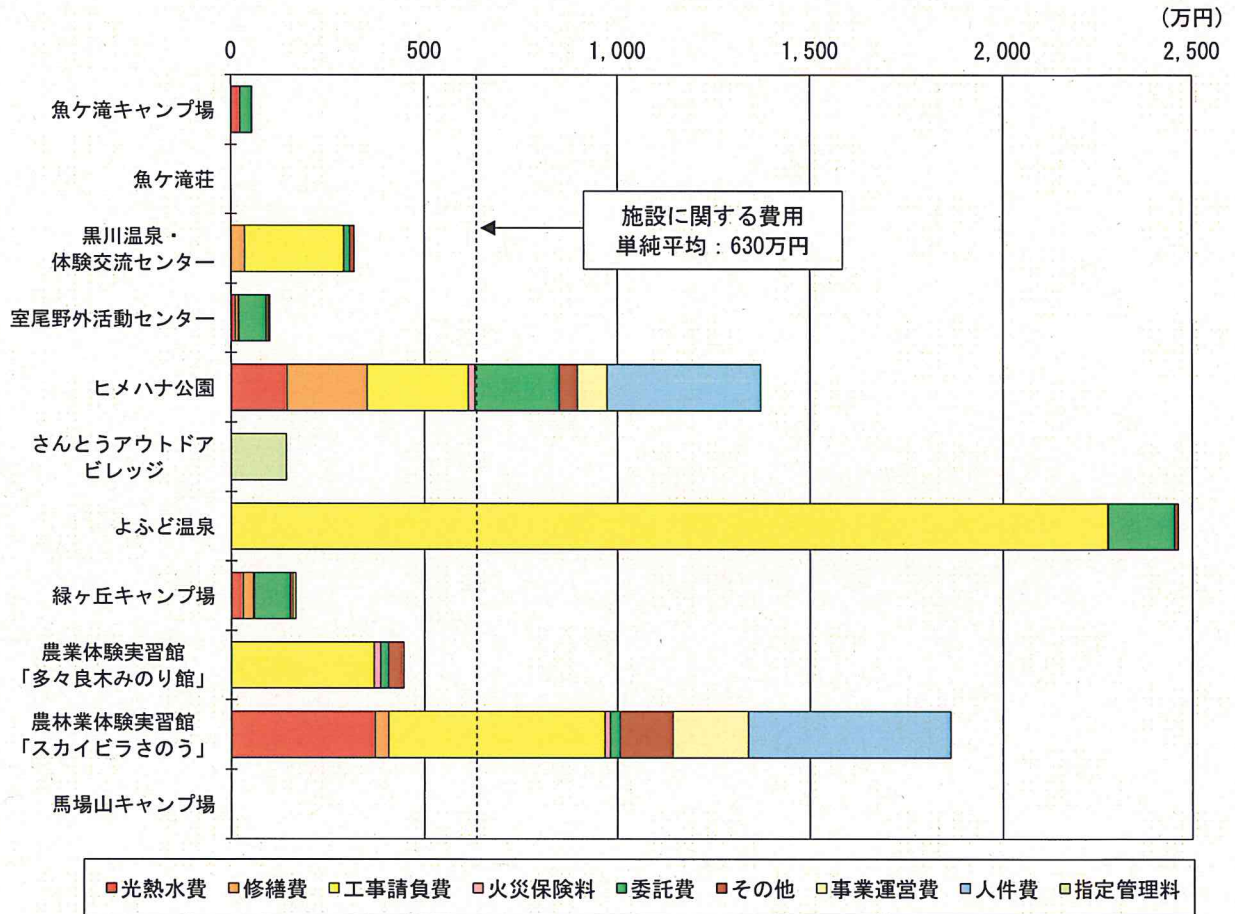


④ 施設に関する費用の状況

平成 25 年度における施設に関する費用をみると、全施設の平均では 630 万円となっていますが、一定の施設規模があり利用者数が多いよふど温泉は約 2,460 万円で、平均の 4 倍と特に高くなっています。これ以外の施設では、いずれも平均に近い水準となっています。

費用の内訳をみると、事業運営費や人件費、光熱水費の占める割合が高く、これ以外では、委託費、修繕費が主な費目として挙がっています。農林業体験実習館「スカイビラさのう」やヒメハナ公園では、工事請負費の占める割合も高くなっています。

図 4-2-37 施設に関する費用と内訳（平成 25 年度）



⑤ 単位あたりのコストの状況

平成 25 年度の施設に関する費用を延床面積 1 m²あたりでみると、全施設の平均では 2,116 円となっていますが、施設規模が小さいヒメハナ公園が約 17,710 円で平均の 8 倍以上と突出して高い水準になっています。

利用者 1 人あたりでみると、全施設の平均は 105 円ですが、利用者数が少ない室尾野外活動センターは約 8,450 円で、突出して高い水準になっています。

図 4-2-38 延床面積 1 m²あたりの費用 (平成 25 年度)

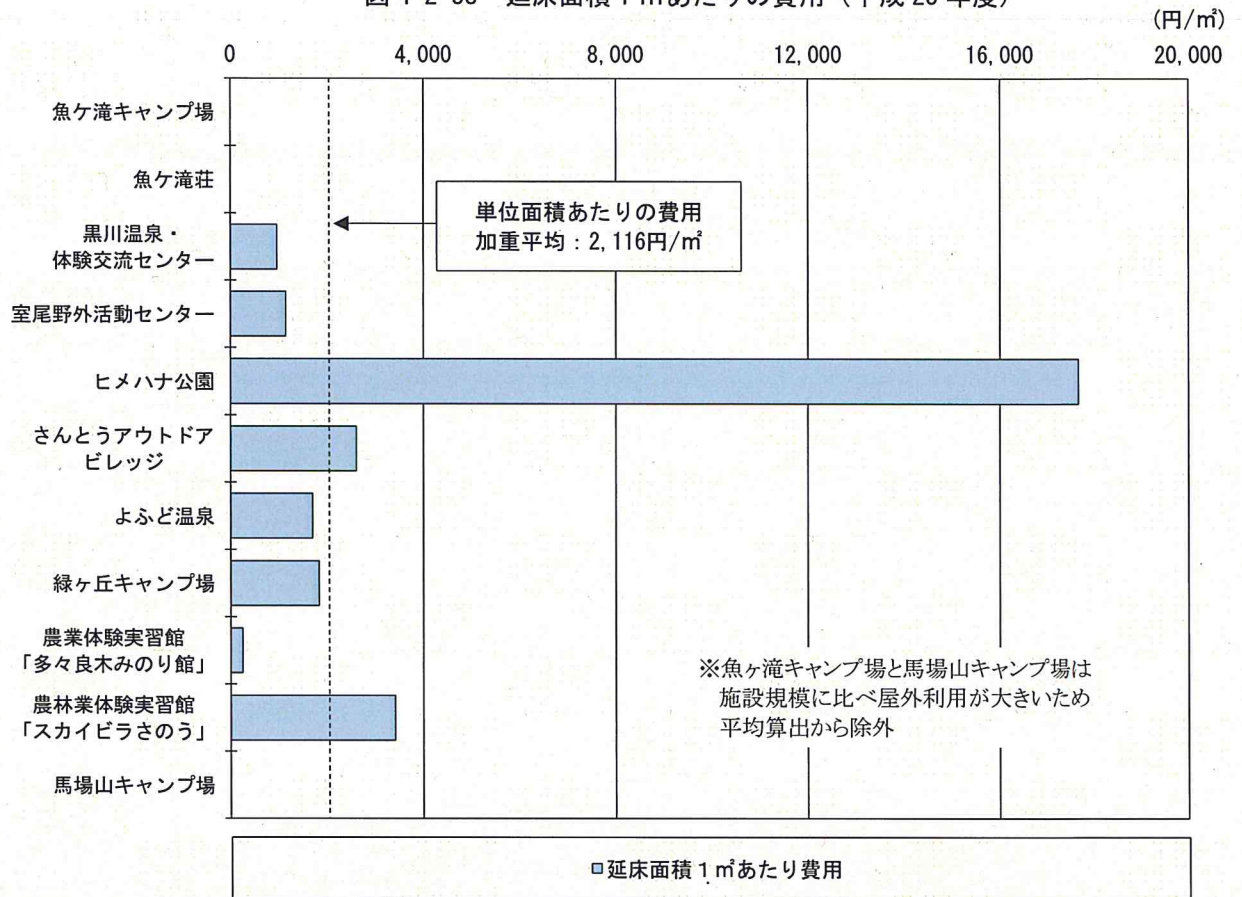
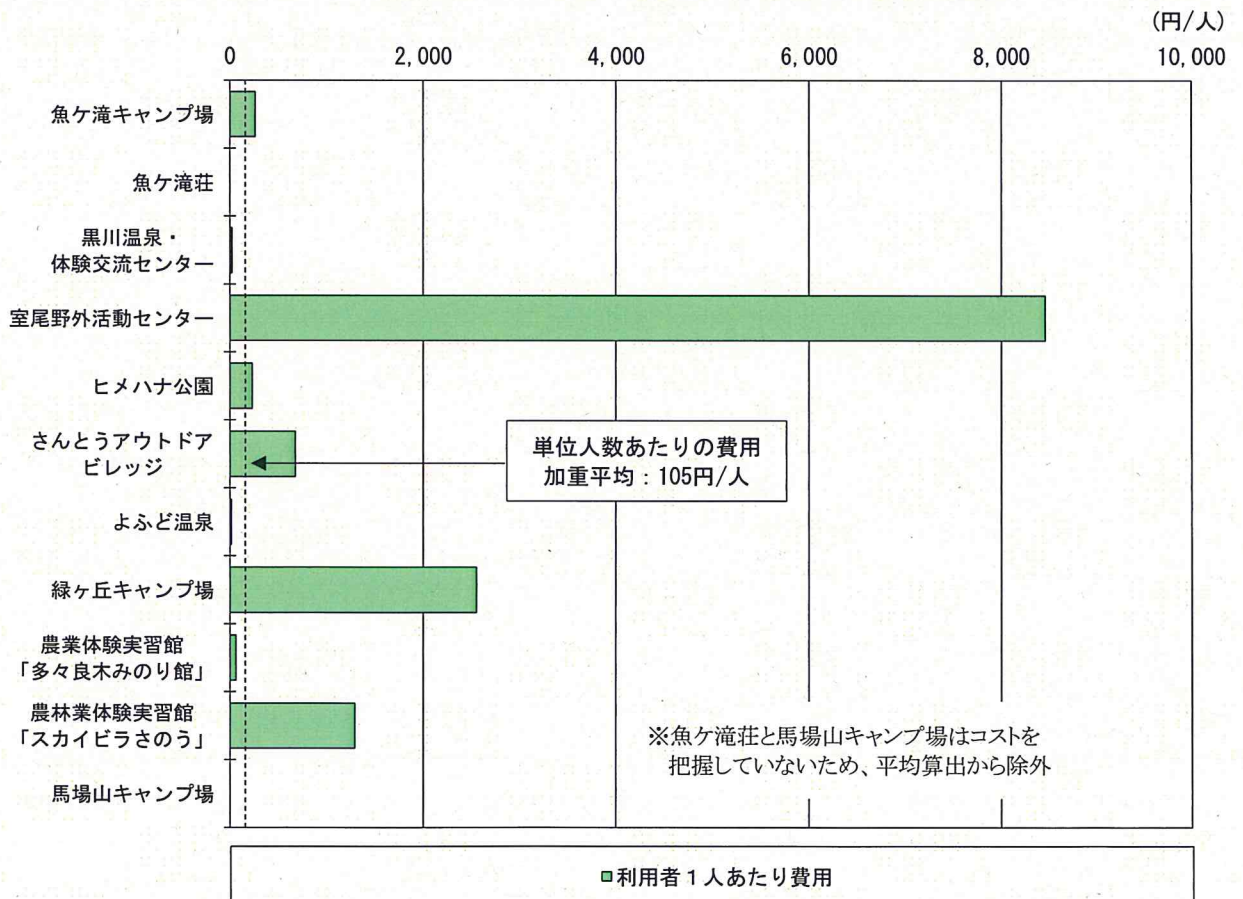


図 4-2-39 利用者 1 人あたりの費用 (平成 25 年度)



(4) 産業施設

1) 産業施設

① 概要

本市では、産業施設を6箇所に設置しており、販売・飲食施設のほかに、観光・宿泊施設、加工施設等を設置しています。

産業施設は、児童・学生をはじめとする地域住民や本市を訪れる観光客等に、本市の産業や特産物を知ってもらうための施設として利用されています。



< 山城の郷（産地形成促進施設） >

表 4-2-12 産業施設の概要

No.	基礎情報					コスト情報(千円)			収入(千円)
	施設名	所在	建築年	構造階数	延床面積(m ²)	維持管理費	事業運営費	人件費	
1	食肉センター	和田山町林垣268-1	S48	RC1	1,474.00	11,694	0	0	0
2	たけだ城下町交流館	和田山町竹田363	M35	W2	1,056.68	571	0	0	0
3	山城の郷	和田山町殿13-1	H13	S1	1,289.00	11,505	0	0	0
4	道の駅「但馬のまほろば」	山東町大月92-6	H18	SRC1	919.20	12,083	0	0	0
5	あさご村おこしセンター	多々良木213-1	S63	W1	545.00	1,149	0	0	0
6	岩津道路交流施設(フレッシュあさご)	岩津96	H13	SRC2	1,620.60	18,678	0	0	0

② 建物の状況

延床面積が最も大きい施設はフレッシュあさご(約1,620 m²)で、食肉センター(約1,470 m²)も比較的規模が大きい施設となっています。

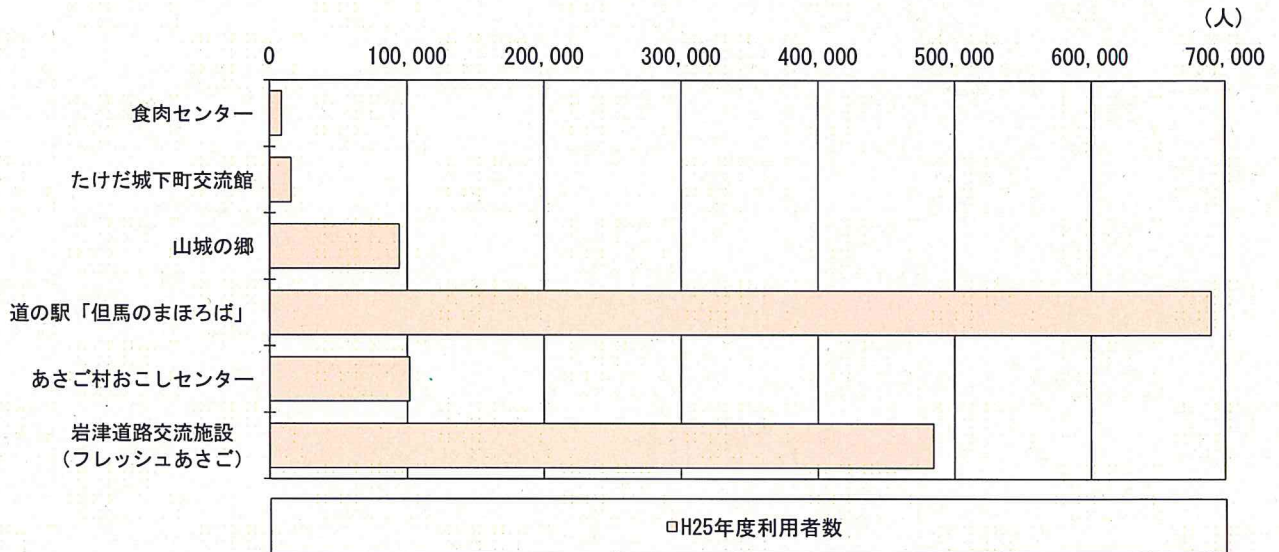
たけだ城下町交流館は、明治35年に建築された「旧木村酒造」を平成25年に改築し、ホテルやレストラン、情報館などとして整備しています。昭和48年に建築した食肉センターは老朽化がかなり進んでいますが、これまでに大規模な改修は実施していません。

また、食肉センターは、新耐震基準以前(昭和56年以前)に建築したものですが、これまでに耐震改修は実施していません。

③ 利用の状況

平成 25 年度の延利用者数をみると、道の駅「但馬のまほろば」(約 68.9 万人) やフレッシュあさご(約 48.5 万人) がかなり多くなっています。

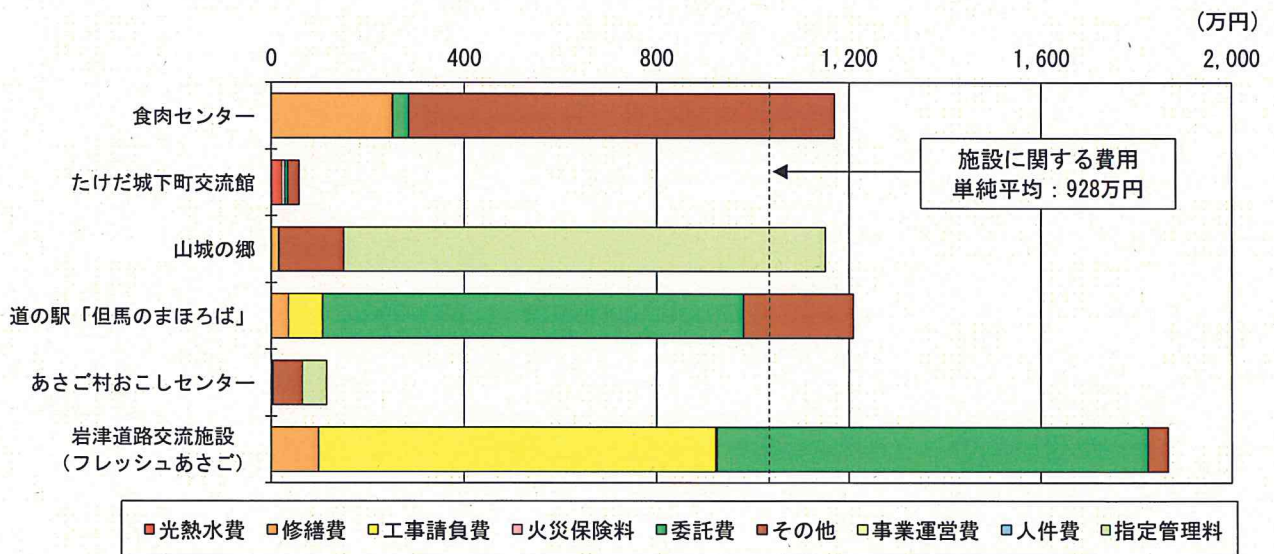
図 4-2-40 施設の利用者数(平成 25 年度)



④ 施設に関する費用の状況

平成 25 年度における施設に関する費用をみると、全施設の平均では 928 万円となっていますが、利用者数の多いフレッシュあさご(約 1,868 万円)などで平均を上回っています。費用の内訳をみると、委託費の占める割合が高い施設が多くなっています。

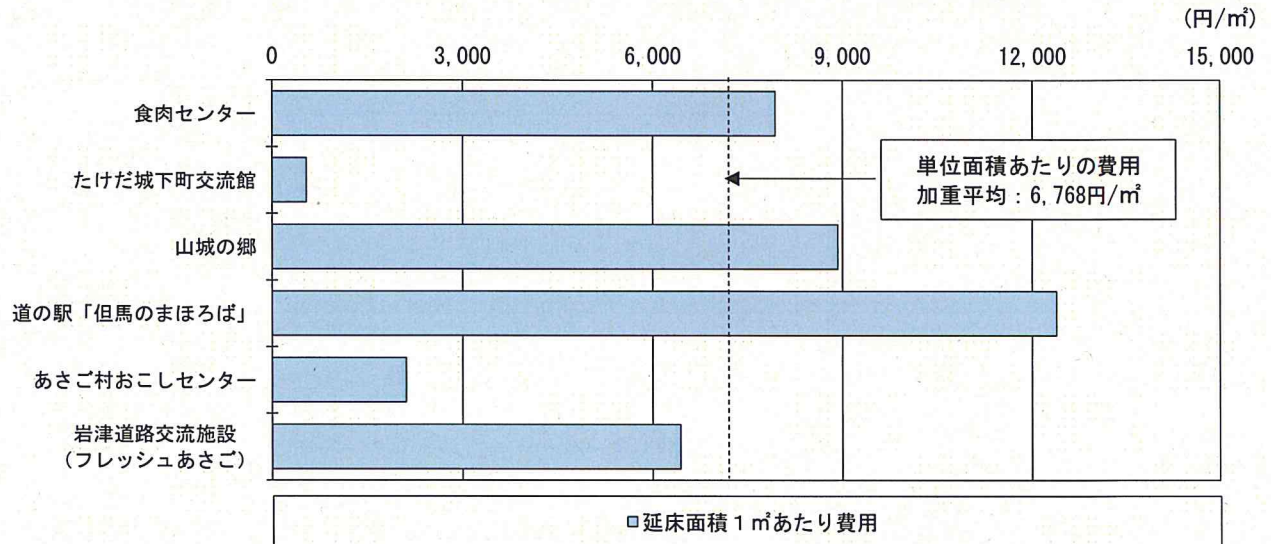
図 4-2-41 施設に関する費用と内訳(平成 25 年度)



⑤ 単位あたりのコストの状況

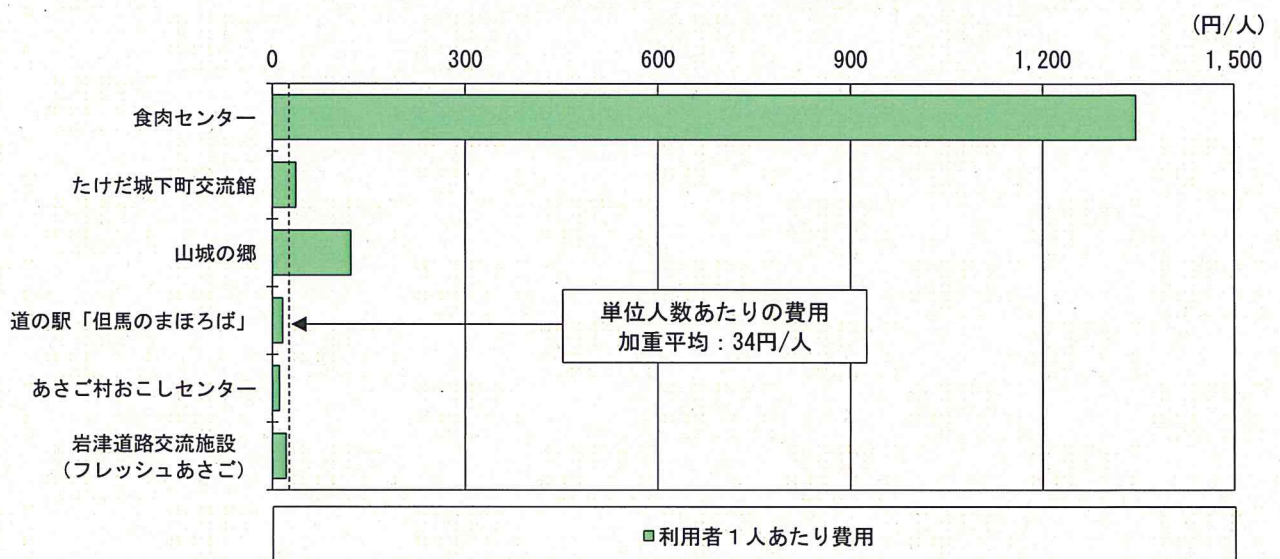
平成 25 年度の施設に関する費用を延床面積 1 m²あたりで見ると、全施設の平均では 6,768 円となっていますが、利用者の多い道の駅「但馬のまほろば」(約 12,390 円) や指定管理を導入している山城の郷 (約 8,930 円) は、他の施設に比べ高い水準となっています。

図 4-2-42 延床面積 1 m²あたりの費用 (平成 25 年度)



利用者 1 人あたりで見ると、全施設の平均では 34 円となっていますが、施設に関する費用が高く利用者数が少ない食肉センターで約 1,350 円と突出して高くなっています。

図 4-2-43 利用者 1 人あたりの費用 (平成 25 年度)



(5) 学校教育施設

1) 小学校

① 概要

本市では、小学校を11箇所を設置していますが、半分以上(7校)は旧和田山町に立地しており、2箇所は分校となっています。

少子化が進んでいることもあり、生活圏等を考慮しながら校区の見直し・再編等を行っています。



< 東河小学校 >

表 4-2-13 小学校の概要

No.	基礎情報					コスト情報(千円)			収入(千円)
	施設名	所在	建築年	構造階数	延床面積(m ²)	維持管理費	事業運営費	人件費	
1	生野小学校	生野町口銀谷 546	S58	RC3	4,652.00	3,752	3,030	2,677	0
2	系井小学校	和田山町高生田4-1	S48	RC3	4,236.00	3,956	2,860	5,354	0
3	系井小学校朝日分校(平成13年から休校)	和田山町朝日150-1	S54	RC1	427.00	121	35	0	0
4	大蔵小学校	和田山町宮田 210	S54	RC3	4,500.00	3,906	3,117	5,354	0
5	枚田小学校	和田山町和田山474	S50	RC3	5,372.00	28,985	1,750	10,708	0
6	東河小学校	和田山町東和田505-1	H9	RC2	4,044.00	4,260	1,258	2,677	0
7	竹田小学校	和田山町安井61	S53	RC3	4,645.00	4,222	2,827	5,354	0
8	竹田小学校藤和分校(平成16年から休校)	和田山町藤和400-4	S60	RC1	493.00	89	51	0	0
9	梁瀬小学校	山東町末歳688	S57	RC3	4,816.00	8,395	3,136	10,708	0
10	中川小学校	桑市99	S60	RC2	3,662.00	4,050	2,800	2,677	0
11	山口小学校	羽淵565-2	S55	RC2	4,723.00	4,056	2,960	5,354	0

② 建物の状況

延床面積は、本校では約 3,660~5,370 m²まで幅がありますが、分校はいずれも 500 m²未満と小規模な施設になっています。

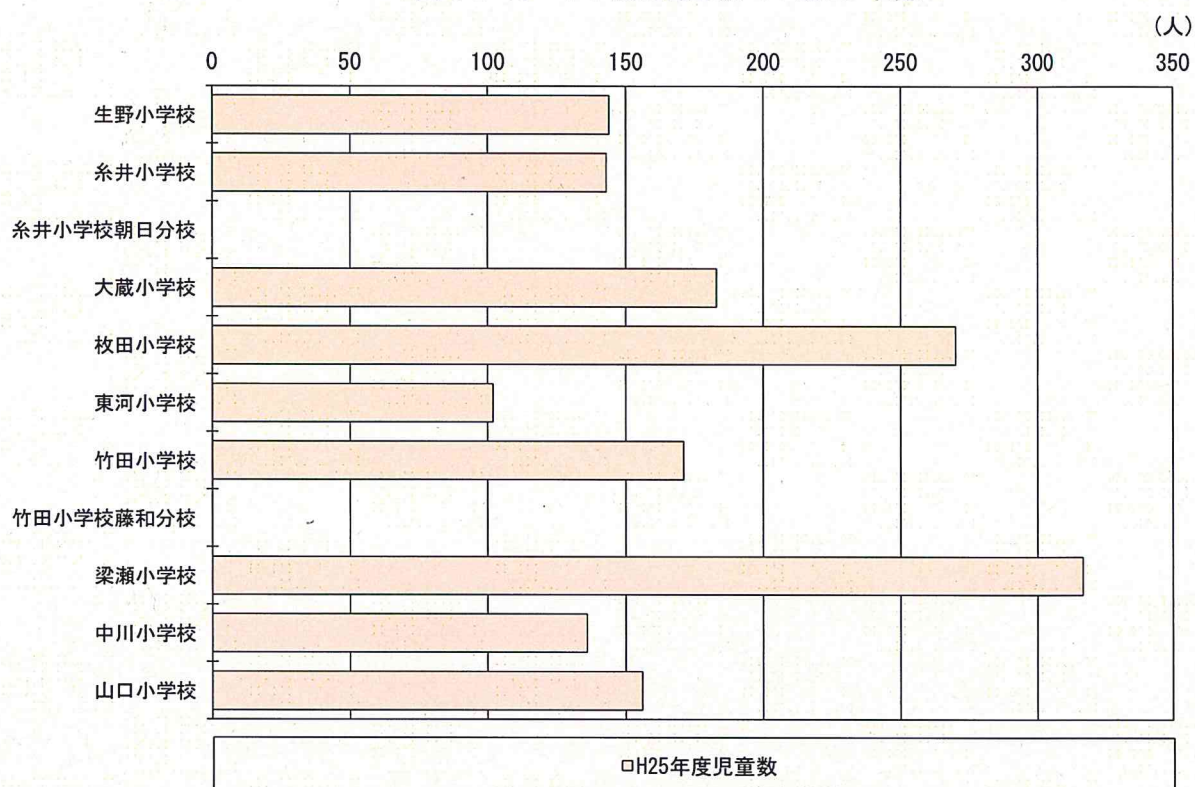
平成9年に建築した東河小学校以外は、昭和40年代前半から60年頃にかけて建築したもので、老朽化がかなり進んでいましたが、このうち7校については平成に入ってから大規模改修を実施しています。最も古い系井小学校については、大規模改修を実施していません。

新耐震基準以前(昭和56年以前)に建築した小学校は6校ありますが、耐震改修が必要と判定された校舎等については耐震改修を実施しています。

③ 利用の状況

平成 25 年度の児童数をみると、梁瀬小学校が約 320 人と特に多く、枚田小学校も約 270 人となっていますが、これ以外は 100～200 人程度となっています。(分校は休校のため児童数は表示していません)

図 4-2-44 小学校の児童数 (平成 25 年度)

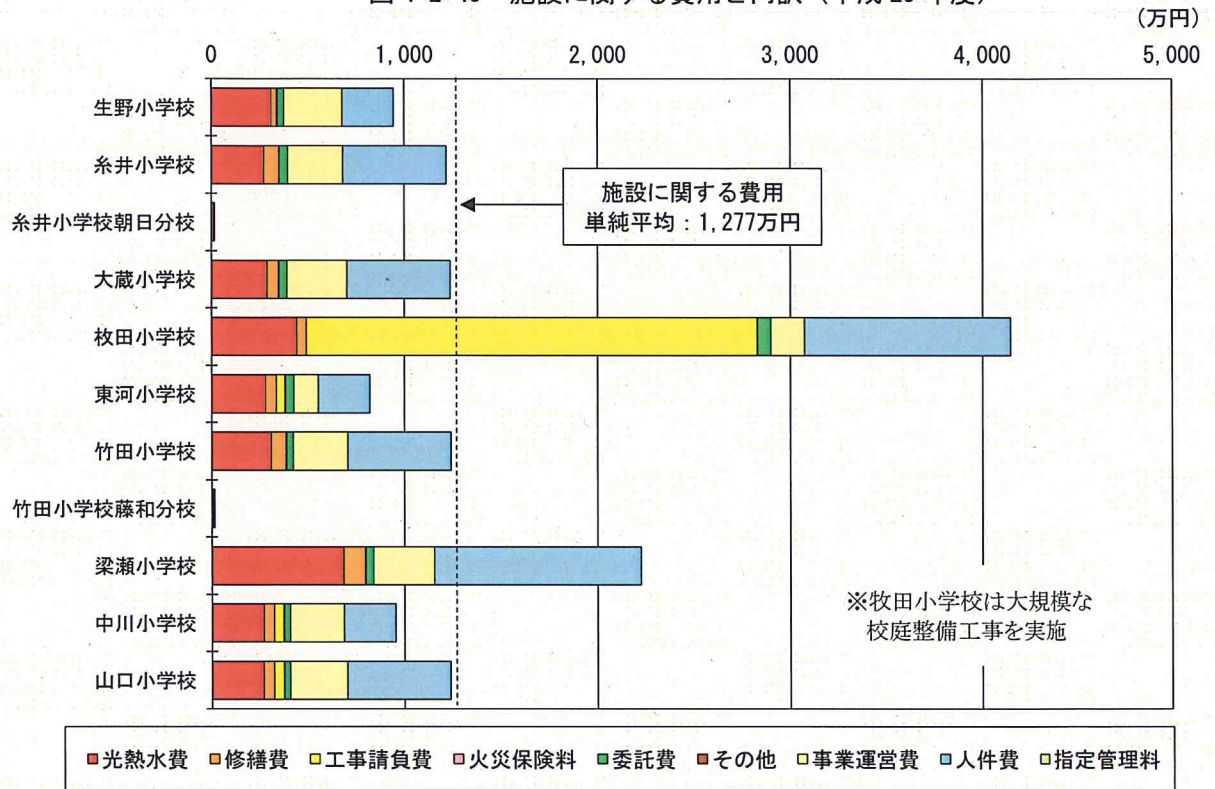


④ 施設に関する費用の状況

平成 25 年度における施設に関する費用をみると、全施設の平均では 1,277 万円となっていますが、延床面積が大きく児童数も多い枚田小学校は約 4,140 万円と特に高く、児童数が最も多い梁瀬小学校 (約 2,220 万円) も平均を上回っています。

費用の内訳をみると、施設に関する費用が特に高い枚田小学校では、工事請負費が過半を占めており、これ以外の費目では人件費や光熱水費、事業運営費が主な費目として挙がっています。

図 4-2-45 施設に関する費用と内訳 (平成 25 年度)



⑤ 単位あたりのコストの状況

平成 25 年度の施設に関する費用を延床面積 1 m²あたりで見ると、全施設の平均では 986 円となっています。給食調理場の光熱水費を含んでいる梁瀬小学校 (1,743 円) が他の小学校に比べ高い水準となっています。

児童 1 人あたりで見ると、全施設の平均では 25,147 円となっていますが、児童の少ない東河小学校 (約 37,370 円) が他の小学校に比べ高い水準となっています。

図 4-2-46 延床面積 1 m²あたりの費用 (平成 25 年度)

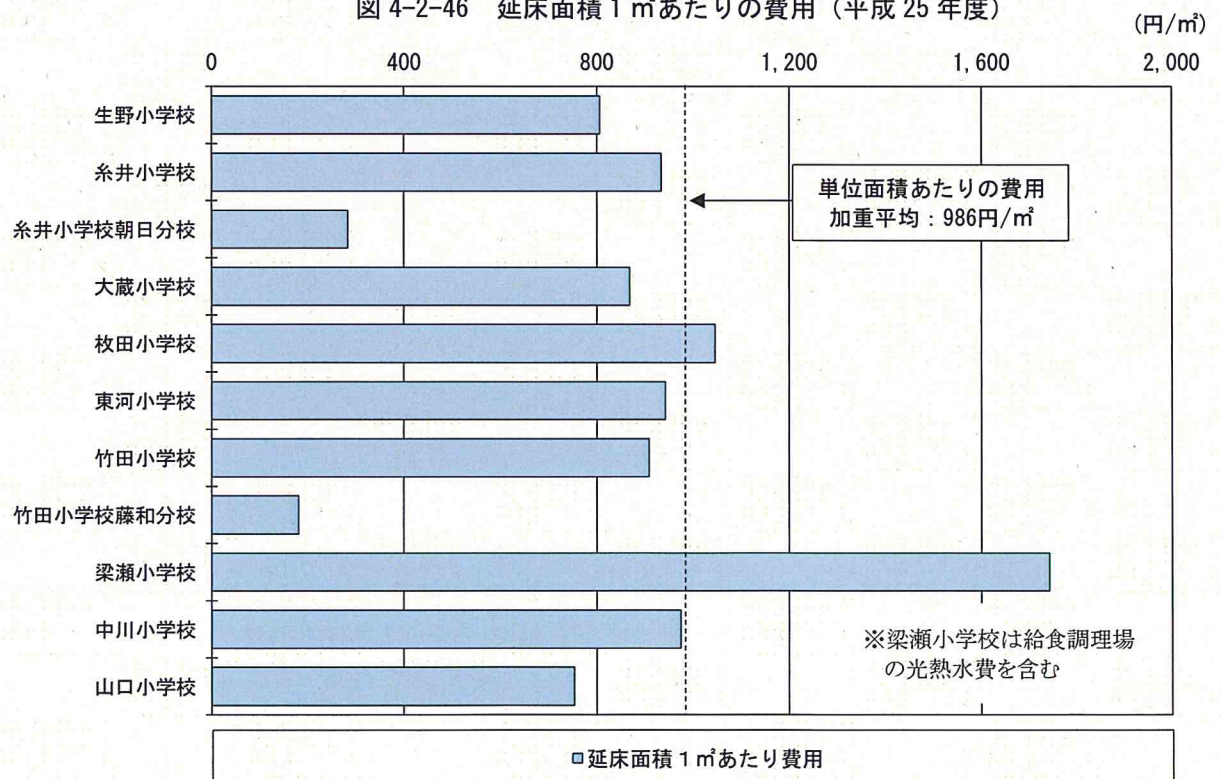
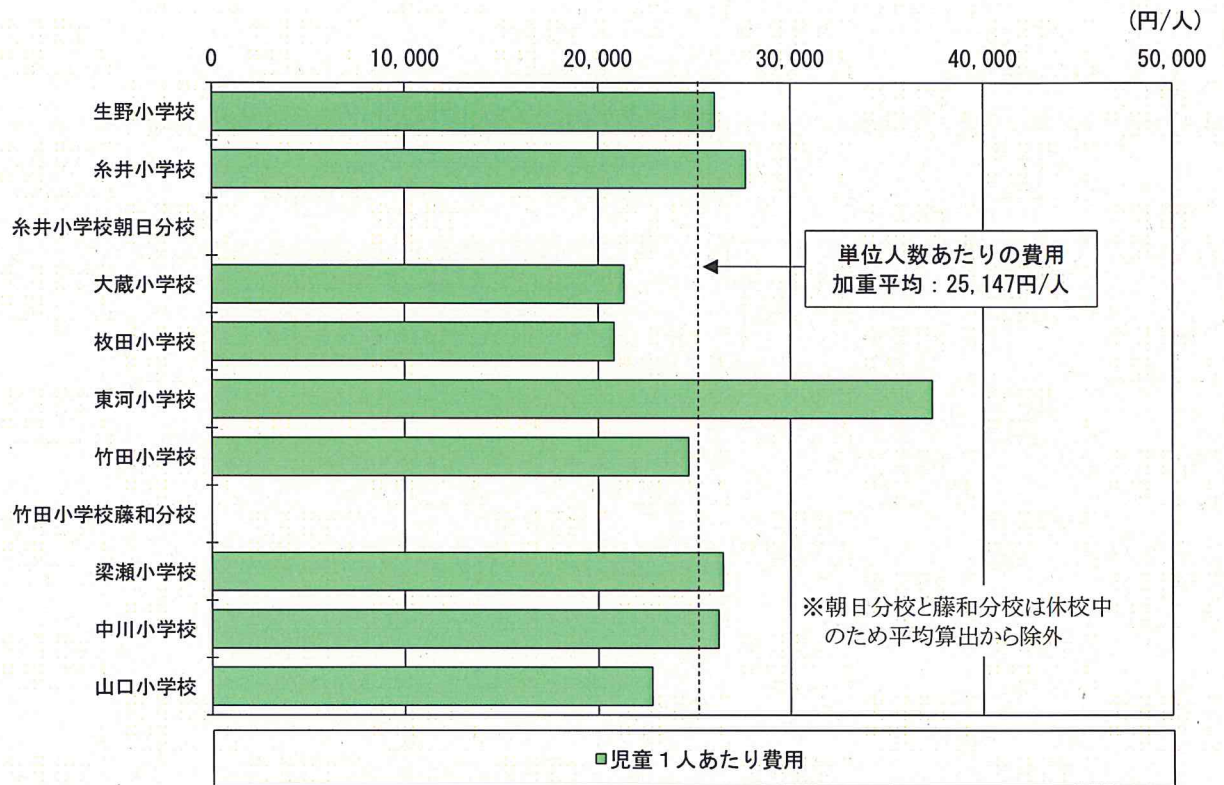


図 4-2-47 児童 1 人あたりの費用 (平成 25 年度)



2) 中学校

① 概要

本市では、中学校を4箇所を設置しており、旧町の地域ごとにそれぞれ1箇所ずつ設置しています。

少子化が進んでいることもあり、旧町部も含めて生活圈等を考慮しながら校区の見直し・再編等を行っています。



< 和田山中学校 >

表 4-2-14 中学校の概要

No.	基礎情報			コスト情報(千円)					
	施設名	所在	建築年	構造階数	延床面積(m ²)	維持管理費	事業運営費	人件費	収入(千円)
1	生野中学校	生野町真弓10-1	S53	RC4	4,979.00	6,318	2,358	5,354	0
2	和田山中学校	和田山町柳原90	H25	RC3	5,412.00	8,218	4,122	13,385	0
3	梁瀬中学校	山東町楽音寺159	S54	RC3	5,829.00	6,770	2,892	5,354	0
4	朝来中学校	新井92	S38	RC3	6,427.00	9,432	3,147	2,677	0

② 建物の状況

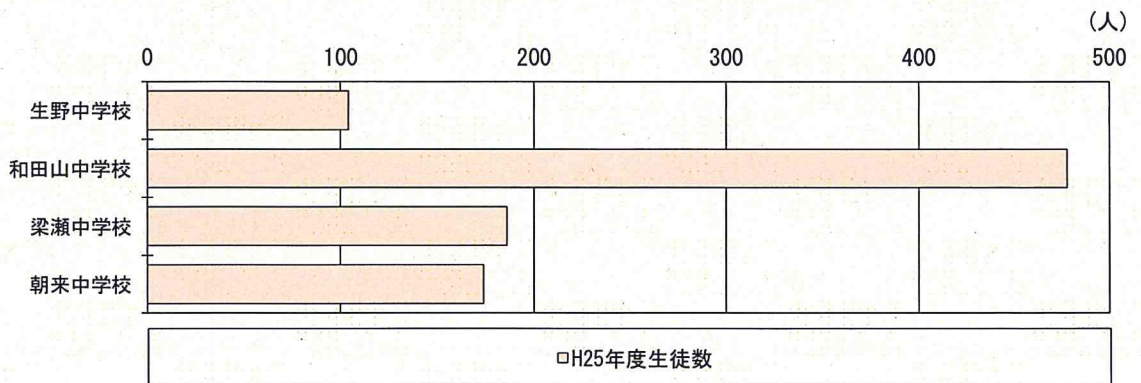
延床面積は、朝来中学校が約6,400 m²程度と最も広がっていますが、いずれの中学校もおおむね5,000 m²以上の規模を有しています。

新耐震基準以前(昭和56年以前)に建築された3校は、校舎等の主要な建物については耐震改修を実施しています。

③ 利用の状況

平成25年度の生徒数をみると、和田山中学校が約480人と特に多くなっており、これ以外の中学校では100~200人程度となっています。

図 4-2-48 中学校の生徒数(平成25年度)

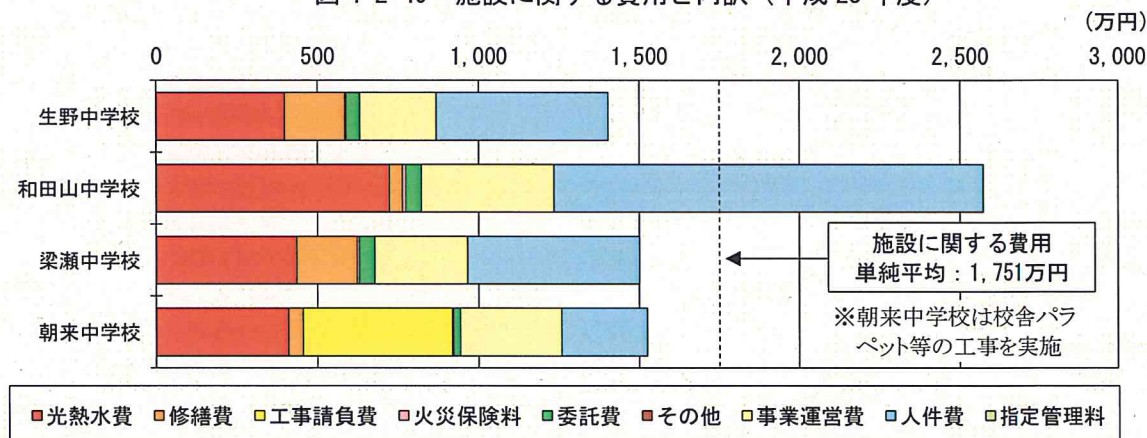


④ 施設に関する費用の状況

平成 25 年度における施設に関する費用をみると、全施設の平均では 1,751 万円となっていますが、生徒数が多い和田山中学校は約 2,570 万円と平均を大きく上回っています。これ以外の中学校は、いずれも平均を下回っています。

費用の内訳をみると、人件費や光熱水費、事業運営費の占める割合が高くなっており、これ以外の費目では修繕費や委託費が主な費目として挙がっています。朝来中学校では、工事請負費の占める割合（約 3 割）が最も高くなってしています。

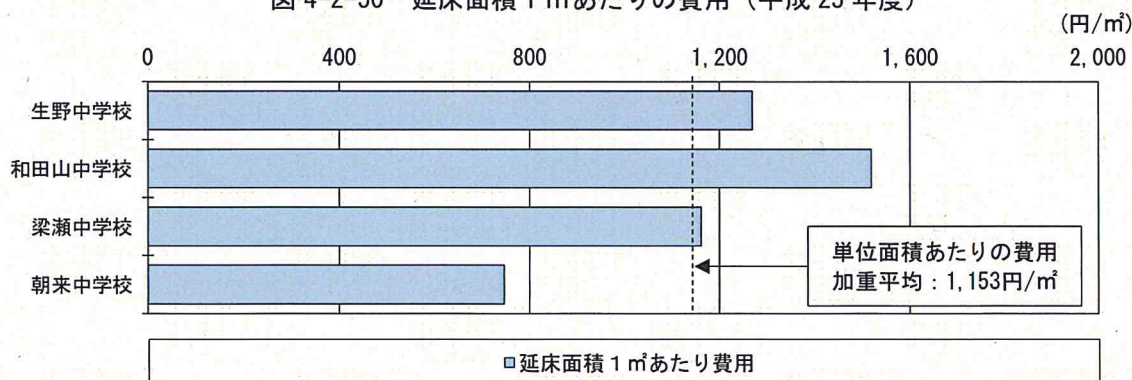
図 4-2-49 施設に関する費用と内訳（平成 25 年度）



⑤ 単位あたりのコストの状況

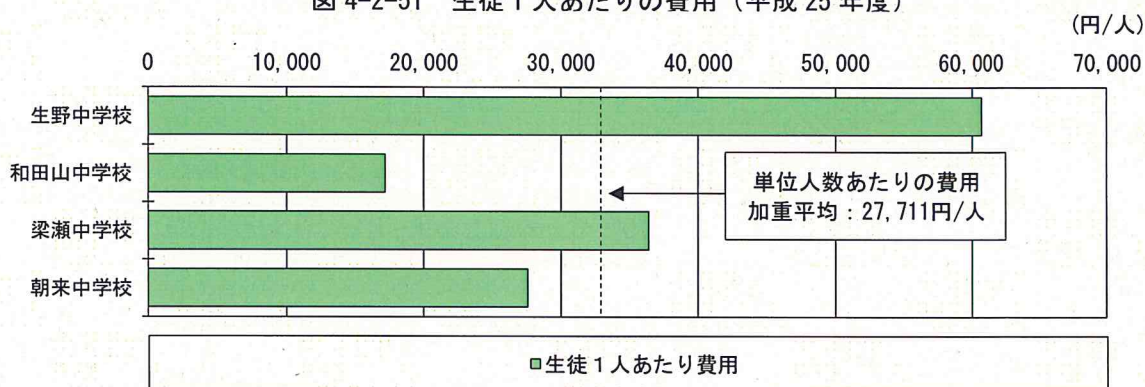
平成 25 年度の施設に関する費用を延床面積 1 m²あたりで見ると、全施設の平均では 1,153 円となっていますが、施設に関する費用が大きい和田山中学校（約 1,520 円）で高くなっています。

図 4-2-50 延床面積 1 m²あたりの費用（平成 25 年度）



生徒 1 人あたりで見ると、全施設の平均では 27,711 円となっていますが、生徒数が最も少ない生野中学校（約 60,750 円）で、平均を大きく上回る水準となっています。

図 4-2-51 生徒 1 人あたりの費用（平成 25 年度）



3) その他教育施設

① 概要

本市では、その他の教育施設として給食センター・調理場を4箇所に設置しています。

給食センター・調理場は、小中学校の児童・生徒に、安心・安全で栄養バランスのとれた給食を毎日提供し、基準栄養所要量の摂取と正しい食習慣の体得をめざす役割を担っています。



< 和田山学校給食センター >

表 4-2-15 その他教育施設の概要

No.	基礎情報					コスト情報(千円)			収入(千円)
	施設名	所在	建築年	構造階数	延床面積(m ²)	維持管理費	事業運営費	人件費	
1	生野学校給食センター	生野町口銀谷546	H11	RC2	516.00	7,191	15,763	19,077	1
2	和田山学校給食センター	和田山町枚田1319	S58	S1	966.00	17,537	80,685	60,642	93
3	梁瀬小学校給食調理場	山東町末歳688	S57	RC1	112.00	429	18,124	18,196	1
4	朝来学校給食センター	新井95	S47	S1	432.00	7,204	26,677	25,684	191

※平成 27 年 9 月に新センターが建設され、現在では生野、梁瀬、朝来の施設は廃止されています。

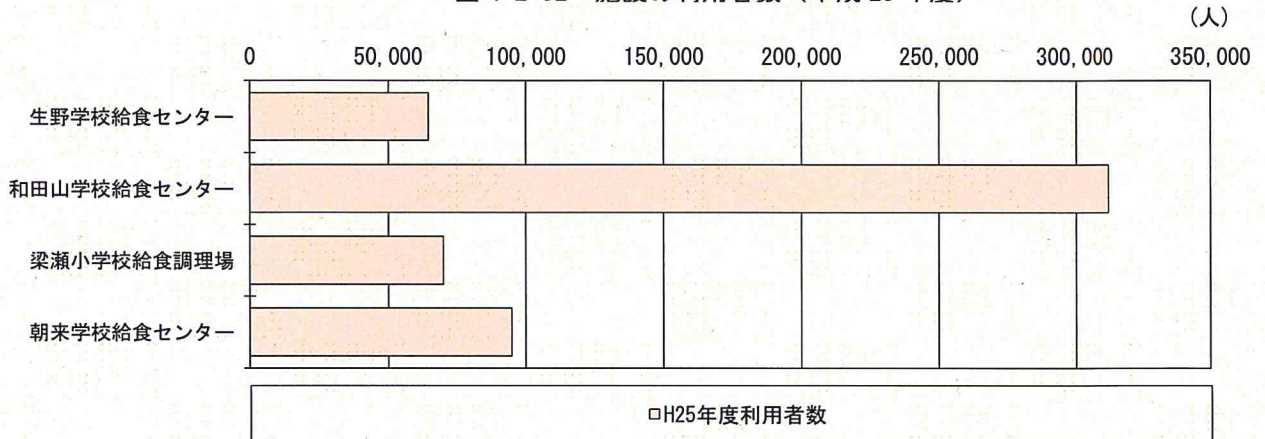
② 建物の状況

延床面積は、生徒数が多い旧和田山町の小中学校に配給している和田山学校給食センターが約 970 m²と広がっています。

③ 利用の状況

平成 25 年度の延利用者数をみると、生徒数が多い旧和田山町の小中学校に配給している和田山学校給食センターが約 31.3 万人と特に多くなっています。

図 4-2-52 施設の利用者数（平成 25 年度）



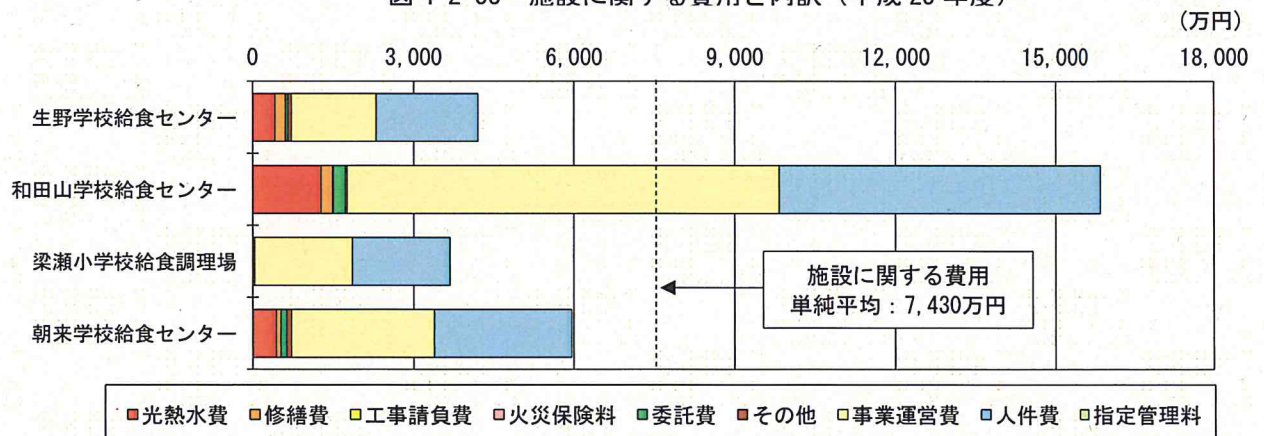
※平成 27 年 9 月に新センターが建設され、現在では生野、梁瀬、朝来の施設は廃止されています。

④ 施設に関する費用の状況

平成 25 年度における施設に関する費用をみると、全施設の平均では 7,430 万円となっていますが、施設規模が大きく利用者数も多い和田山学校給食センターは約 1 億 5,890 万円で、平均の 2.1 倍とかなり高くなっています。

費用の内訳をみると、いずれの施設でも事業運営費や人件費の占める割合が高く、これ以外の費目として光熱水費、修繕費、委託費が挙がっています。

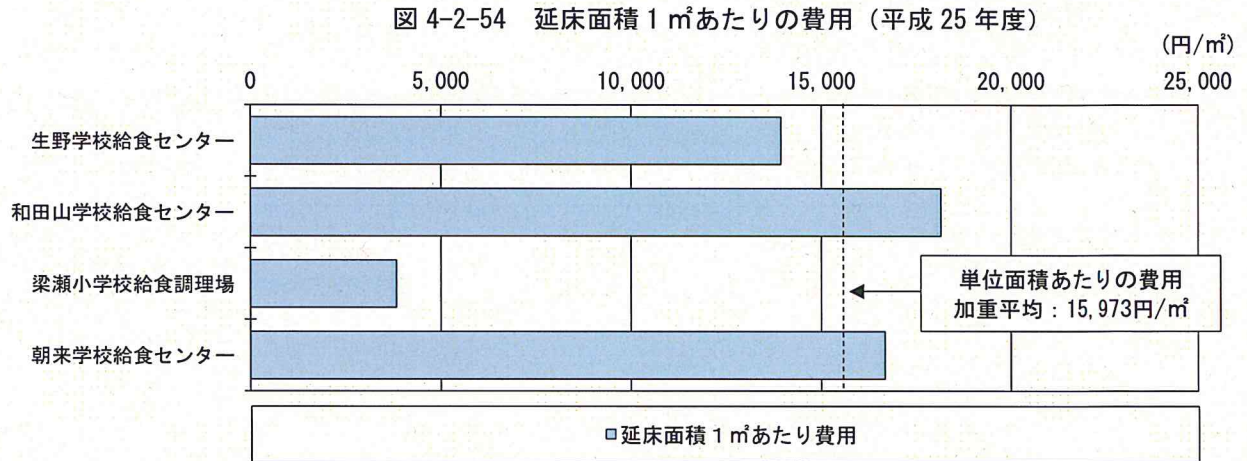
図 4-2-53 施設に関する費用と内訳（平成 25 年度）



※平成 27 年 9 月に新センターが建設され、現在では生野、梁瀬、朝来の施設は廃止されています。

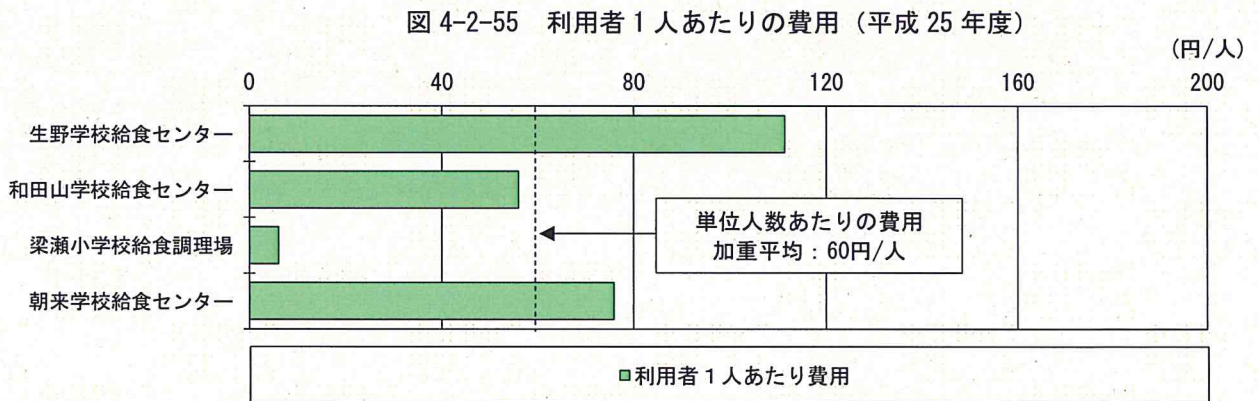
⑤ 単位あたりのコストの状況

平成 25 年度の施設に関する費用を延床面積 1 m²あたりで見ると、全施設の平均では 15,973 円となっています。



※平成 27 年 9 月に新センターが建設され、現在では生野、梁瀬、朝来の施設は廃止されています。

利用者 1 人あたりで見ると、全施設の平均では 60 円となっています。



※平成 27 年 9 月に新センターが建設され、現在では生野、梁瀬、朝来の施設は廃止されています。

(6) 子育て支援施設

1) 幼稚園

① 概要

本市では、幼稚園を2箇所を設置しており、旧和田山町と旧山東町にそれぞれ1箇所ずつ立地しています。

いずれの施設も、幼稚園として独立した施設となっています。

幼稚園は、就学前児童に対する教育の場とされていますが、少子化やニーズの多様化を踏まえ、そのあり方を検討する時期が来ています。



< 和田山幼稚園 >

表 4-2-16 幼稚園の概要

No.	基礎情報					コスト情報(千円)			収入(千円)
	施設名	所在	建築年	構造階数	延床面積(m ²)	維持管理費	事業運営費	人件費	
1	和田山幼稚園	和田山町和田山474	H13	RC1	790.00	1,241	624	23,542	3,141
2	梁瀬幼稚園	山東町矢名瀬町765	H4	W1	389.00	1,529	629	24,301	1,750

② 建物の状況

延床面積は、和田山幼稚園が約790㎡となっており、梁瀬幼稚園(約390㎡)のおおむね2倍の規模となっています。

いずれの幼稚園も平成に入ってから建築した比較的新しい施設であるため、これまでに大規模な改修は実施していません。

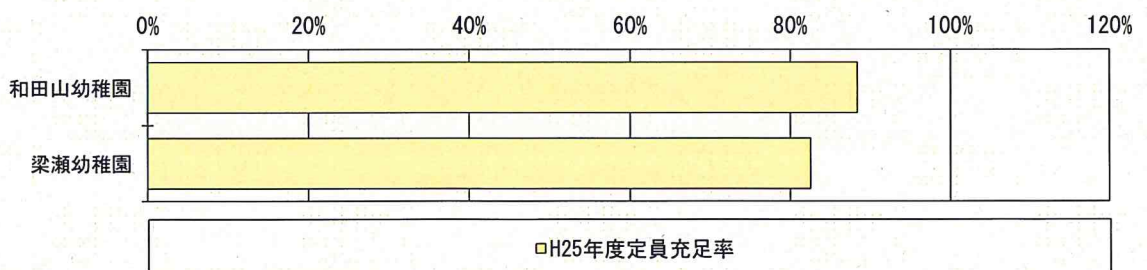
また、いずれの幼稚園も新耐震基準以降(昭和57年以降)に建築した施設であるため、耐震改修を実施する必要はありません。

③ 利用の状況

平成25年度の園児数は、和田山幼稚園が約50人、梁瀬幼稚園が約30人となっています。

定員充足率(在籍者数/定員数)は、和田山幼稚園が88%、梁瀬幼稚園が83%となっています。

図 4-2-56 定員充足率(園児数/定員数・平成25年度)

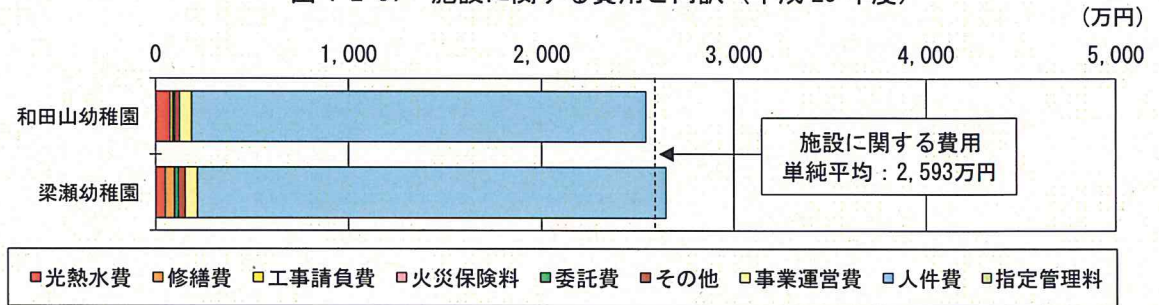


④ 施設に関する費用の状況

平成 25 年度における施設に関する費用をみると、2 施設の平均では 2,593 万円となっており、いずれの施設も平均に近い水準となっています。

費用の内訳をみると、いずれの幼稚園も人件費が大半を占めていますが、これ以外の費目では光熱水費や事業運営費が主な費目として挙がっています。

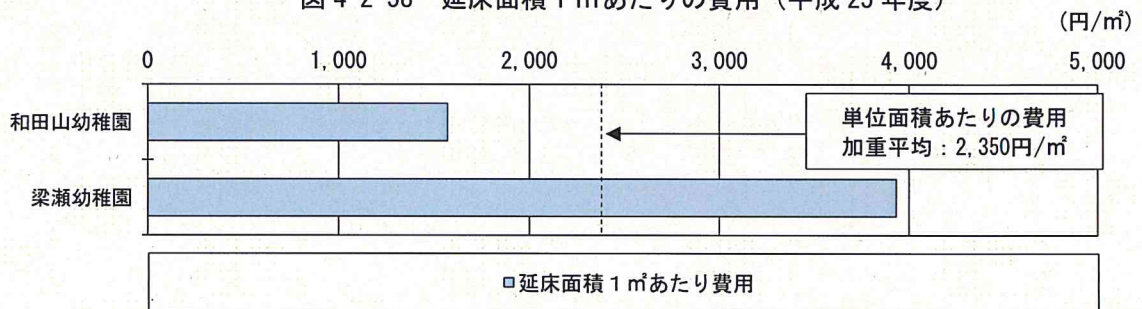
図 4-2-57 施設に関する費用と内訳（平成 25 年度）



⑤ 単位あたりのコストの状況

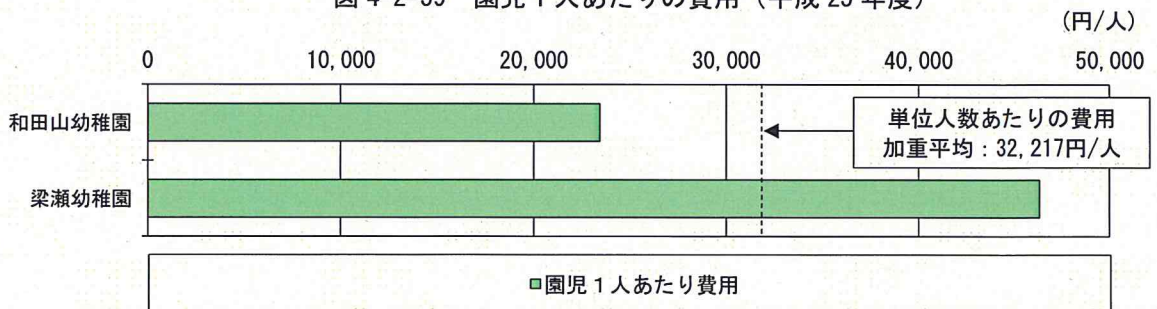
平成 25 年度の施設に関する費用を延床面積 1 m²あたりでみると、2 施設の平均では 2,350 円となっていますが、延床面積が狭い梁瀬幼稚園は約 3,920 円で和田山幼稚園（約 1,570 円）の 2 倍以上の水準になっています。

図 4-2-58 延床面積 1 m²あたりの費用（平成 25 年度）



園児 1 人あたりでみると、2 施設の平均では 32,217 円となっていますが、在籍者数が少ない梁瀬幼稚園は約 46,350 円で和田山幼稚園（約 23,420 円）の約 2 倍の水準になっています。

図 4-2-59 園児 1 人あたりの費用（平成 25 年度）



2) 保育所

① 概要

本市では、保育所を2箇所を設置しており、いずれも旧和田山町に立地していますが、駅前保育所は現在休止中となっています。

保育所は、就学前児童のうち、働いているなどの理由により親の保育を受けられない児童を保育し教育する場とされていますが、少子化やニーズの多様化を踏まえ、そのあり方を検討する時期が来ています。



< 枚田岡保育所 >

表 4-2-17 保育所の概要

No.	基礎情報					コスト情報(千円)			収入(千円)
	施設名	所在	建築年	構造階数	延床面積(m ²)	維持管理費	事業運営費	人件費	
1	駅前保育所(休所)	和田山町東谷392-2	S53	RC1	392.65	4	0	0	0
2	枚田岡保育所	和田山町枚田岡722-1	S49	W1	347.00	1,875	678	26,219	2,086

② 建物の状況

延床面積は約350~400m²となっており、それほど大きな施設ではありません。

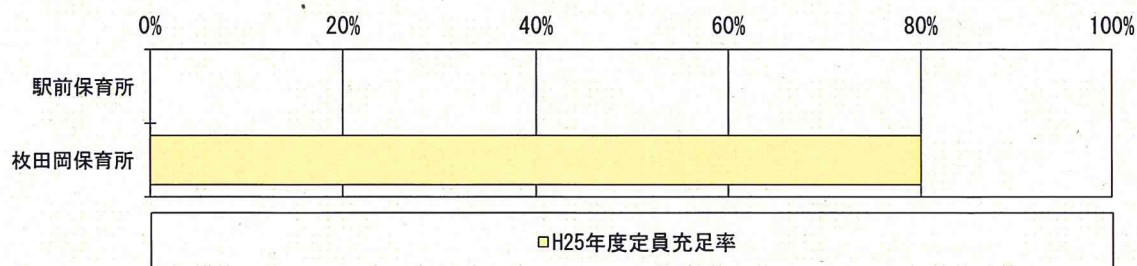
いずれも昭和50年前後に建築した施設で、大規模改修・更新のサイクルを迎えて老朽化が進んでいますが、これまでに大規模改修は実施していません。

また、いずれも新耐震基準以前(昭和56年以前)に建築した施設ですが、耐震診断・改修は実施していません。

③ 利用の状況

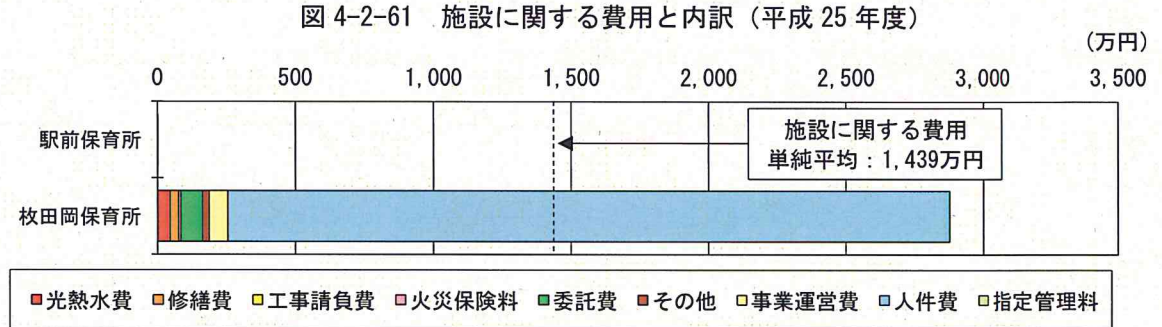
平成25年度の園児数は、枚田岡保育所が24人となっており、定員充足率(園児数/定員数)は80%となっています。(駅前保育所は休止中)

図 4-2-60 定員充足率(園児数/定員数・平成25年度)



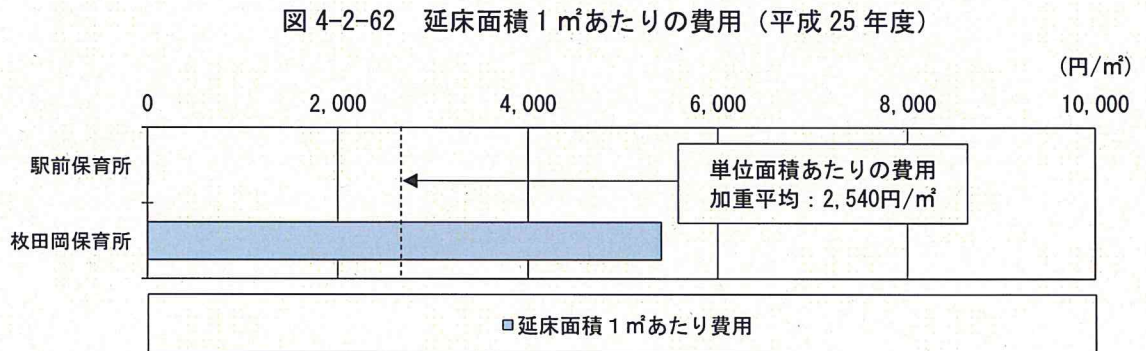
④ 施設に関する費用の状況

平成 25 年度における施設に関する費用は、枚田岡保育所で約 2,880 万円となっています。費用の内訳をみると、人件費が大半を占めており、これ以外の費目では委託費や事業運営費、光熱水費が主な費目として挙がっています。

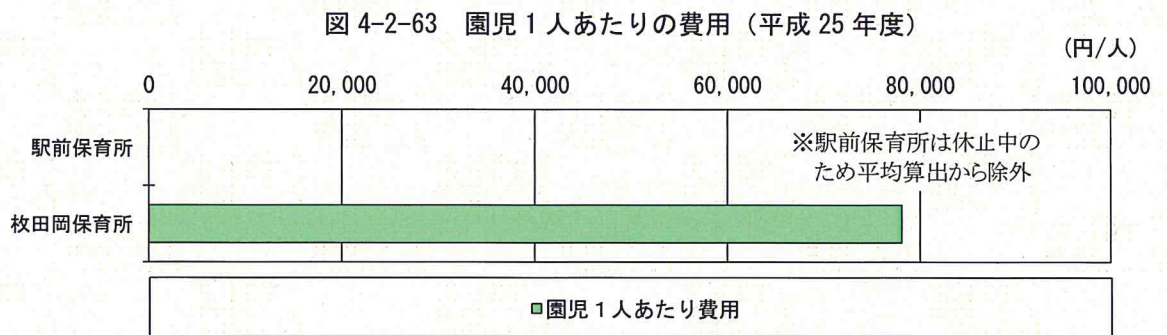


⑤ 単位あたりのコストの状況

平成 25 年度の施設に関する費用を延床面積 1 m²あたりで見ると、枚田岡保育所で約 5,400 円となっています。



園児 1 人あたりで見ると、枚田岡保育所で約 78,110 円となっています。



3) こども園

① 概要

本市では、こども園を7箇所を設置していますが、このうち4箇所は旧和田山町に立地しています。

こども園は、少子化やニーズの多様化を踏まえ、親の就労状況にかかわらず就学前児童を保育し教育する場であり、これまでの幼稚園と保育所を一体化した施設として運営されています。



< 山口こども園 >

表 4-2-18 こども園の概要

No.	基礎情報					コスト情報(千円)			収入(千円)
	施設名	所在	建築年	構造階数	延床面積(m ²)	維持管理費	事業運営費	人件費	
1	生野こども園	生野町口銀谷546	H15	W1	999.40	3,301	3,574	62,239	10,003
2	糸井こども園	和田山町寺内565-1	H24	W1	971.82	4,323	1,201	66,403	13,641
3	大蔵こども園	和田山町宮田196	H22	W1	971.02	5,156	1,259	70,689	15,870
4	東河こども園	和田山町中380	H24	W1	574.00	3,595	1,088	58,372	11,942
5	竹田こども園	和田山町竹田592-1	H24	W1	973.00	4,363	1,229	63,726	16,880
6	中川こども園	桑市99	H25	W2	947.33	2,664	1,051	60,160	7,739
7	山口こども園	羽淵538	H25	RC1	1,095.25	2,626	1,344	70,868	14,452

② 建物の状況

延床面積は、東河こども園が約570㎡となっていますが、これ以外の施設については、おおむね1,000㎡程度の規模となっています。

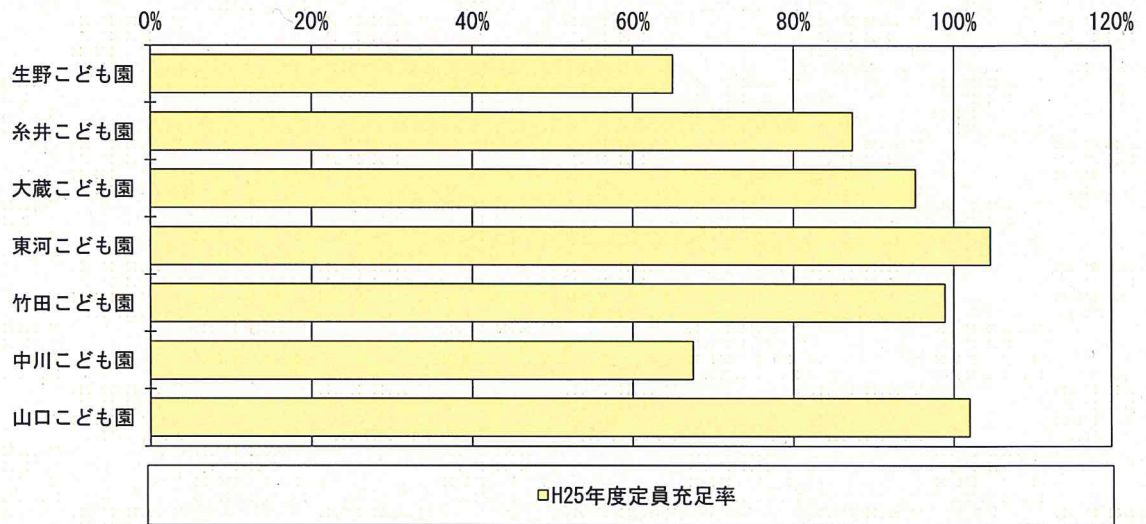
いずれも平成に入ってから建築した比較的新しい施設となっています。

③ 利用の状況

平成 25 年度の園児数は、山口こども園及び大蔵こども園が 100 人程度で、これ以外の施設については 50～90 人程度となっています。

定員充足率（園児数/定員数）は、東河こども園（約 105%）及び山口こども園（約 102%）が 100%を超えています、これ以外の施設でも 60%以上と比較的高くなっています。

図 4-2-64 定員充足率（園児数/定員数・平成 25 年度）

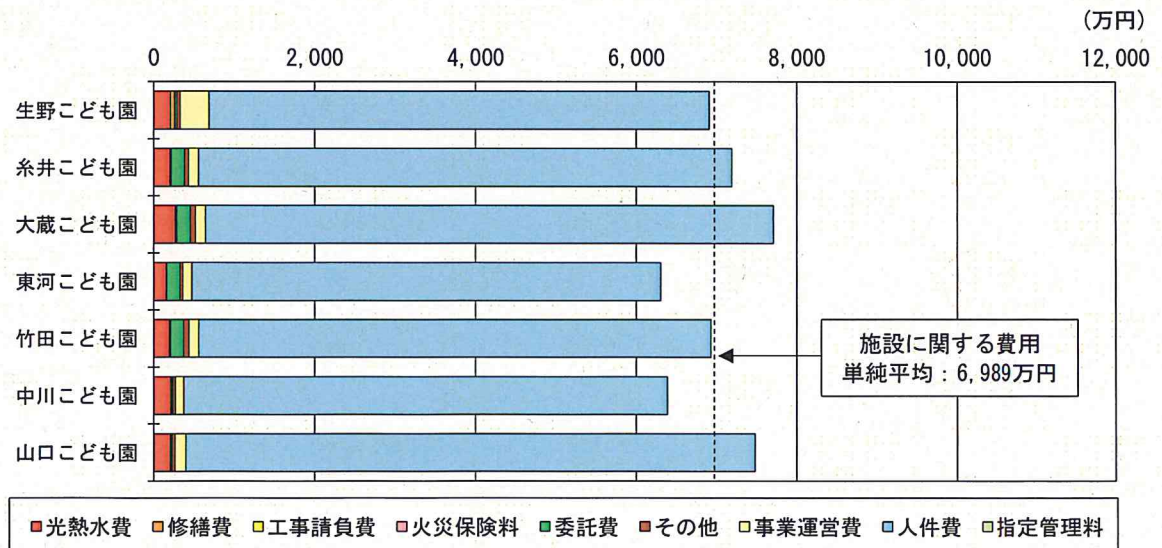


④ 施設に関する費用の状況

平成 25 年度における施設に関する費用をみると、全施設の平均は 6,989 万円で、いずれの施設も平均に近い水準となっています。

費用の内訳をみると、いずれのこども園も人件費が大半を占めており、これ以外の費目では光熱水費や委託費、事業運営費が主な費目として挙がっています。

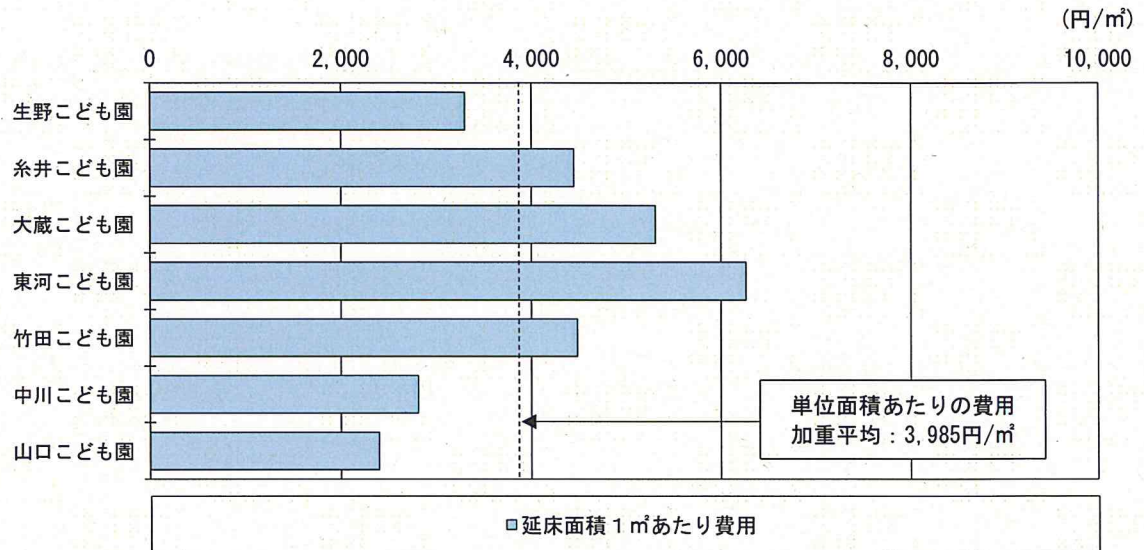
図 4-2-65 施設に関する費用と内訳（平成 25 年度）



⑤ 単位あたりのコストの状況

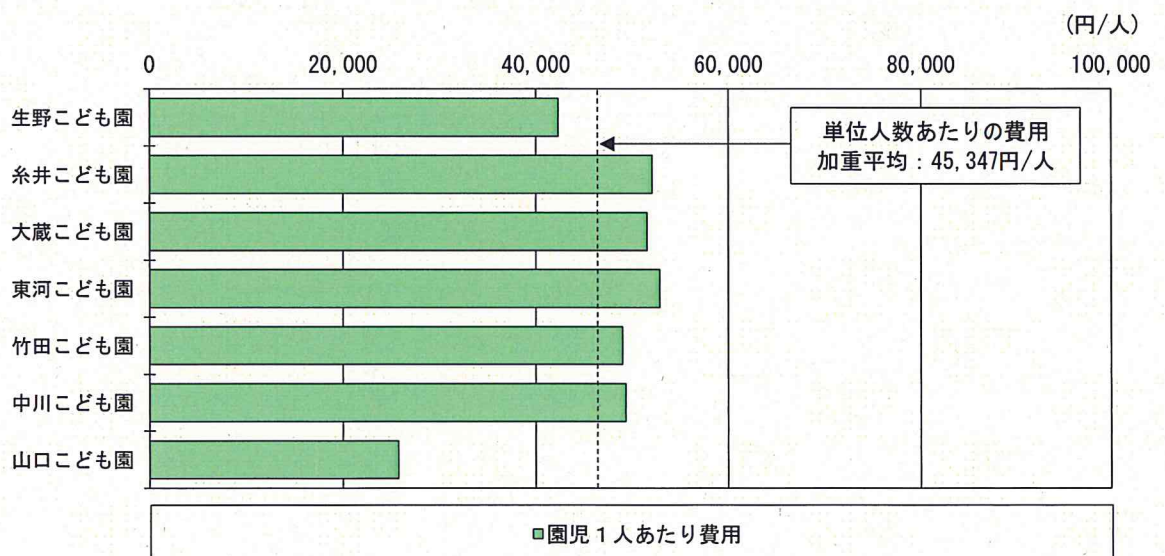
平成 25 年度の施設に関する費用を延床面積 1 m²あたりで見ると、全施設の平均では 3,985 円となっていますが、施設の規模が小さい東河こども園は約 6,260 円と高くなっています。

図 4-2-66 延床面積 1 m²あたりの費用 (平成 25 年度)



園児 1 人あたりで見ると、全施設の平均では 45,347 円となっていますが、山口こども園で約 25,750 円と低くなっています。これ以外の施設は、いずれも平均に近い水準となっています。

図 4-2-67 園児 1 人あたりの費用 (平成 25 年度)

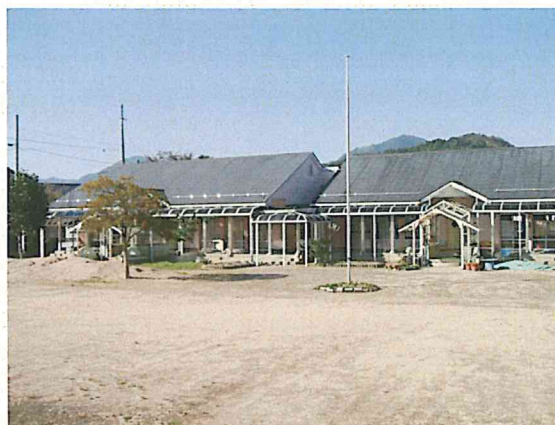


4) 学童クラブ

① 概要

本市では、学童クラブが 9 箇所あり、うち 5 箇所が市庁舎や学校施設等との複合・併設施設（コスト情報は主たる施設で別途計上）、4 箇所は単独施設となっています。生野学童クラブと山口学童クラブは子育て学習センターと複合した施設となっています。

学童クラブは、就労等により放課後家庭において親の保護が受けられない児童の保育を行い、児童の健全育成と安心して働き続けられる環境づくりに役立っています。



< 山口学童クラブ >

表 4-2-19 学童クラブの概要

No.	基礎情報					コスト情報(千円)			収入(千円)
	施設名	所在	建築年	構造階数	延床面積(m ²)	維持管理費	事業運営費	人件費	
1	生野学童クラブ	生野町口銀谷418-4	H1	SRC1	608.31	2,201	2,522	0	578
2	大蔵学童クラブ	和田山町宮田212-1	S59	RC1	348.00	467	4,699	0	1,499
3	東河学童クラブ	和田山町中370-1	S56	RC1	207.00	37	3,274	0	514
4	山口学童クラブ	羽瀨390	H1	W1	633.00	859	2,262	0	385

※単独施設のみ

② 建物の状況

延床面積は、子育て学習センターとの複合施設である山口学童クラブ（約 630 m²）と生野学童クラブ（約 610 m²）がやや広がっていますが、他の施設は約 200～350 m²程度となっています。

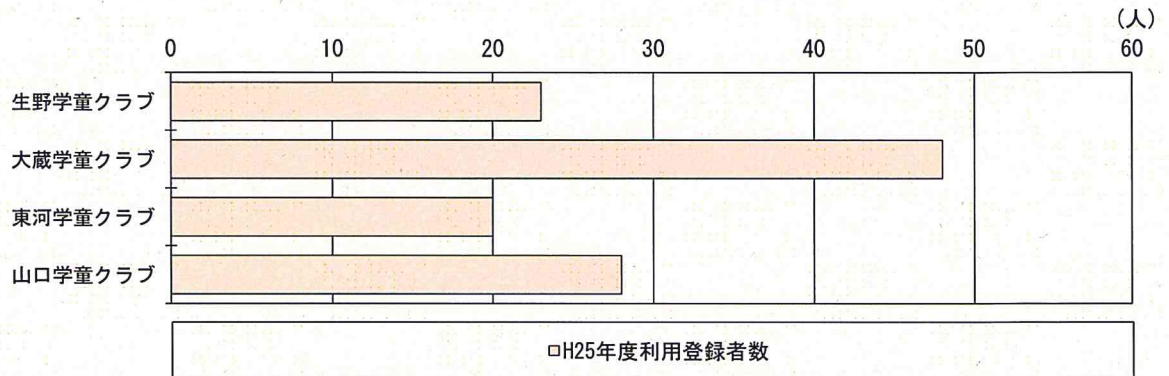
昭和 50 年代後半に建築した施設が 2 箇所あり、大規模改修・更新のサイクルを迎えて老朽化が進んでいますが、これまでに大規模改修は実施していません。

また、新耐震基準以前（昭和 56 年以前）に建築した施設が 1 箇所ありますが、これまでに耐震診断・改修は実施していません。

③ 利用の状況

平成 25 年度の学童クラブ単独施設における利用登録者数は、大蔵学童クラブが 48 人と最も多く、あとの 3 施設の利用登録者数は 20～30 人程度となっています。

図 4-2-68 利用登録者数（平成 25 年度）

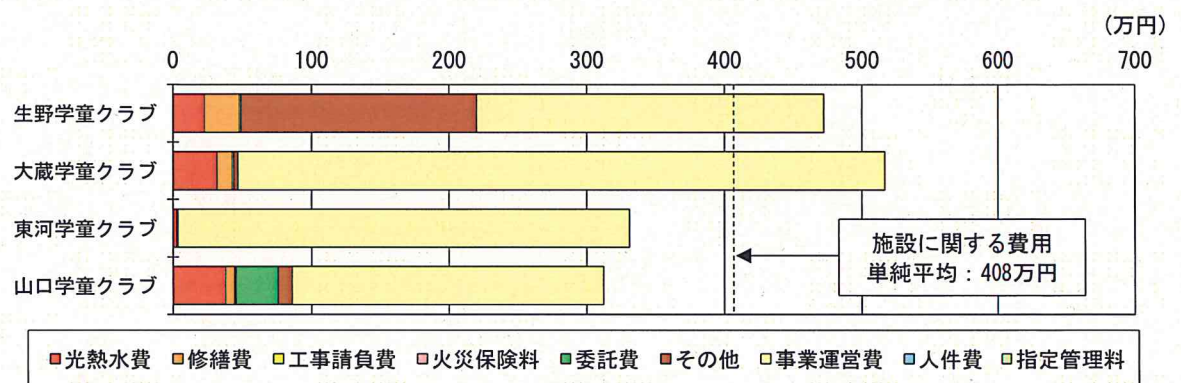


④ 施設に関する費用の状況

平成 25 年度における学童クラブ単独施設に関する費用をみると、全施設の平均では 408 万円となっていますが、利用者数が多い大蔵学童クラブ（約 520 万円）のほか、生野学童クラブ（約 470 万円）も平均を上回っています。

費用の内訳をみると、いずれの施設でも事務運営費が大半を占めており、これ以外の費目では光熱水費や修繕費が主な費目として挙がっています。生野学童クラブでは、その他の費用が占める割合も高くなっています。

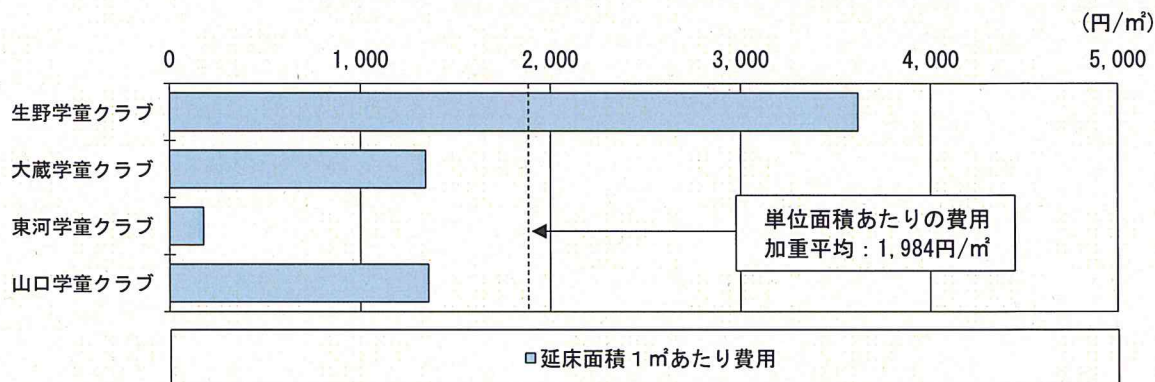
図 4-2-69 施設に関する費用と内訳（平成 25 年度）



⑤ 単位あたりのコストの状況

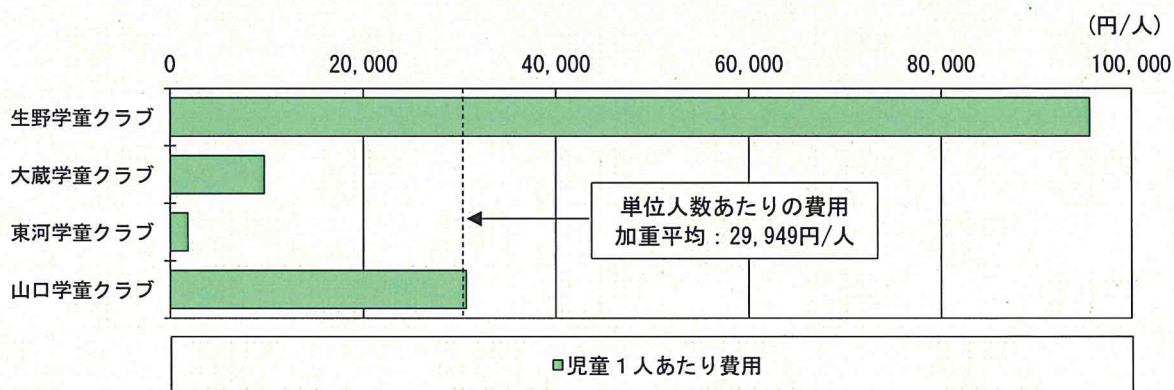
平成 25 年度の学童クラブ単独施設に関する費用を延床面積 1 m²あたりで見ると、全施設の平均では 1,984 円となっていますが、生野学童クラブで約 3,620 円となっており、他の施設の 2 倍以上となっています。

図 4-2-70 延床面積 1 m²あたりの費用 (平成 25 年度)



利用者 1 人あたりで見ると、全施設の平均では 29,949 円となっていますが、園児数が少ない生野学童クラブ (約 95,680 円) では平均の 3 倍以上となっています。

図 4-2-71 児童 1 人あたりの費用 (平成 25 年度)



(7) 保健福祉施設

1) 福祉施設（福祉センター等）

① 概要

本市では、高齢者の利用を目的とした福祉センター等を、旧山東町を中心として11箇所に設置しています。

福祉センター等は、老人福祉に関する各種相談に応じるとともに、高齢者の健康増進やレクリエーションへの参加の機会を提供しています。

また、地域の高齢者のコミュニティ形成の場としての役割も果たしています。



< 山東老人福祉センター >

表 4-2-20 福祉施設（福祉センター等）の概要

No.	基礎情報					コスト情報(千円)			収入(千円)
	施設名	所在	建築年	構造階数	延床面積(m ²)	維持管理費	事業運営費	人件費	
1	生野老人福祉センター	生野町口銀谷747-1	S57	RC1	500.00	420	7	0	0
2	和田山老人福祉センター	和田山町和田山258-1	S55	RC3	742.39	1,098	85	0	0
3	安井谷老人福祉センター	和田山町殿32	S60	RC1	200.19	478	0	0	0
4	高齢者ふれあいプラザ	山東町矢名瀬町528	H13	W2	289.00	799	0	0	0
5	高齢者交流センター	山東町楽音寺95	H12	S2	301.00	555	0	0	74
6	山東老人福祉センター	山東町楽音寺118	S62	RC1	830.00	1,421	0	0	0
7	高齢者生きがい創造センター	山東町早田222-7	H15	W1	226.00	956	0	0	0
8	高齢者共同生活の家	山東町溝黒364-2	H13	W2	313.00	548	0	0	0
9	高齢者活力創造センター	山東町溝黒411	S60	RC2	3,005.00	61,784	16,488	0	0
10	朝来老人福祉保健センター	立脇3番1	S57	RC2	934.00	1,679	0	0	0
11	神子畑いろりハウス	佐囊1842	H13	W1	194.50	1,372	0	0	0

② 建物の状況

延床面積は、高齢者活力創造センターが約3,010㎡と特に広く、これ以外はいずれの施設も1,000㎡未満となっています。

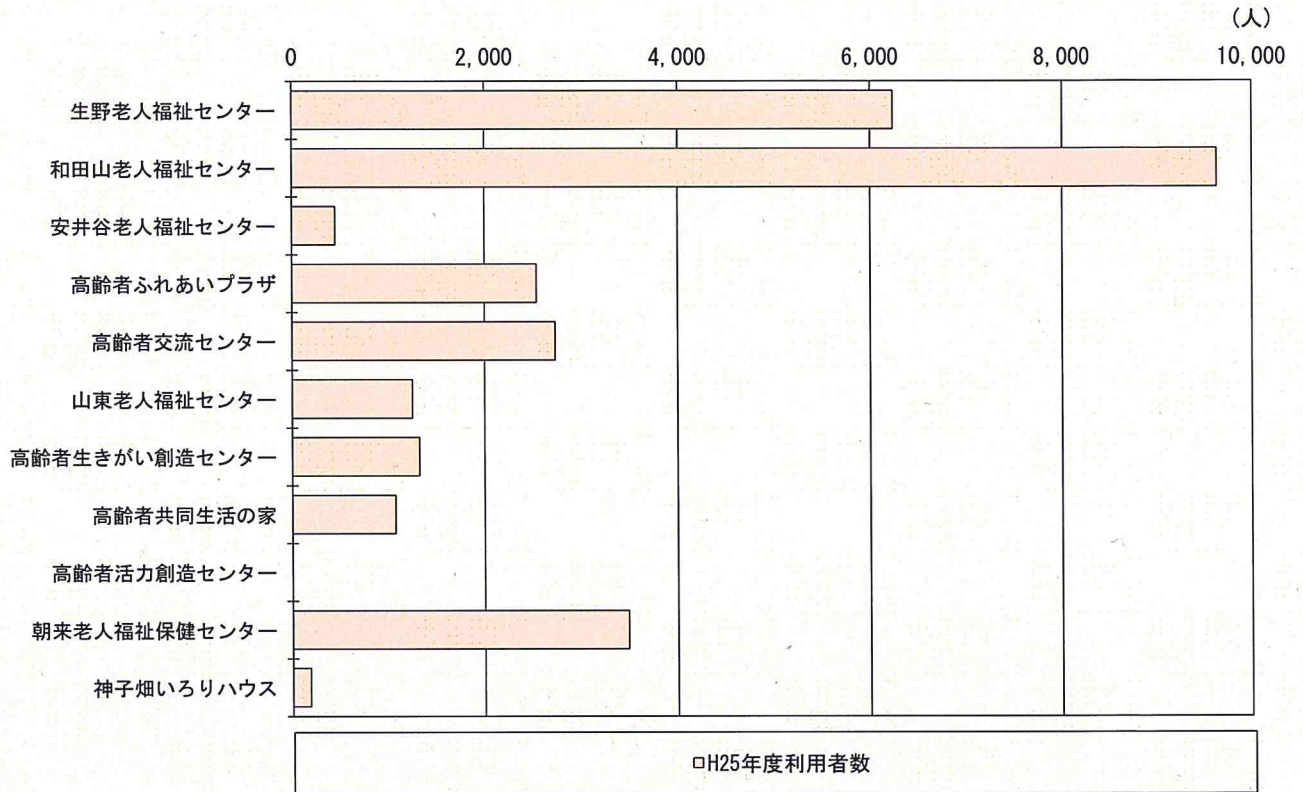
昭和55年から昭和60年まで建築した施設が4箇所あり、建築後29年以上と大規模改修・更新のサイクルを迎え老朽化が進んでいますが、これまでに大規模改修を実施した施設はありません。

また、新耐震基準以前（昭和56年以前）に建築した施設が1箇所ありますが、いずれの施設も耐震改修は実施していません。

③ 利用の状況

平成 25 年度の延利用者数をみると、和田山老人福祉センターが約 9,630 人と特に多く、次いで生野老人福祉センターが約 6,240 人と多くなっています。

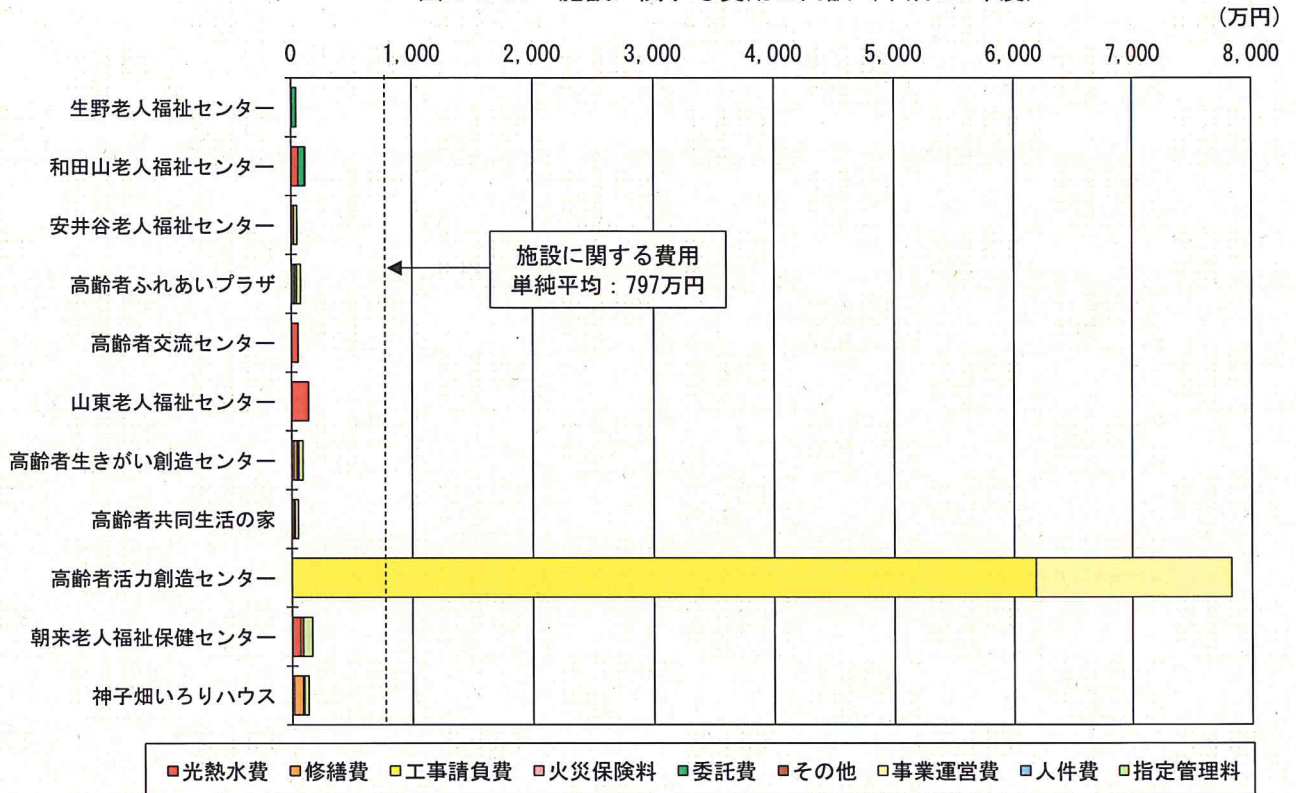
図 4-2-72 施設の利用者数（平成 25 年度）



④ 施設に関する費用の状況

平成 25 年度における施設に関する費用をみると、全施設の平均では 797 万円となっています。高齢者活力創造センターで約 7,830 万円となっており、費用の内訳をみると、工事請負費 6,180 万円、備品購入費 1,100 万円（事業運営費に含む）などとなっています。

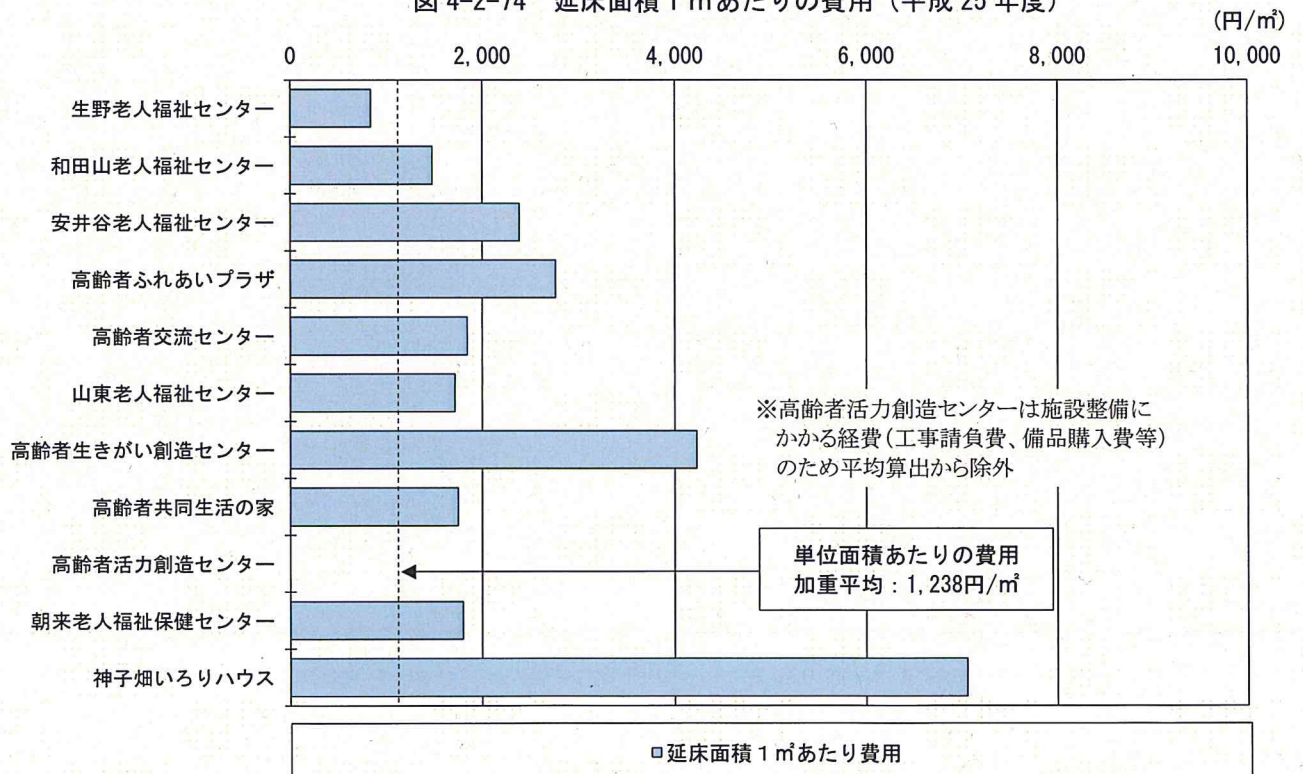
図 4-2-73 施設に関する費用と内訳 (平成 25 年度)



⑤ 単位あたりのコストの状況

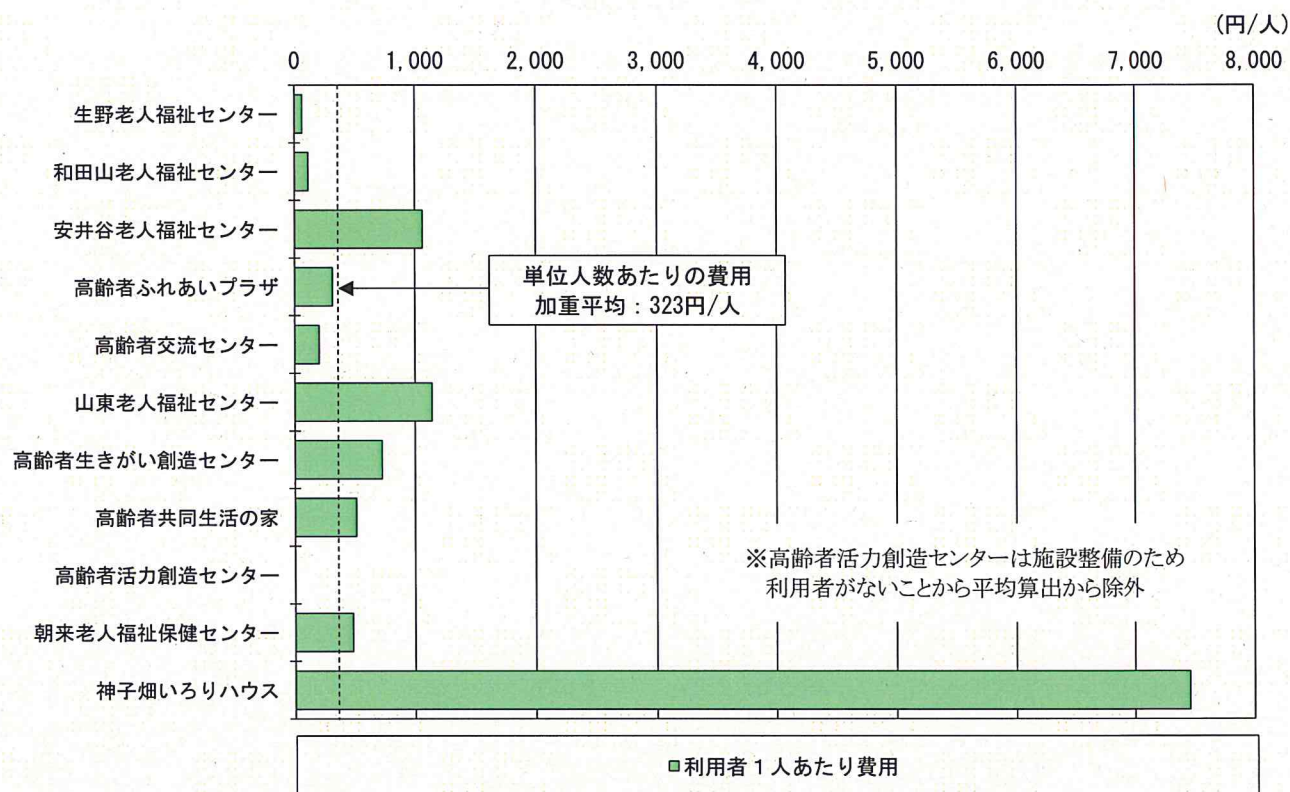
平成 25 年度の施設に関する費用を延床面積 1 m²あたりで見ると、全施設の平均では 1,238 円となっていますが、施設規模の小さい神子畑いろりハウス (約 7,060 円) は、平均の 5 倍以上と他の施設に比べかなり高い水準になっています。

図 4-2-74 延床面積 1 m²あたりの費用 (平成 25 年度)



利用者1人あたりで見ると、全施設の平均では323円となっていますが、施設に関する費用に比べて利用者数が少ない神子畑いろりハウス（約7,460円）は、平均の約20倍と他の施設に比べ極めて突出して高い水準になっています。

図 4-2-75 利用者1人あたりの費用（平成25年度）



2) 福祉施設（入所施設等）

① 概要

本市では、高齢者・障害者の利用を目的とした入所施設等を、旧生野町（2箇所）及び旧朝来町（2箇所）に4箇所設置しています。

入所施設等は、心身の障害や経済的理由等により居宅で自立生活を送ることができない人を入所させ、介護や養護、食事、入浴等のサービスを提供する施設として設置しています。



＜ ケアハウス朝来 ＞

表 4-2-21 福祉施設（入所施設等）の概要

No.	基礎情報					コスト情報(千円)			収入(千円)
	施設名	所在	建築年	構造階数	延床面積(m ²)	維持管理費	事業運営費	人件費	
1	グループホーム竹原野	生野町竹原野222	H17	W1	792.16	77	0	0	0
2	ケアハウス竹原野	生野町竹原野237	H12	RC1	757.18	8	0	0	0
3	宅老所「ふらっと」	立脇4番1	H14	W1	204.50	15	0	0	0
4	ケアハウス朝来	新井179	H17	RC1	2,060.00	21	0	0	0

② 建物の状況

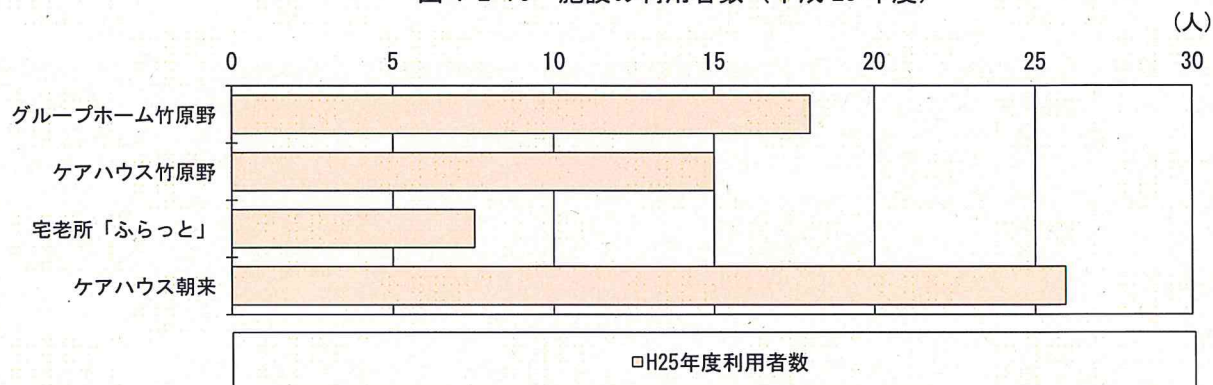
延床面積は、ケアハウス朝来が約2,060 m²と特に広がっており、宅老所「ふらっと」は200 m²程度の小規模な施設となっています。

4施設とも、平成に入ってから建築した比較的新しい施設であり、大規模な改修や耐震改修を実施する必要はありません。

③ 利用の状況

平成 25 年度の利用者数をみると、ケアハウス朝来が 26 人と最も多く、次いでグループホーム竹原野が 18 人となっています。

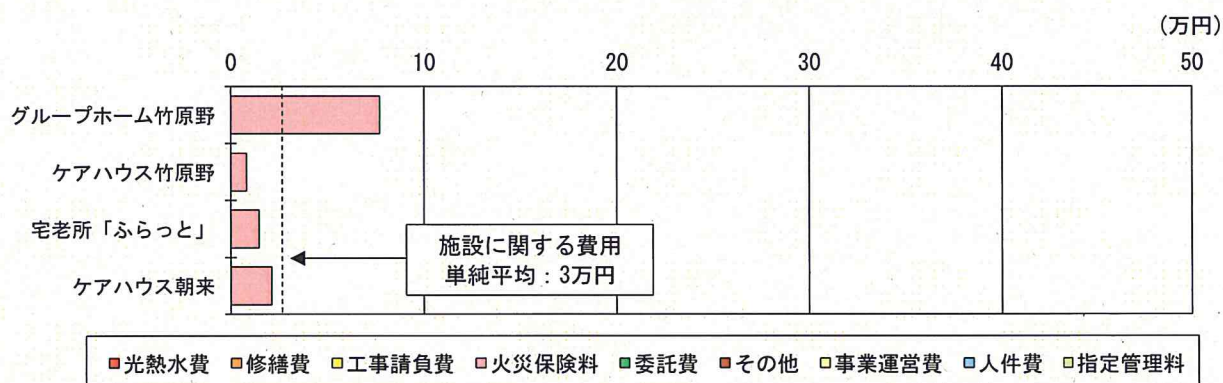
図 4-2-76 施設の利用者数（平成 25 年度）



④ 施設に関する費用の状況

平成 25 年度における施設に関する費用をみると、全施設の平均では 3 万円となっています。費用の内訳をみると、いずれの施設においても市の支出としては火災保険料のみとなっています。

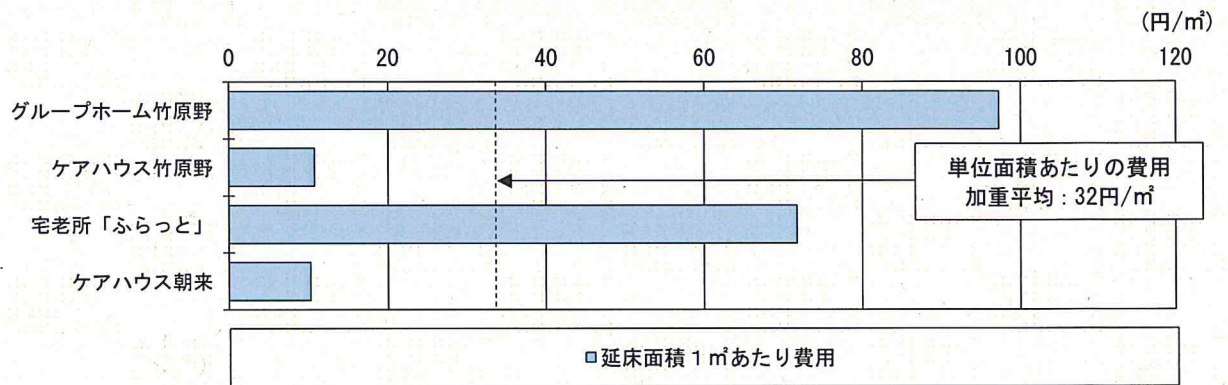
図 4-2-77 施設に関する費用と内訳（平成 25 年度）



⑤ 単位あたりのコストの状況

平成 25 年度の施設に関する費用を延床面積 1 m²あたりで見ると、全施設の平均では 32 円と なっていますが、グループホーム竹原野は約 100 円で、平均の 3 倍以上と高い水準となってい ます。

図 4-2-78 延床面積 1 m²あたりの費用 (平成 25 年度)



3) 福祉施設（社会福祉施設）

① 概要

本市では、障害者の利用を目的とした社会福祉施設を5箇所に設置していますが、旧山東町には立地していません。

社会福祉施設は、障がい者に軽作業を行う機会を提供するとともに、日常生活に必要な訓練等を行うことにより、その自立及び社会参加を促進するために設置しています。



< わだやま作業所 >

表 4-2-22 福祉施設（社会福祉施設）の概要

No.	基礎情報					コスト情報(千円)			収入(千円)
	施設名	所在	建築年	構造階数	延床面積(m ²)	維持管理費	事業運営費	人件費	
1	まつぼっくり	生野町口銀谷372-7	H16	S1	280.00	3	0	0	0
2	わだやま作業所	和田山町柳原306-2	H10	CB1	324.00	2	0	0	0
3	あったかプラザ	和田山町竹田208-2	H14	W1	251.00	1,197	0	0	0
4	YOU・愛センター	和田山町加都107-1	S46	W1	288.00	0	0	0	0
5	やまびこ作業所	新井148	H7	RC1	276.00	4	0	0	0

② 建物の状況

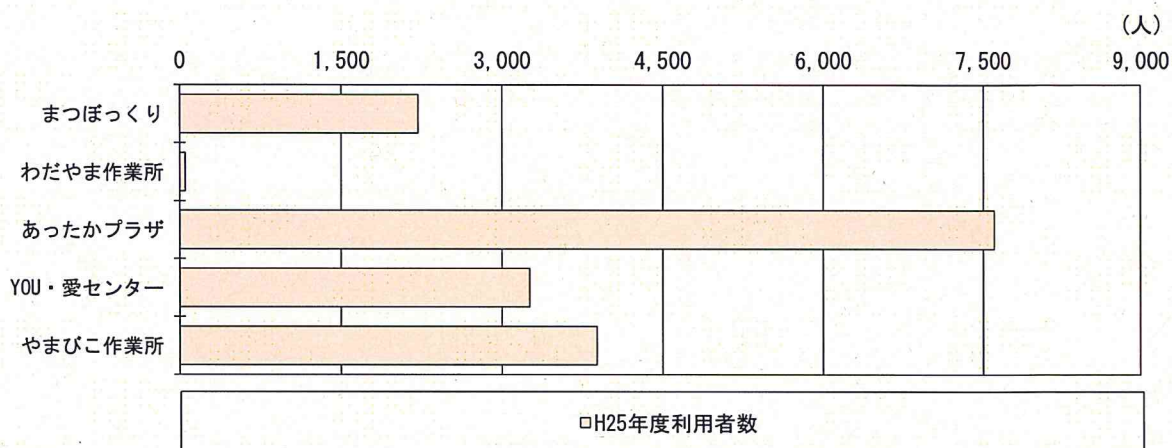
延床面積は、わだやま作業所が約 320 m²で最も広がっていますが、いずれの施設もおおむね 300 m²程度の規模となっています。

昭和 46 年に建築した YOU・愛センターは、大規模改修・更新のサイクルを迎えて老朽化が進んでいますが、これまでに大規模改修は実施していません。また、新耐震基準以前（昭和 56 年以前）に建築した施設ですが、耐震診断・改修は実施していません。

③ 利用の状況

平成 25 年度の利用者数をみると、あったかプラザが約 7,600 人と特に多くなっており、やまびこ作業所や YOU・愛センターが 3,000 人程度となっています。

図 4-2-79 施設の利用者数（平成 25 年度）

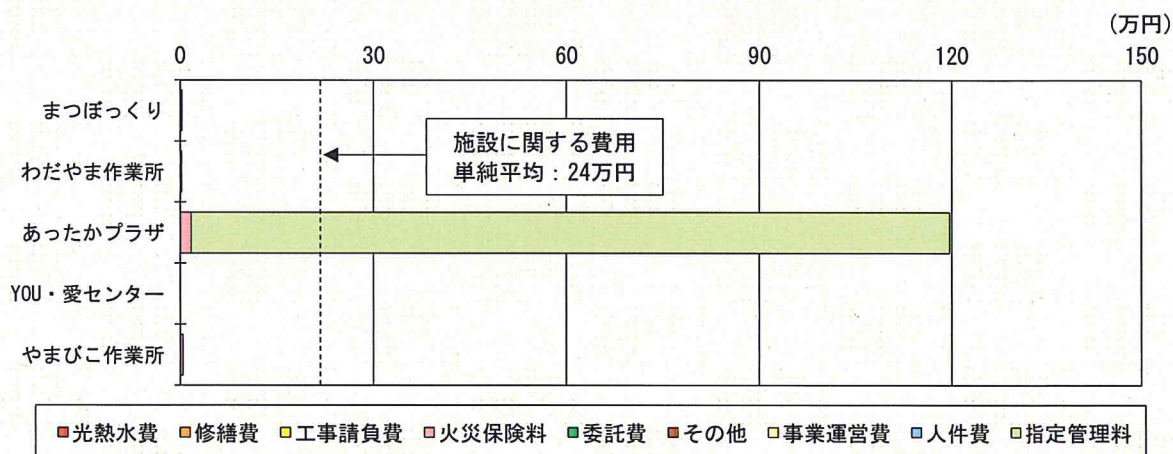


④ 施設に関する費用の状況

平成 25 年度における施設に関する費用をみると、全施設の平均では 24 万円となっていますが、指定管理を導入しているあったかプラザで約 120 万円となっています。

費用の内訳をみると、指定管理料以外の市の支出としては火災保険料のみとなっています。

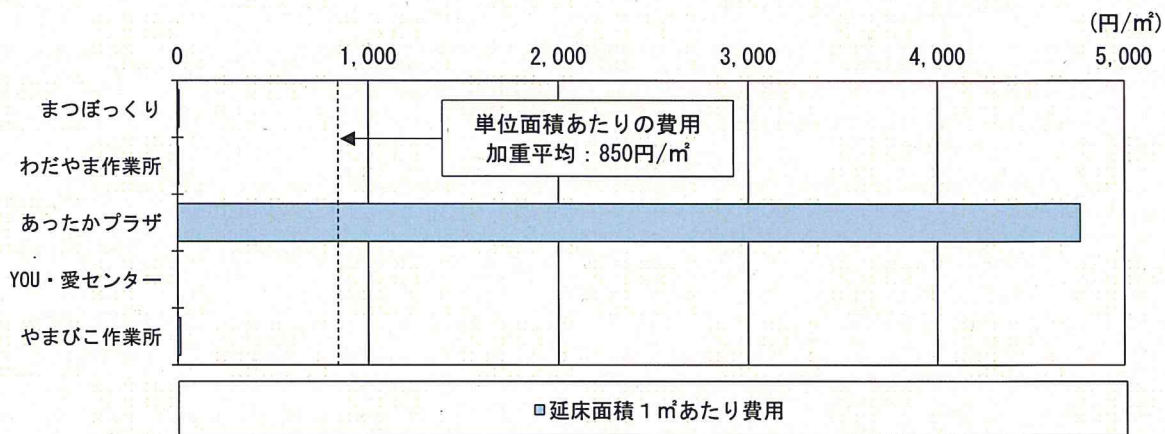
図 4-2-80 施設に関する費用と内訳（平成 25 年度）



⑤ 単位あたりのコストの状況

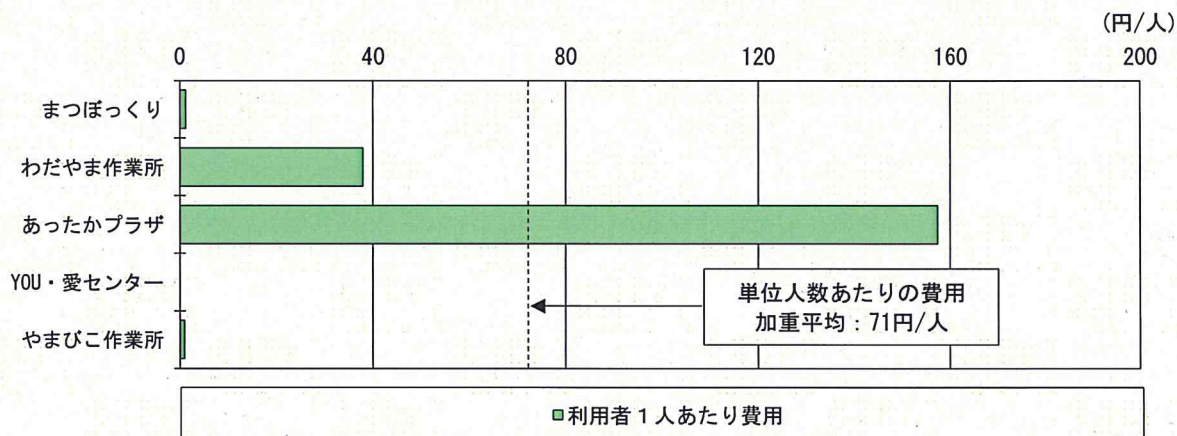
平成 25 年度の施設に関する費用を延床面積 1 m²あたりで見ると、全施設の平均では 850 円となっていますが、指定管理を導入しているあったかプラザで約 4,770 円となっています。

図 4-2-81 延床面積 1 m²あたりの費用 (平成 25 年度)



利用者 1 人あたりで見ると、全施設の平均は 71 円となっていますが、指定管理を導入しているあったかプラザで約 157 円、利用者が少ないわだやま作業所は約 40 円となっています。

図 4-2-82 利用者 1 人あたりの費用 (平成 25 年度)



4) 保健施設

① 概要

本市では、保健施設として保健センターを2箇所に設置しており、旧生野町及び旧和田山町にそれぞれ1箇所ずつ立地しています。

保健施設は、地域住民に密着した保健福祉サービスを総合的に提供する拠点として設置しています。



< 生野保健センター >

表 4-2-23 保健施設の概要

No.	基礎情報					コスト情報(千円)			収入(千円)
	施設名	所在	建築年	構造階数	延床面積(m ²)	維持管理費	事業運営費	人件費	
1	生野保健センター	生野町口銀谷747-3	H11	RC2	648.91	2,511	276	0	1,274
2	和田山保健センター	和田山町立ノ原26	S57	RC2	549.00	1,454	702	132,785	0

② 建物の状況

延床面積は、生野保健センターが約 650 m²、和田山保健センターが約 550 m²となっています。

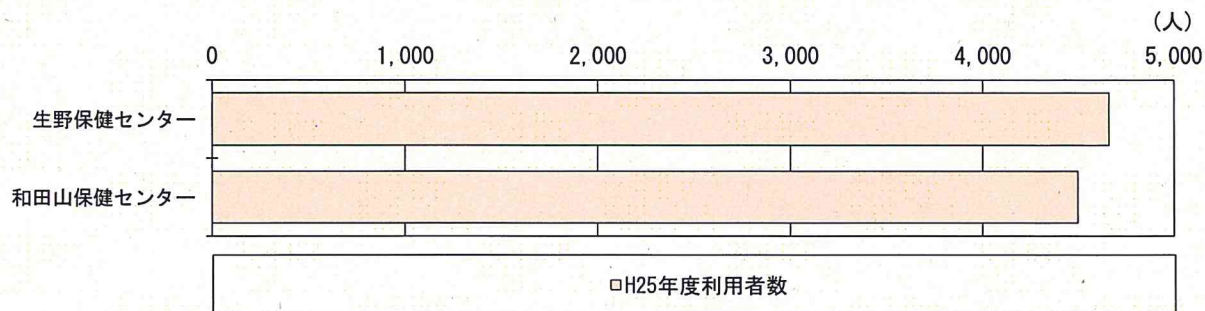
昭和 57 年に建築した和田山保健センターは、大規模改修・更新のサイクルを迎えて老朽化が進んでいましたが、平成 21 年に大規模な改修を実施しています。

いずれの施設も新耐震基準以降（昭和 57 年以降）に建築したものであるため、耐震改修を実施する必要はありません。

③ 利用の状況

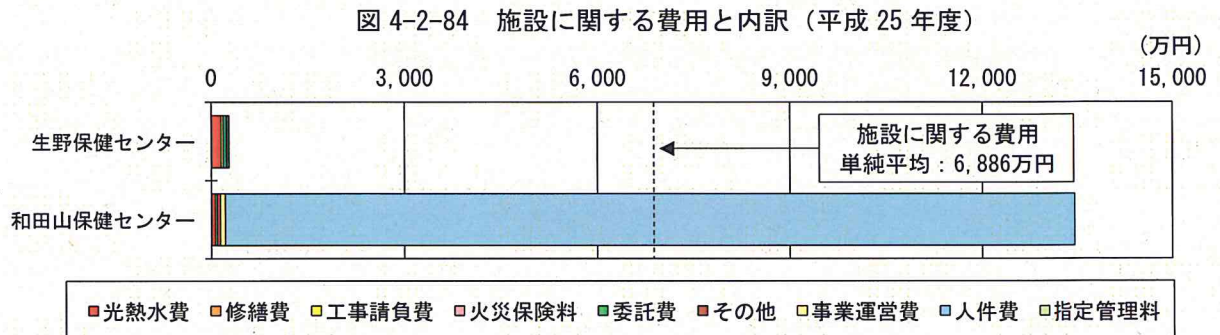
平成 25 年度の延利用者数をみると、生野保健センターが約 4,660 人、和田山保健センターが約 4,500 人で同程度の利用状況となっています。

図 4-2-83 施設の利用者数（平成 25 年度）



④ 施設に関する費用の状況

平成 25 年度における施設に関する費用をみると、和田山保健センターは約 13,494 万円となっており、費用の内訳をみると、人件費が大半を占めています（生野保健センターの施設に要する費用は約 280 万円）。



⑤ 単位あたりのコストの状況

平成 25 年度の施設に関する費用を延床面積 1 m²あたりでみると、全施設の平均では 3,310 円となっていますが、生野保健センターが約 3,870 円で、和田山保健センター（約 2,650 円）よりも高くなっています。

また、利用者 1 人あたりでみると、全施設の平均は 433 円となっていますが、生野保健センターが約 540 円で、和田山保健センター（約 320 円）よりも高くなっています。

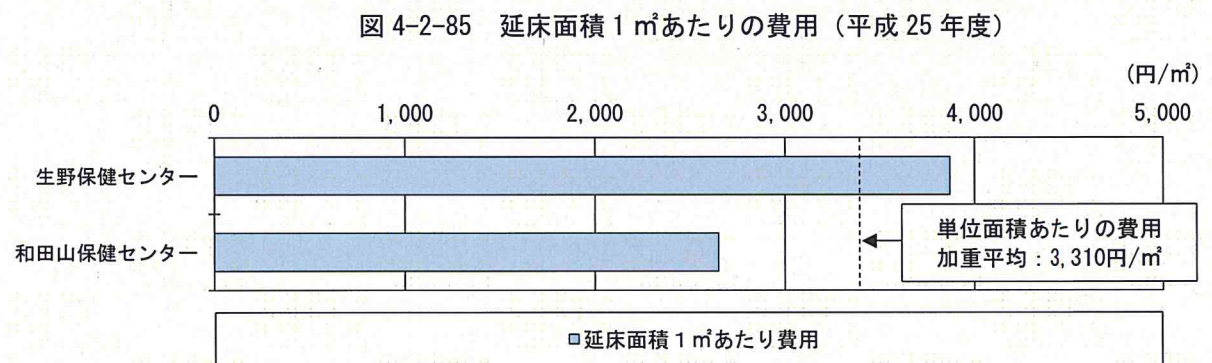
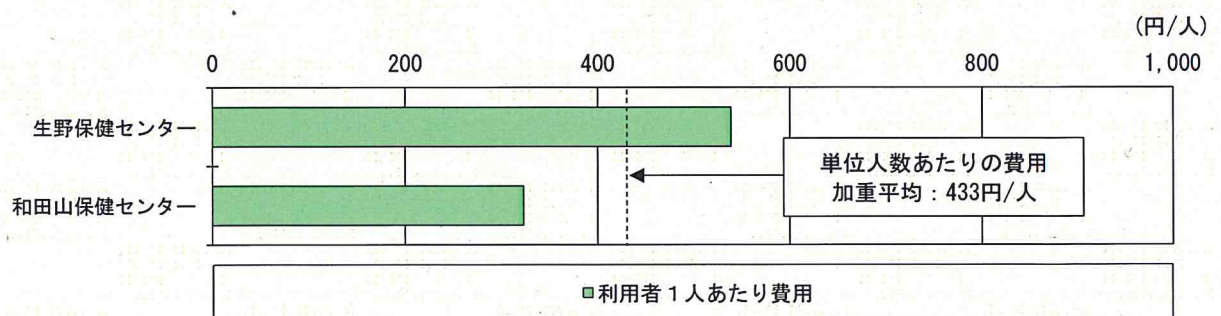


図 4-2-86 利用者 1 人あたりの費用（平成 25 年度）



(8) 行政施設

1) 庁舎

① 概要

本市では、本庁舎である朝来市役所（旧和田山町役場）のほかに、旧町の行政単位区ごとに3箇所の庁舎（生野、山東、朝来）を設置しています。いずれの庁舎にも、市民サービスの窓口機能を有する地域振興課を設置しています。



< 朝来市役所 南庁舎 >

表 4-2-24 庁舎の概要

No.	基礎情報					コスト情報(千円)			収入(千円)
	施設名	所在	建築年	構造階数	延床面積(m ²)	維持管理費	事業運営費	人件費	
1	生野庁舎	生野町口銀谷791-1	S43	RC1	1,301.50	6,842	4,280	158,765	1,865
2	朝来市役所	和田山町東谷213-1	S33	S3	1,766.00	19,719	6,675	296,120	0
3	農業研修センター	和田山町東谷213-1	S48	RC3	1,879.00	585	0	178,616	0
4	朝来市役所 西館	和田山町東谷213-4	S56	RC4	1,990.67	2,632	152	508,770	32
5	朝来市役所 南庁舎	和田山町和田山372-1	S20	S2	846.00	2,295	0	252,272	0
6	山東庁舎	山東町楽音寺95	S63	RC3	2,273.00	11,789	6,045	193,469	1,080
7	朝来庁舎	新井73-1	S48	RC3	3,265.56	7,814	6,666	218,959	144

② 建物の状況

延床面積は、朝来庁舎が約 3,270 m² と特に広く、山東庁舎も約 2,270 m² と広がっていますが、これ以外の施設は 2,000 m² 未満となっています。

いずれの施設も、昭和 20 年代前半から昭和 60 年代前半にかけて建築したもので、大規模改修・更新のサイクルを大きく上回っている施設もありますが、生野庁舎と朝来市役所西館以外は大規模な改修を実施していません。

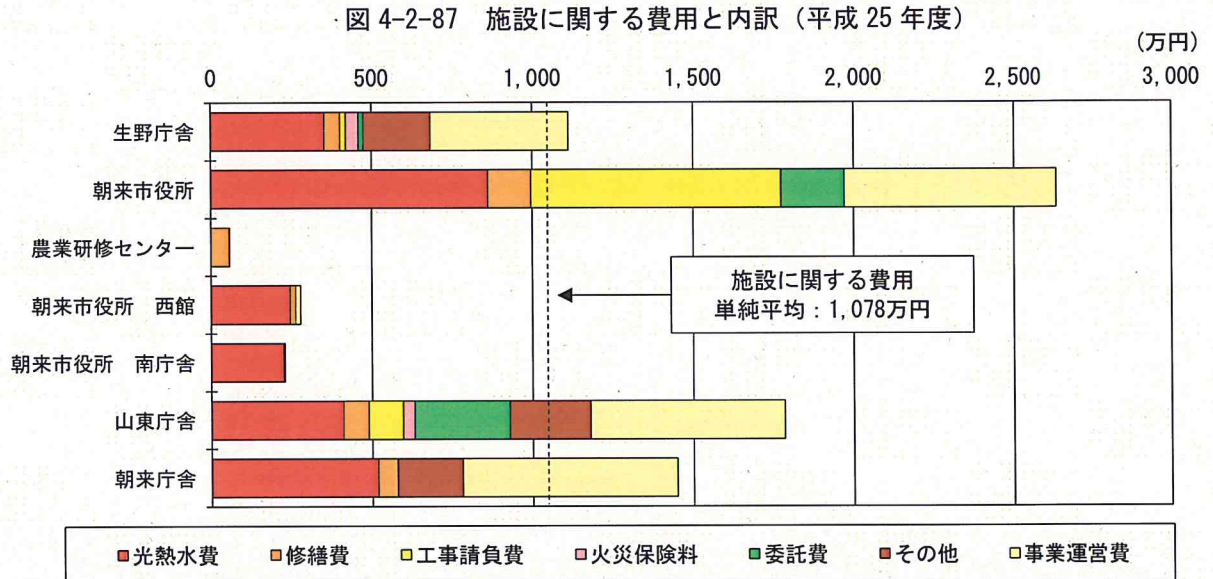
また、山東庁舎以外は、新耐震基準以前（昭和 56 年以前）に建築したものですが、朝来市役所西館以外は耐震改修を実施していません。

③ 施設に関する費用の状況

平成 25 年度における施設に関する費用をみると、全施設の平均は 1,078 万円となっていますが、朝来市役所で約 2,640 万円と平均の 2 倍以上になっています。

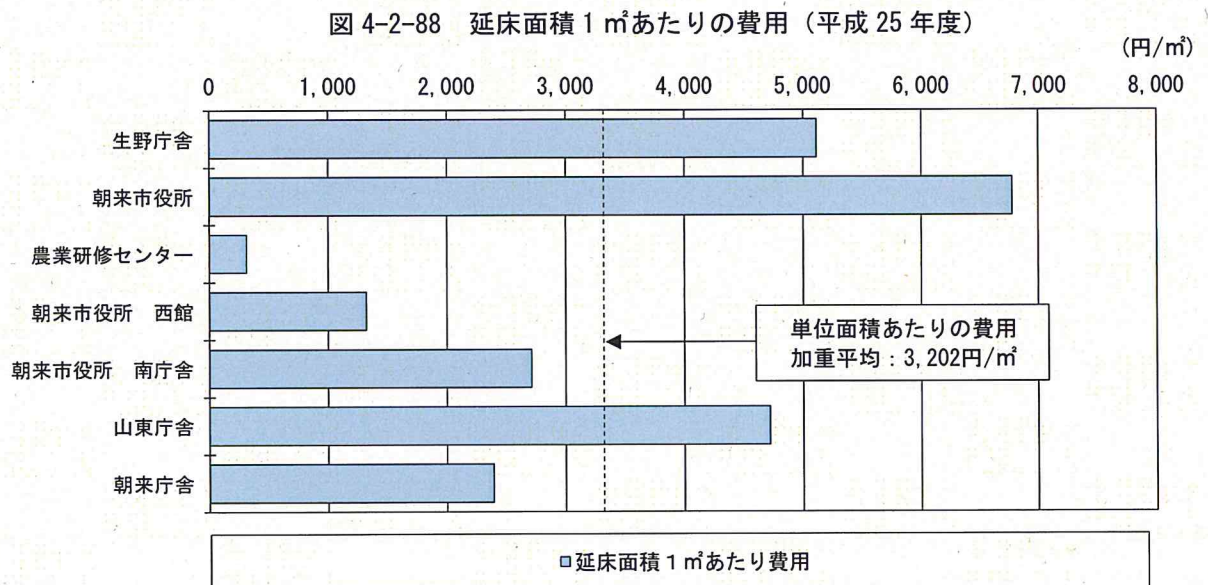
費用の内訳をみると、いずれの庁舎においても光熱水費や事業運営費が主な費目として挙げられています。

なお、庁舎施設については事務所機能が中心のため人件費を除いて比較しています。



④ 単位あたりのコストの状況

平成 25 年度の施設に関する費用を延床面積 1 m²あたりでみると、全施設の平均は 3,202 円となっていますが、延床面積が狭い朝来市役所 (約 6,770 円) は、平均の 2 倍以上となっています。



2) その他行政施設（防災施設）

① 概要

本市では、その他行政施設として防災センター1箇所と防災備蓄倉庫を1箇所、設置しています。

防災センターは、防災に関する教育や訓練等を通じて市民の防災意識の高揚を図るとともに、災害が発生し又は発生するおそれのある場合の対策活動の拠点施設として利用されています。



< 防災センター >

表 4-2-25 その他行政施設（防災施設）の概要

No.	基礎情報					コスト情報(千円)			収入(千円)
	施設名	所在	建築年	構造階数	延床面積(m ²)	維持管理費	事業運営費	人件費	
1	防災センター	和田山町枚田609	H13	RC2	856.66	115	0	0	0
2	山東防災備蓄倉庫	山東町楽音寺159 (梁瀬中学校グラウンド内)	H9	S2	153.70	22	0	0	0

② 建物の状況

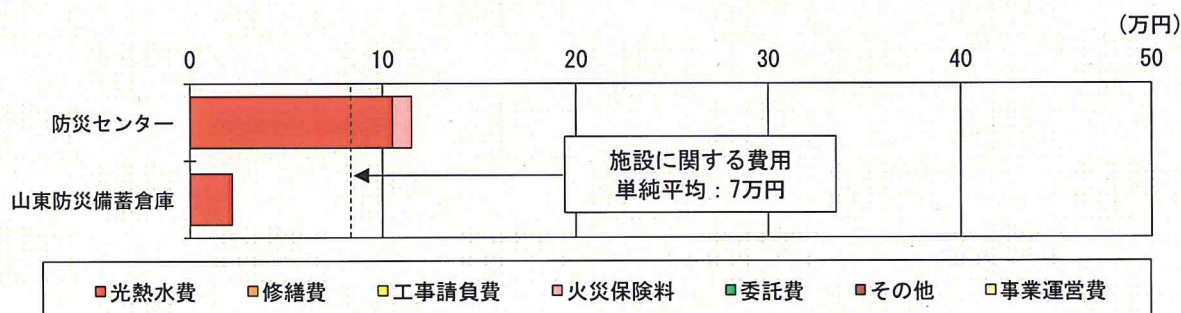
延床面積は、防災センターが約 860 m²、山東防災備蓄倉庫が約 150 m²となっています。

いずれの施設も、平成に入ってから建築した比較的新しい施設であり、大規模な改修や耐震改修を実施する必要はありません。

③ 施設に関する費用の状況

平成 25 年度における施設に関する費用をみると、全施設の平均では 7 万円となっています。市の支出としては、光熱水費と火災保険料となっています。

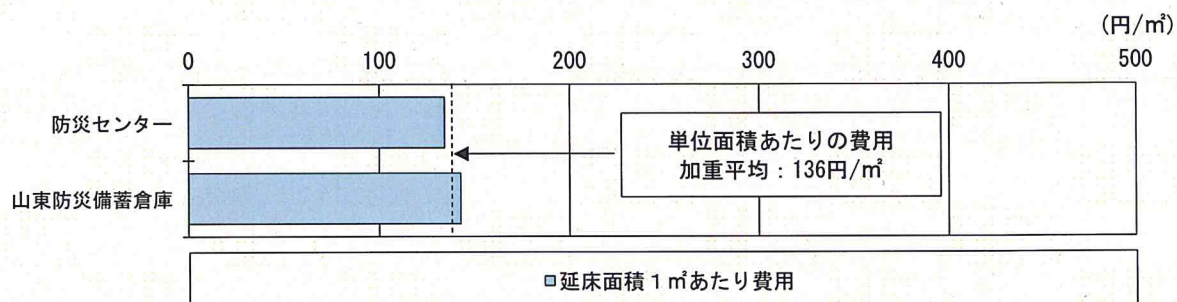
図 4-2-89 施設に関する費用と内訳（平成 25 年度）



④ 単位あたりのコストの状況

平成 25 年度の施設に関する費用を延床面積 1 m²あたりで見ると、全施設の平均では 136 円となっており、いずれも平均に近い水準となっています。

図 4-2-90 延床面積 1 m²あたりの費用（平成 25 年度）



3) その他行政施設（ケーブルテレビセンター）

① 概要

本市では、その他行政施設としてケーブルテレビセンターを3箇所を設置しています。業務自体は基本的に朝来局舎でおこなわれており、生野局舎と和田山局舎には機器等が設置されているのみとなっています。

表 4-2-26 その他行政施設（ケーブルテレビセンター）の概要

No.	基礎情報					コスト情報(千円)			収入(千円)
	施設名	所在	建築年	構造階数	延床面積(m ²)	維持管理費	事業運営費	人件費	
1	ケーブルテレビセンター生野局舎	生野町口銀谷2224 NTT西日本兵庫生野別館(敷地内)	H25	S1	18.04	366	0	0	0
2	ケーブルテレビセンター和田山局舎	和田山町枚田609	H13	S1	33.00	3,481	0	0	0
3	ケーブルテレビセンター朝来局舎	新井193	H12	RC1	580.00	224,056	28,163	51,770	313,110

② 建物の状況

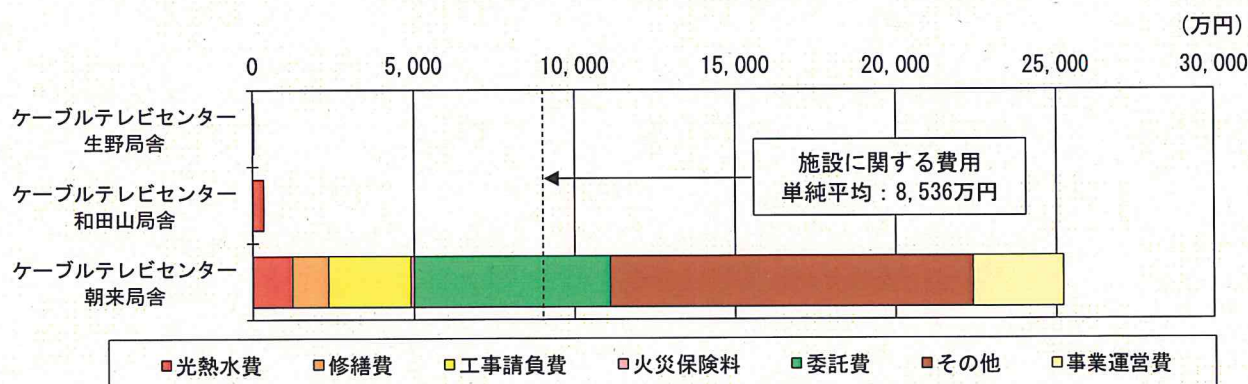
延床面積をみると、朝来局舎が580 m²と他の局舎に比べてかなり広がっています。

いずれの施設も、平成に入ってから建築した比較的新しい施設であり、大規模な改修や耐震改修を実施する必要はありません。

③ 施設に関する費用の状況

平成25年度における施設に関する費用をみると、全施設の平均では8,536万円となっています。

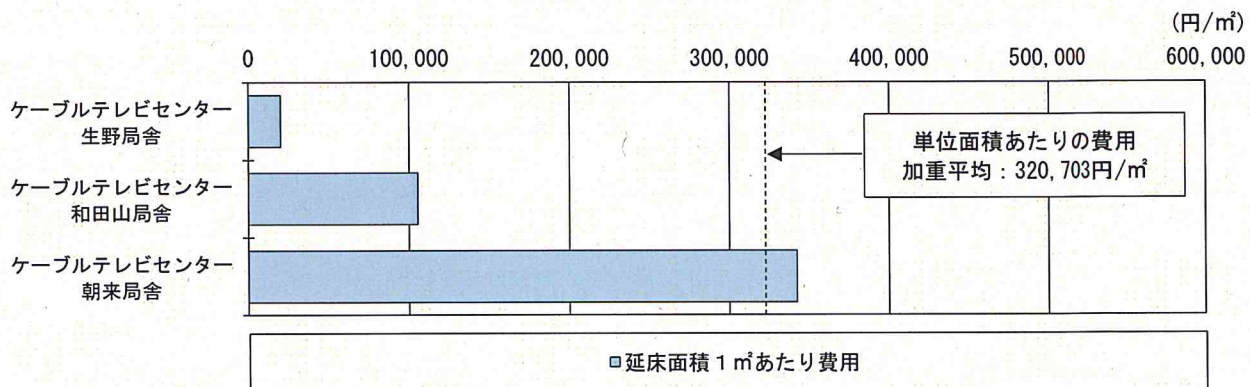
図 4-2-91 施設に関する費用と内訳（平成25年度）



④ 単位あたりのコストの状況

平成 25 年度の施設に関する費用を延床面積 1 m²あたりで見ると、全施設の平均では 32 万 703 円となっています。

図 4-2-92 延床面積 1 m²あたりの費用 (平成 25 年度)



4) その他行政施設（消防機庫）

① 概要

本市では、詰所・消防機庫を47箇所に設置しています。

詰所は、地震や河川氾濫等の災害発生時に、消防団員が待機する場所として利用されています。

消防機庫は、地震や河川氾濫等の災害発生時に警察・消防隊員や消防団員が迅速な救助・救出活動を実施するために必要な資機材や、消防団が所有している車両を保管する場所として利用されています。

② 建物の状況

延床面積は、生野支団第1分団詰所が約130㎡、山東支団第1分団消防機庫が約120㎡、沢消防器具庫（第1分団）が約110㎡とやや広がっていますが、これ以外は100㎡未満の小規模な施設となっています。

昭和40年代後半から昭和50年代後半に建築した消防機庫は、大規模改修・更新のサイクルを迎えて老朽化がかなり進んでいますが、和田山支団特設分団消防機庫でシャッターの修繕を実施した以外は、これまでに大規模な改修を実施していません。

新耐震基準以前（昭和56年以前）に建築した施設は14箇所ありますが、これまでに耐震診断・改修を実施した施設はありません。

③ 施設に関する費用の状況

平成25年度における施設に関する費用をみると、全施設の平均では6万円となっていますが、施設規模が大きい生野支団第1分団詰所で約20万円となっています。

費用の内訳をみると、光熱水費が大半を占めています。

④ 単位あたりのコストの状況

平成25年度の施設に関する費用を延床面積1㎡あたりで見ると、全施設の平均では992円となっていますが、施設規模が小さい和田山支団特設分団消防機庫で約2,540円と高くなっています。

表 4-2-27 その他行政施設（消防機庫）の概要

No.	基礎情報					コスト情報(千円)			収入 (千円)
	施設名	所在	建築年	構造 階数	延床面積 (㎡)	維持 管理費	事業 運営費	人件費	
1	生野支団第1分団詰所	生野町口銀谷534-4	H12	S2	127.00	165	29	0	0
2	生野支団第2分団詰所	生野町口銀谷2016	S60	S1	83.00	115	29	0	0
3	生野支団第3分団詰所	生野町新町1092	H8	SRC1	84.00	116	29	0	0
4	生野支団第4分団本村詰所	生野町黒川406-1	H11	S1	40.00	67	29	0	0
5	生野支団第4分団簾野詰所	生野町黒川115-4	S60	S1	42.00	68	29	0	0
6	生野支団第5分団詰所	生野町柘原552	S61	SRC1	78.00	109	29	0	0
7	和田山支団特設分団消防機庫	和田山町藤和471-1	S60	CB1	28.60	73	0	0	0
8	和田山支団本部分団消防機庫	和田山町東谷	H25	S1	63.18	48	0	0	0
9	和田山支団第1分団消防機庫	和田山町竹ノ内742-1	S57	CB1	51.69	56	0	0	0
10	和田山支団第2分団消防機庫	和田山町寺内558-1	H23	S1	63.18	65	0	0	0
11	和田山支団第3分団消防機庫	和田山町土田210	S54	CB1	53.26	48	0	0	0
12	和田山支団第4分団消防機庫	和田山町高田97-1	H10	S1	67.20	133	0	0	0
13	和田山支団第5分団消防機庫	和田山町和田山394-2	S53	CB1	61.58	53	0	0	0
14	和田山支団第6分団消防機庫	和田山町枚田岡476-1	S52	S2	49.44	81	0	0	0
15	和田山支団第7分団消防機庫	和田山町中94-2	S54	CB1	48.69	33	0	0	0
16	和田山支団第8分団消防機庫	和田山町宮33-5	H20	S2	64.34	48	0	0	0
17	和田山支団第9分団消防機庫	和田山町柴町23-2	H5	S1	63.18	77	0	0	0
18	和田山支団第10分団消防機庫	和田山町竹田650	S53	CB1	46.32	32	0	0	0
19	山東支団第1分団消防機庫	山東町矢名瀬町922-1	S48	S1	115.00	25	0	0	0
20	山東支団第2分団消防機庫	山東町野間204-2	H14	S1	45.38	19	0	0	0
21	山東支団第3分団消防機庫	山東町楽音寺31-1	H13	S1	36.00	22	0	0	0
22	山東支団第4分団消防機庫	山東町溝黒261-2	S60	S1	42.00	6	0	0	0
23	山東支団第5分団消防機庫	山東町越田15-4	S47	S1	25.00	4	0	0	0
24	山東支団第6分団消防機庫	山東町和賀584-1	S48	S1	45.00	26	0	0	0
25	山東支団第7分団消防機庫	山東町粟鹿1944	S46	S1	53.00	33	0	0	0
26	朝来支団特設分団特設消防車庫	新井73-1	S48	RC1	55.00	14	0	0	0
27	朝来支団第1分団汎消防器具庫	澤549-1	S50	S1	110.00	110	0	0	0
28	朝来支団第1分団山内消防器具庫	山内564-3	S61	W1	48.50	50	0	0	0
29	朝来支団第1分団川上消防器具庫	川上390-3	S64	W1	20.00	31	0	0	0
30	朝来支団第2分団物部消防器具庫	物部1088-1	H3	W1	44.00	63	0	0	0
31	朝来支団第2分団立脇消防器具庫	立脇409-1	S62	W1	48.50	70	0	0	0
32	朝来支団第2分団石田消防器具庫	石田702-2	S63	W1	49.50	42	0	0	0
33	朝来支団第3分団多々良木消防器具庫	多々良木458-1	H7	W1	48.50	53	0	0	0
34	朝来支団第3分団新井消防器具庫	新井531	S53	S2	91.00	69	0	0	0
35	朝来支団第4分団山口消防器具庫	山口116-1	S56	S1	38.50	39	0	0	0
36	朝来支団第4分団立野消防器具庫	立野210-1	S62	W1	48.00	55	0	0	0
37	朝来支団第4分団上岩津消防器具庫	岩津776	S57	W1	42.70	55	0	0	0
38	朝来支団第5分団上八代消防器具庫	上八代290-1	S64	W1	21.00	4	0	0	0
39	朝来支団第5分団羽淵消防器具庫	羽淵581-3	S63	W1	54.20	59	0	0	0
40	朝来支団第5分団中田路消防器具庫	田路568-2	S63	W1	40.00	43	0	0	0
41	朝来支団第5分団奥田路消防器具庫	田路872	H11	S1	24.00	4	0	0	0
42	朝来支団第6分団山本消防器具庫	佐囊362-1	S64	W1	45.80	29	0	0	0
43	朝来支団第6分団土肥消防器具庫	佐囊1092-1	H3	W1	63.00	63	0	0	0
44	朝来支団第6分団佐中消防器具庫	佐囊1264-7	S62	W1	10.80	19	0	0	0
45	朝来支団第6分団神子畑消防器具庫	佐囊1838-1	H11	S1	36.00	16	0	0	0
46	納座消防器具庫	納座413-4	S55	S1	37.00	18	0	0	0
47	八代消防機庫	八代344-1	S61	W1	67.40	69	0	0	0

図 4-2-93 施設に関する費用と内訳 (平成 25 年度)

(万円)

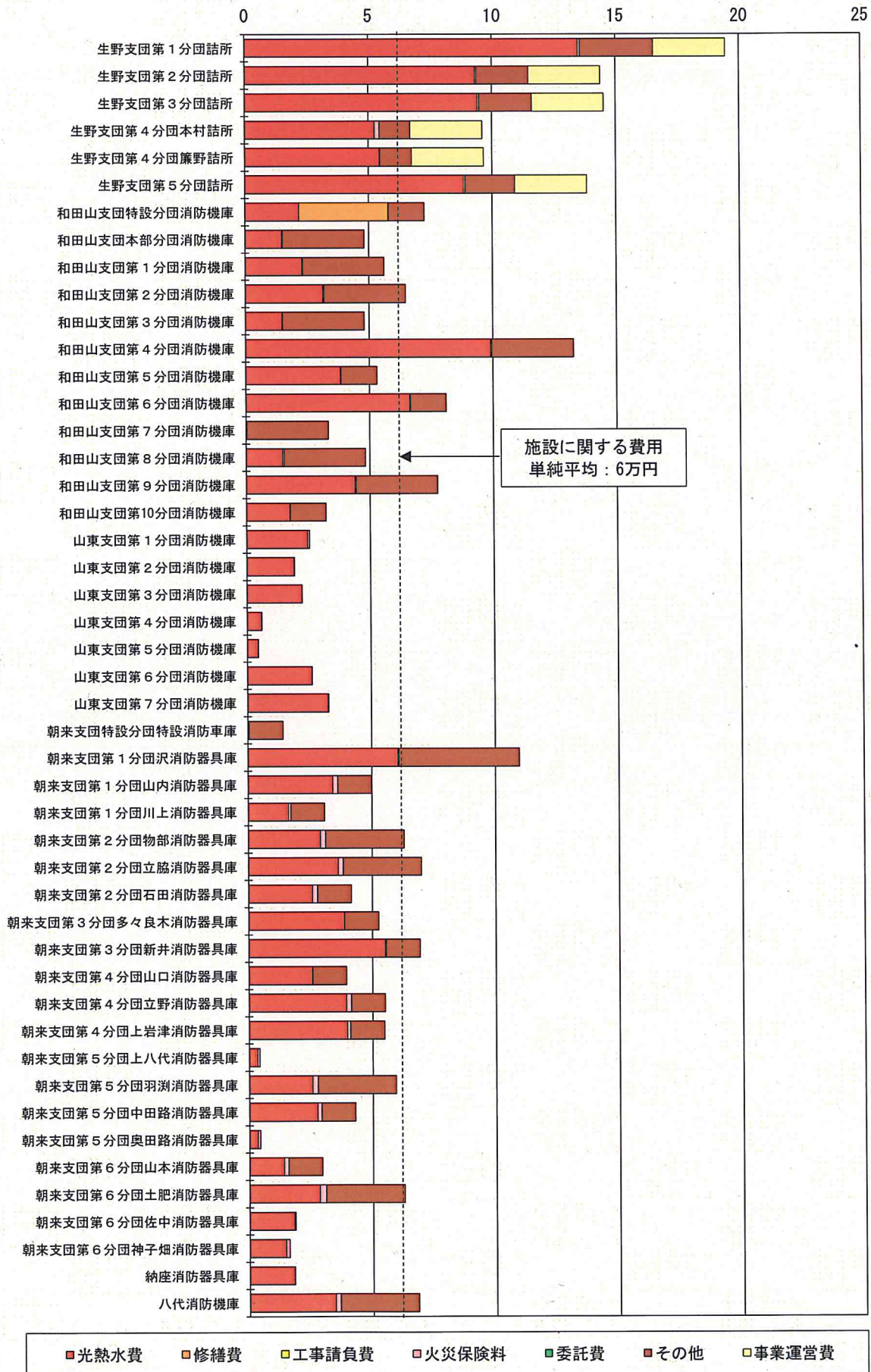
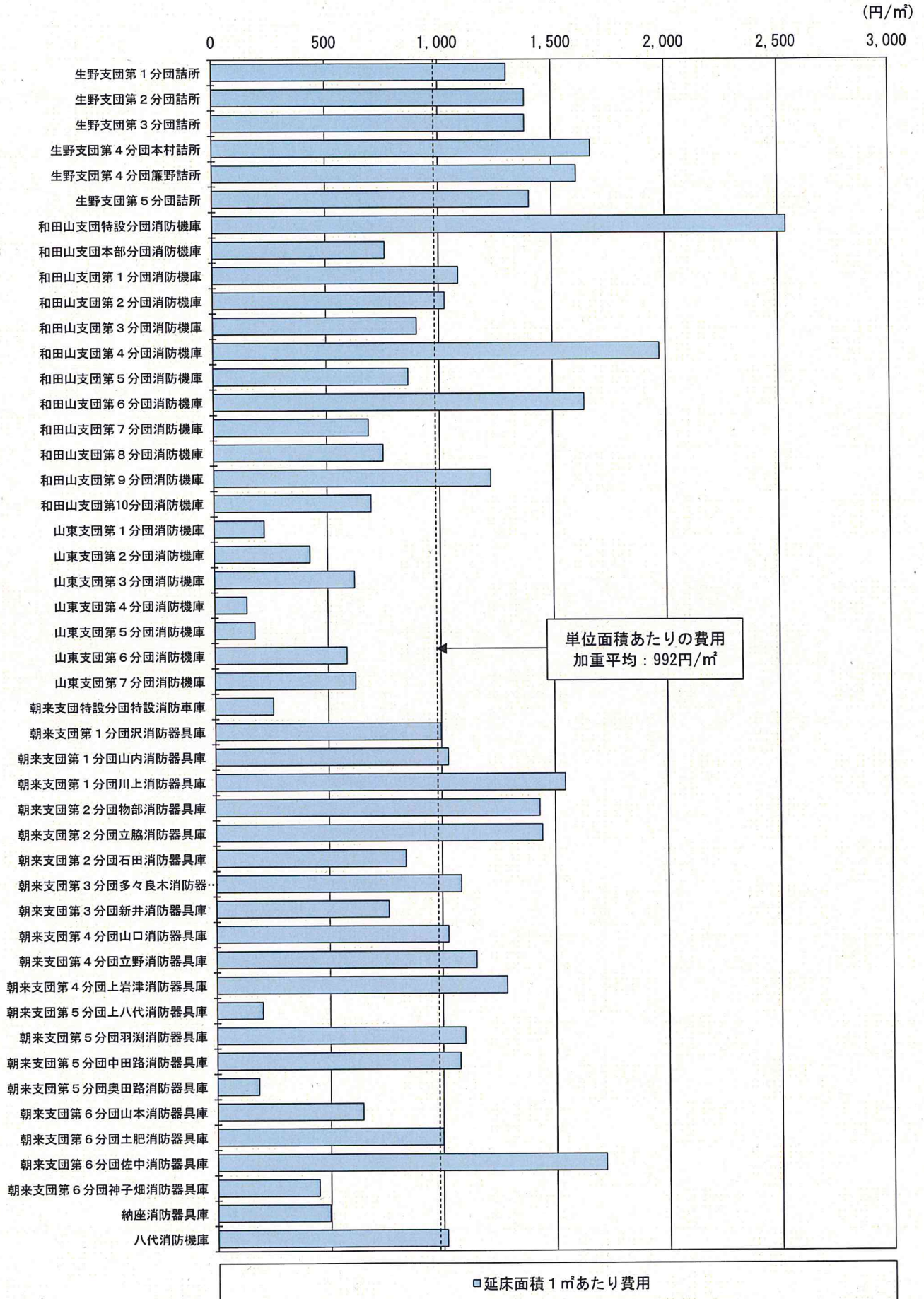


図 4-2-94 延床面積 1㎡あたりの費用（平成 25 年度）



(9) 市営住宅

1) 市営住宅

① 概要

本市では、公営住宅法に基づいて 27 団地、365 戸の市営住宅を設置しています。

このうち、1 団地・6 戸については誘致企業向けの住宅で、1 団地・4 戸については、公営住宅の収入基準を超える中堅所得者向けの特定公共賃貸住宅(特公賃)となっています。

市営住宅は、住宅に困窮する低額所得者に対する住宅セーフティネットとしての役割を担うよう、適正かつ合理的な管理を行っています。



＜ 市営竹原野住宅 ＞

表 4-2-28 市営住宅の概要

No.	基礎情報					コスト情報(千円)			収入(千円)
	施設名	所在	建築年	構造階数	延床面積(m ²)	維持管理費	事業運営費	人件費	
1	生野2区住宅	生野町口銀谷261-64	H13	S5	1,642.00	376	0	0	6,590
2	溝ノ内住宅	生野町口銀谷2215-3	H2	W2	236.00	40	0	0	758
3	栃原口団地	生野町口銀谷2305	H2	W2	314.00	273	0	0	1,039
4	但馬口団地	生野町口銀谷253-3	S64	RC4	1,448.00	219	0	0	7,134
5	生野新町単独住宅	生野町新町1096	H6	S2	405.00	26	0	0	1,451
6	新町住宅	(1)生野町新町191-1 (2)生野町新町1182-1	S56	S2	1,156.00	207	0	0	2,438
7	生野新町企業向住宅	生野町新町1260-3	S62	SRC2	389.00	59	0	0	1,320
8	奥銀谷住宅	生野町奥銀谷1524-1	S28	S2	129.00	19	0	0	785
9	市営竹原野住宅	生野町竹原野253	H5	S2	556.00	84	0	0	2,319
10	猪野々団地	生野町猪野々124	H12	RC2	1,643.00	710	0	0	3,063
11	北真弓住宅	(1)生野町真弓260 (2)生野町真弓258	S59	S2	518.00	71	0	0	1,695
12	南真弓コミュニティ住宅	第1団地 生野町真弓318-1 第2団地 生野町真弓431-1	H7	W2	788.00	584	0	0	2,342
13	真弓第1団地、真弓第2団地	第1団地 生野町真弓600-4 第2団地 生野町真弓508-7	S51	S2	830.00	429	0	0	1,030
14	真弓第3団地	生野町真弓391-1	S59	S2	277.00	30	0	0	302
15	土田荘第1住宅、第2住宅	和田山町土田728-1	S58	RC4	846.24	797	0	0	12,754
16	桐ヶ丘荘団地	和田山町土田500	S53	S1	823.28	860	0	0	939
17	清水荘団地	和田山町土田105	S59	S2	526.98	231	0	0	777
18	西土田荘団地	和田山町土田1231	S50	S1	529.00	929	0	0	910
19	枚田住宅	和田山町枚田1343	H6	RC7	2,079.19	951	0	0	11,794
20	枚田岡荘	和田山町枚田岡273-1	S50	S1	846.40	166	0	0	1,769
21	枚田岡荘第2団地	和田山町枚田岡729-1	S52	S2	216.03	80	0	0	298
22	宮ノ下住宅	山東町楽音寺28-1	H8	RC3	1,334.90	802	0	0	57,935
23	宮ノ下第2団地	山東町楽音寺33-1	H11	RC4	1,893.90	1,196	0	0	7,779
24	加古団地	山東町楽音寺186	S60	W2	702.00	67	0	0	412
25	粟鹿住宅	山東町早田304-1	H7	RC3	1,591.19	1,093	0	0	5,375
26	けやき団地	伊由市場372	S62	W2	705.40	373	0	0	1,839
27	新井団地	(1)(2)(3) 新井451 (4)(5) 新井576	S63	W2	2,827.74	567	0	0	8,415

② 建物の状況

平成に入ってから建築した比較的新しい団地が 11 団地、153 戸と戸数ベースで 4 割以上を占めていますが、昭和 50 年代までに建築した老朽化がかなり進んでいる団地も 11 団地、138 戸と同程度みられます。

経年劣化に伴う改修は実施していますが、大規模な改修・更新を実施した団地はありません。

また、新耐震基準以前（昭和 56 年以前）に建築した団地が 7 団地、72 戸ありますが、これまでに耐震診断・改修を実施した団地はなく耐震化は遅れています。

③ 利用の状況

平成 25 年度における入居戸数は 342 戸で、管理戸数から政策空家戸数（16 戸）を除いた戸数（349 戸）に対する平均入居率は約 98%と高くなっています。

入居率が 100%となっている団地が 22 団地と大半を占めていますが、空家が発生し入居率が 75～90%程度になっている団地もみられます。

④ 施設に関する費用の状況

平成 25 年度における施設に関する費用をみると、全施設の平均では 42 万円となっていますが、入退去の入れ替わりが多い団地で高くなる傾向があり、宮ノ下第 2 団地（約 120 万円）や栗鹿団地（約 110 万円）では、平均の 2 倍以上と高くなっています。

費用の内訳をみると、ほとんどの施設で修繕費が大半を占めており、これ以外では光熱水費や火災保険料が主な費目として挙がっています。

⑤ 単位あたりのコストの状況

平成 25 年度の施設に関する費用を延床面積 1 m²あたりでみると、全施設の平均では 445 円となっていますが、施設に関する費用が比較的高い西土田荘団地（約 1,760 円）は、平均の約 4 倍と特に高い水準となっています。

管理戸数 1 戸あたりでみると、全施設の平均では 30,789 円となっていますが、1 m²当りのコストが高い西土田荘団地（約 92,910 円）や桐ヶ丘荘団地（約 85,970 円）は、平均の約 3 倍と高い水準となっています。

図 4-2-95 入居率(入居戸数/管理戸数・平成 25 年度)

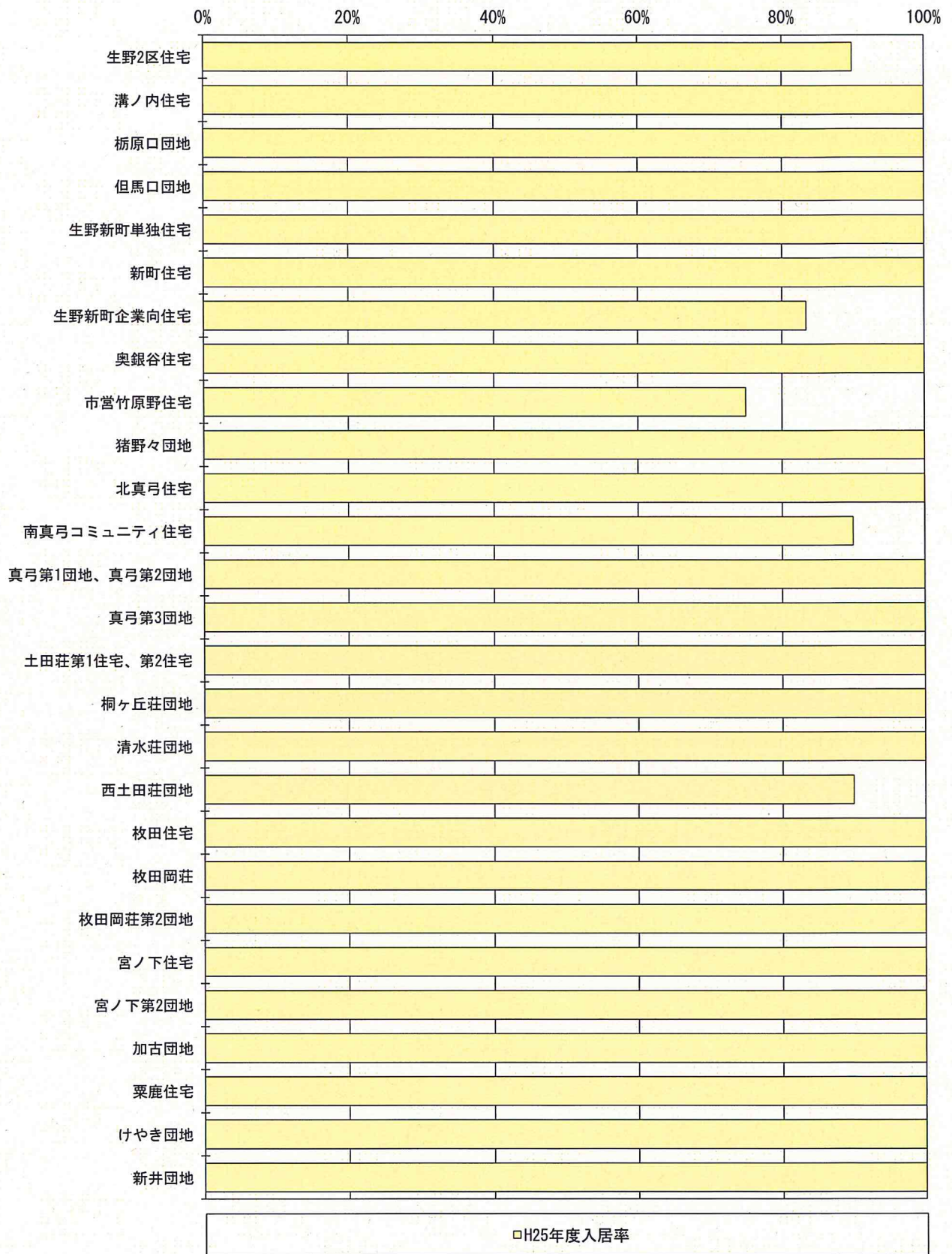


図 4-2-96 施設に関する費用と内訳 (平成 25 年度)

(万円)

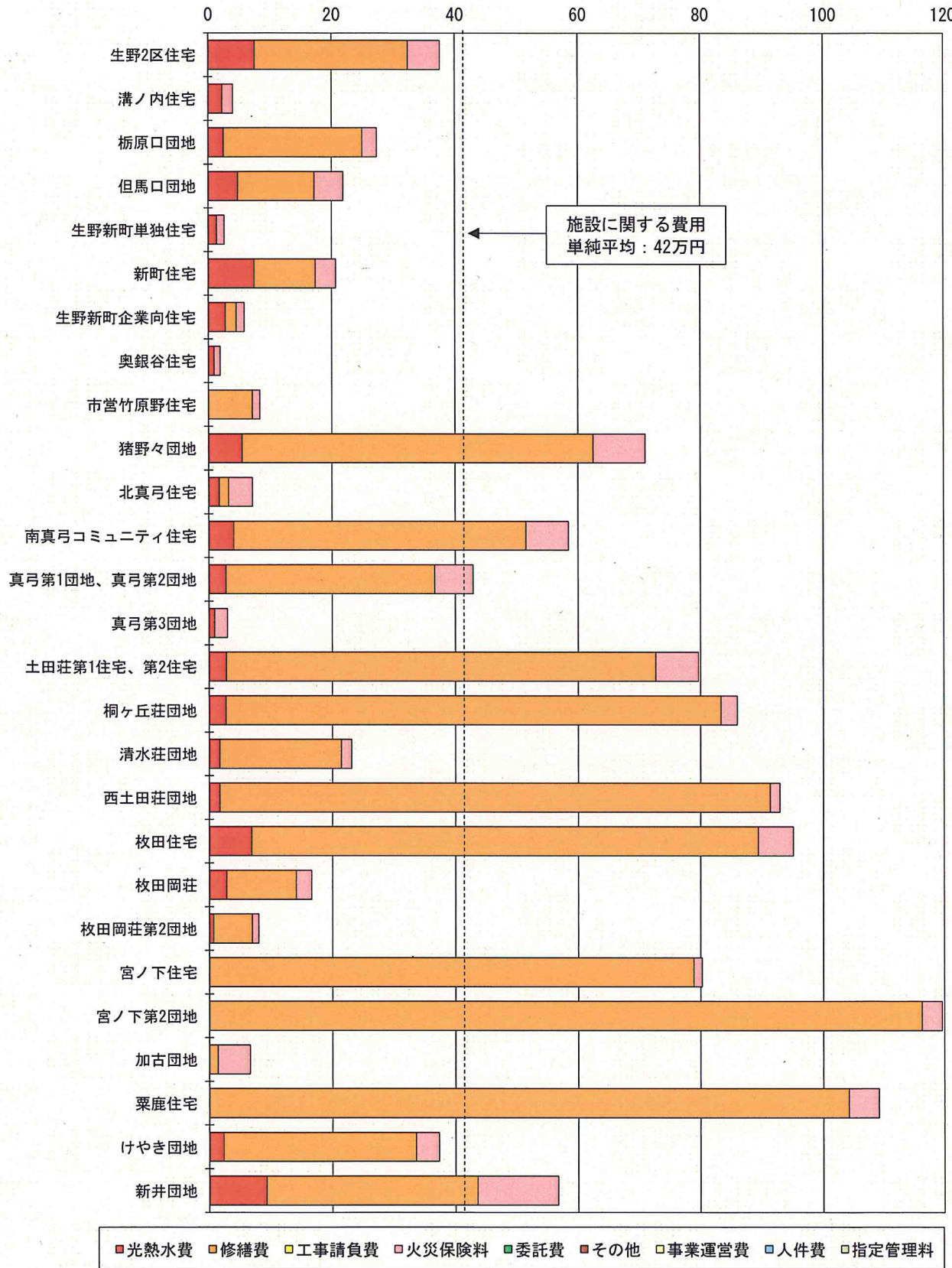


図 4-2-97 延床面積 1 m²あたりの費用（平成 25 年度）

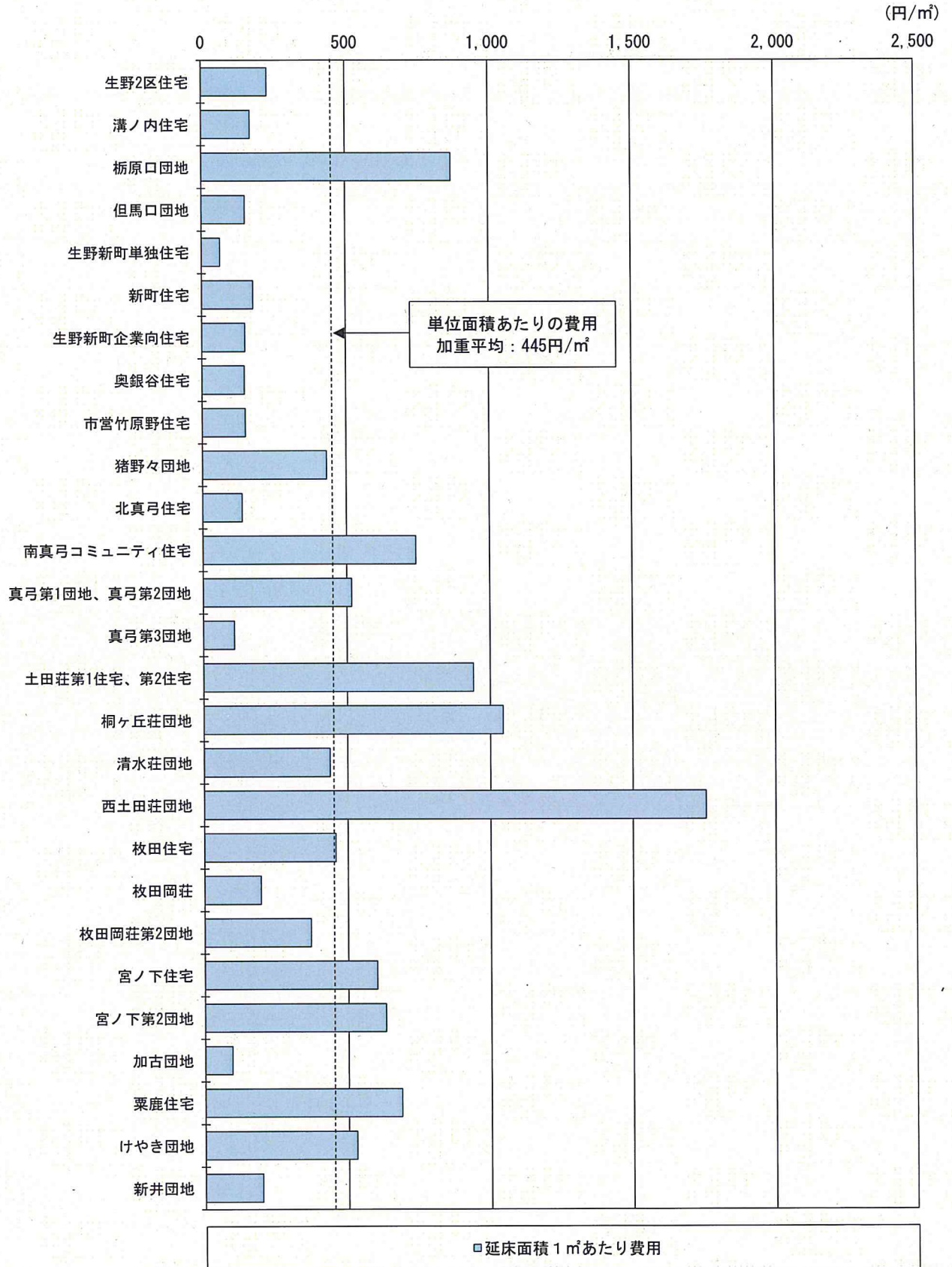


図 4-2-98 管理戸数 1 戸あたりの費用 (平成 25 年度)

